

病院年報



2021（令和3年度）



地方独立行政法人 桑名市総合医療センター

地方独立行政法人
桑名市総合医療センター
年 報



2021（令和3年度）

目次

| | |
|-----------|---|
| 巻頭言 | 1 |
| 病院長挨拶 | 2 |
| 基本理念・基本方針 | 3 |

1. 病院概況 6 ~ 14

| | | | |
|-----------|---|-------------|----|
| 1. 病院概要 | 6 | 5. 病院組織図 | 10 |
| 2. 交通アクセス | 6 | 6. 施設基準届出状況 | 11 |
| 3. 沿革 | 7 | 7. 人員構成図 | 14 |
| 4. 指定・認定 | 8 | | |

2. 統計資料 18 ~ 39

1. 診療実績

| | | | |
|------------|----|---------------------------|----|
| ■診療科別外来患者数 | 18 | ■連携検査 | 21 |
| ■診療科別入院患者数 | 19 | ■救急搬送患者受入れ率 | 21 |
| ■平均在院日数推移 | 20 | ■剖検数 | 22 |
| ■病床利用率推移 | 20 | ■剖検率 | 22 |
| ■死亡退院患者数推移 | 20 | ■入院患者の転倒・転落発生率 | 22 |
| ■紹介率 | 21 | ■輸血製剤廃棄率 | 23 |
| ■逆紹介率 | 21 | ■栄養指導 糖尿病透析予防指導 栄養相談件数 | 23 |

2. 統計

| | |
|------------------------|----|
| ■診療科別退院患者統計【2018年度】 | 24 |
| ■診療科別退院患者統計【2019年度】 | 25 |
| ■診療科別退院患者統計【2020年度】 | 26 |
| ■診療科別退院患者統計【2021年度】 | 27 |
| ■診療科別・年齢別退院患者数【2018年度】 | 28 |
| ■診療科別・年齢別退院患者数【2019年度】 | 29 |
| ■診療科別・年齢別退院患者数【2020年度】 | 30 |
| ■診療科別・年齢別退院患者数【2021年度】 | 31 |
| ■MDC 2 分類別患者統計 | 32 |

がん登録統計

| | | | |
|-------------|----|-------|----|
| 年次推移と部位別登録数 | 33 | 年齢の割合 | 37 |
| 症例区分 | 35 | 来院経路 | 39 |
| 診断時住所別 | 36 | 発見経緯 | 39 |

3. 部署紹介・統計

42 ~ 88

| | | | |
|-----------------|----|------------|----|
| 循環器内科 | 42 | 救急科 | 63 |
| 消化器内科 | 43 | 病理診断科 | 64 |
| 糖尿病内分泌内科 | 45 | 麻酔科 | 65 |
| 膠原病リウマチ内科 | 46 | 看護部 | 66 |
| 腎臓内科 | 47 | 健診センター | 69 |
| 呼吸器内科 | 48 | 薬剤部 | 70 |
| 小児科 | 49 | 放射線室 | 72 |
| 産婦人科 | 50 | 検査室 | 74 |
| 消化器外科・一般外科、乳腺外科 | 51 | 臨床工学室 | 75 |
| 心臓血管外科・呼吸器外科 | 53 | リハビリテーション室 | 77 |
| 整形外科・リウマチ科 | 54 | 栄養管理室 | 78 |
| 脳卒中センター・脳神経外科 | 57 | 医療安全管理室 | 81 |
| 脳神経内科 | 59 | 院内感染対策室 | 83 |
| 眼科 | 60 | 地域医療センター | 84 |
| 放射線科 | 61 | がん相談支援センター | 86 |
| 歯科口腔外科 | 62 | 治験事務局 | 87 |

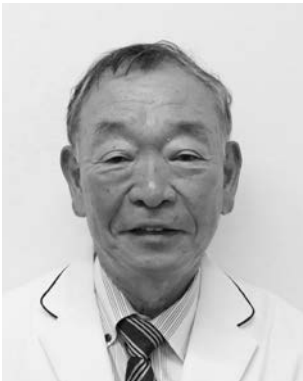
4. 業績

92 ~ 135

| | | | |
|------|-----|---------|-----|
| 学会発表 | 92 | 研究会・講演会 | 121 |
| 論文発表 | 108 | 市民公開講座 | 134 |
| 著書 | 119 | CPC記録 | 135 |

| | |
|----|-----|
| 後記 | 137 |
|----|-----|

巻頭言



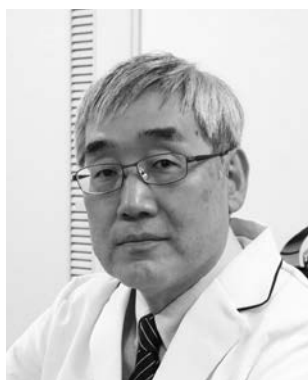
桑名市総合医療センター
理事長 竹田 寛

ここに地方独立行政法人桑名市総合医療センターの年報を上梓します。

本書には、2018（平成30）年度から2021（令和3）年度までの桑名市総合医療センターにおける診療や臨床研究、患者の接遇改善や環境整備、社会貢献など院内外の様々な業務がまとめられています。

本院は、2012（平成24）年4月、公立の桑名市民病院と2民間病院（平田循環器病院と山本総合病院）が統合されて地方独立行政法人桑名市総合医療センターとしてスタートしました。その後6年間、3病院とも旧病院のままで診療を続けましたが、2018年5月には待望の新病棟が開院し、組織も建物も一体化した総合病院となりました。2018年はまさに引っ越しの年、前半は3病院からの引っ越し業務に追われ、後半は慣れぬ新病棟と新組織での診療に悪戦苦闘を続けた年でした。翌2019（令和元）年には、ようやく新病院での診療にも慣れ、医師や看護師の人数も増えて診療の質は向上し、規模も拡大しました。キャッシュフローベースによる年度ごとの収支も、3病院で分かれて診療していた時代には赤字続きでしたが、2019年には初めて黒字転換しました。さあこれからと職員一同張り切っていた矢先、新型コロナウイルスによる未曾有のパンデミック感染が勃発し、世界も日本もコロナ禍の渦に巻き込まれました。当然のことながら、地域の中核病院としてコロナの入院患者を受け持った当センターも、明けても暮れてもコロナ診療に対応せざるを得ない日々が続きました。したがって本報告書の前半、すなわち2018、19年は新病院開院に伴う様々な混乱を乗り越えた2年、後半2020、21年は新型コロナウイルス感染への対応に明け暮れた2年でありました。今、その4年間の実績報告書を手にして、職員一同ほんとうに良く頑張った、この大変な時期を乗り越ってくれたと、改めてその尽力の大きさに深い敬意を表します。

病院長挨拶



桑名市総合医療センター

病院長 登内 仁

この度統合後初の病院年報を発刊する運びとなりました。日頃多大なるご支援を戴き誠にありがとうございます。

2018年4月28日に引っ越しがあり、長い1日の終わりには全職員が患者様の無事に安堵しました。5月1日、3病院統合の象徴である新病院の診療が開始されました。

三重県地域医療構想では2035年の桑員区域の定量的基準による必要病床数は1676床で桑員の現状から約150床少ない数値です。当区域は病床削減の必要はなく、当院は安定した環境で今後も地域中核病院として急性期医療を担います。

当院は400床を有し、集中治療室は15床、NICUは12床です。センターとしては脳卒中、循環器、消化器があり内科系外科系が協力し地域医療を支えることを目的として設置され、意図通り多数の市民を救っています。周産期医療は地域周産期母子医療センターの指定が現実になりつつあります。内科系疾患では糖尿病、腎臓病、呼吸器、リウマチにも力を入れ多職種で活躍しています。2022年には寄付講座として血液内科、精神科が診療を開始し、救急科も2人の専任医師が就任し、ポストコロナの柱の一つである救急室の枠組ができました。

トピックスを列記すると2020年に地域災害拠点病院に指定され、地域医療支援病院に承認されました。2021年にがん相談支援センターを開設しました。2022年には入院支援センターを開設、更にはがん診療連携拠点病院に指定されました(病理診断科、放射線科はじめ全科、中央部門の業績の結果)。三重大・桑名市との「新しい未来の共創に関する協定」を基盤に2022年7月にダヴィンチを導入し9月から泌尿器科、産婦人科、外科、呼吸器外科でロボット支援下手術を開始しました(麻酔科・看護師・臨床工学士のチームによる安全管理が支えになっています)。その他整形外科の人工関節手術、眼科の白内障手術も増加し、時に手術枠が競合するまで発展しています。

コロナ診療はICTを軸に全内科医がローテーションで診療する体制で、外科系・小児科は特別外来のコロナ検査に従事しました。当院のコロナ入院患者は県医療保健部から依頼された透析療法中の患者も多く、さらにコロナ妊婦の帝王切開も多数受け入れ産婦人科・小児科、手術場、関連病棟の緻密な連携が機能しました。看護師、薬剤師、技師、管理部、医療通訳のコロナ関連業務も膨大なもので最大限努力していただきました。コロナ病棟の看護師は離職を認めず、看護部管理かつ看護師の使命感の相乗効果が要因と思います。

前任の市川毅彦先生は統合直後からの3年間に強力なリーダーシップを発揮されましたが、急逝された藤岡正樹先生、平田和男先生も統合に力を尽くされ、ここに改めて感謝申し上げます。

2023年は病院機能評価を受審しますが、職員におかれましては、働きやすく患者様に優しい病院を目指し、今後ともご協力お願い申し上げます。

病院理念・基本方針

基本理念

最良の医療を提供し、地域の皆さまから信頼され必要とされる病院を目指します。

基本方針

- ◆患者さまを中心に考え、真心・思いやり（忠恕）の医療を提供します。
- ◆医療の水準と質の向上に努め、安全性を確保します。
- ◆地域の皆さまに安心していただける中核病院としての責任を永続的に果たします。
- ◆患者さまおよび職員にとって魅力ある病院をつくれます。

患者さまの権利

- ◆だれもが、個人として人格が尊重され、医療提供者との相互協力関係のもと、安全で良質な医療を公平に受けることができます。
- ◆だれもが、病気、検査、治療、費用、見通しなど納得できるまで十分な説明、情報の提供を受けることができます。そしてご自身の治療方法を選択することができます。
- ◆だれもが、ご自身の病気に関して主治医以外の意見を聞くことができます。
- ◆だれもが、ご自身の診療記録の開示を求めることができます。
- ◆診療の過程で得られた個人情報や、プライバシーが厳正に保護されます。

1. 病院概況

1. 病院概要

| | | | |
|--------|---|--------------|---------------------------|
| 名称 | 桑名市総合医療センター | | |
| 所在地 | 〒511-0061 三重県桑名市寿町三丁目11番地 | | |
| 開設者 | 地方独立行政法人桑名市総合医療センター | | |
| 理事長 | 竹田 寛 (たけだ かん) | | |
| 病院長 | 登内 仁 (とのうち ひとし) | | |
| 病床数 | 400床 | | |
| 標榜科 | 循環器内科、消化器内科、糖尿病内分泌内科、膠原病リウマチ内科、血液内科、 脳神経内科、肝臓内科、腎臓内科、呼吸器内科、総合診療科、小児科、産婦人科、 精神科、外科、消化器外科、乳腺外科、心臓血管外科、呼吸器外科、整形外科、 リウマチ科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、皮膚科、放射線科、 歯科口腔外科、救急科、リハビリテーション科、病理診断科、麻酔科 | | |
| 建物の構造等 | 外来棟 延床面積 | 7,531平方メートル | コンクリート造(制振構造) 5階 |
| | 入院棟 延床面積 | 24,828平方メートル | 鉄骨鉄筋コンクリート一部鉄骨造(制振構造) 10階 |
| | 西棟 延床面積 | 7,723平方メートル | 7階 |

診療時間

| | 受付時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|------|------------|---|---|---|---|---|
| 初診受付 | 8:30~11:30 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 再診受付 | 8:00~11:30 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

受付時間は診療科によって異なります。事前に外来担当医表でご確認ください。

休診日 土曜、日曜、祝日、年末年始

2. 交通アクセス

●電車でお越しの場合

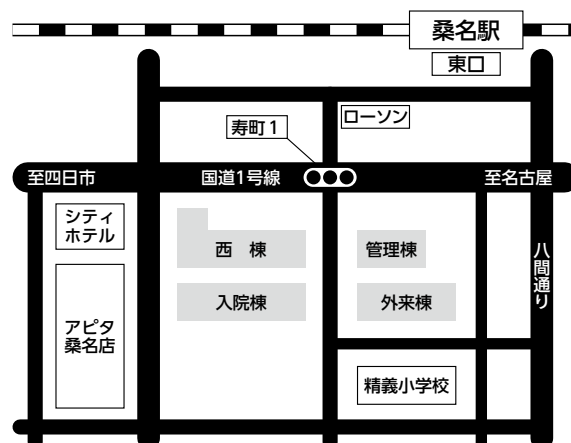
桑名駅東口から徒歩5分

●お車でお越しの場合

- ・名古屋方面からお越しの方
国道一号線の「寿町1」の交差点を左折
- ・四日市方面からお越しの方
国道一号線の「寿町1」の交差点を右折

●バスでお越しの場合

桑名市コミュニティバス「K-バス」にて「桑名市総合医療センター」バス停前です。
東部ルート、北部ルート、南部ルートが「桑名市総合医療センター」バス停を通ります。



3. 沿革

| | | |
|-------|-----|---|
| 1945年 | 9月 | 山本病院(後の山本総合病院)開院 |
| 1951年 | 5月 | 平田外科医院(後の平田循環器病院)開院 |
| 1966年 | 4月 | 桑名市民病院開院 |
| 2006年 | 8月 | 桑名市民病院あり方検討委員会より桑名市に答申書が提出 |
| 2009年 | 10月 | 桑名市民病院(234床)と特別医療法人和心会平田循環器病院(79床)が統合 地方独立行政法人桑名市民病院(313床)を設立 桑名市民病院は桑名市民病院本院、平田循環器病院は桑名市民病院分院に名称変更 |
| 2012年 | 4月 | 地方独立行政法人桑名市民病院(313床)と医療法人山本総合病院(349床)が統合 地方独立行政法人桑名市総合医療センター(662床)に名称変更 桑名市民病院本院は桑名西医療センター、桑名市民病院分院は桑名南医療センター、 山本総合病院は桑名東医療センターに名称変更 |
| | 7月 | 桑名市により桑名市総合医療センター基本構想・基本計画を策定 |
| 2013年 | 3月 | 新病院の基本設計業務が完了 |
| 2014年 | 3月 | 新病院の実設計業務が完了 |
| 2015年 | 8月 | 新病院の新棟新築工事の契約を締結 |
| 2016年 | 3月 | 桑名市により桑名市総合医療センター新改革プランを策定 |
| 2018年 | 1月 | 新病院の新棟新築工事竣工 |
| | 3月 | 新病院の既存棟改修工事の契約を締結 |
| | 5月 | 3病院を統合し新病院開院、病床数を400床に変更 |
| | 6月 | 放射線治療開始 |
| | 11月 | 新病院の既存棟改修工事竣工 |
| 2019年 | 4月 | 地域包括ケア病棟を開設 |
| 2019年 | 5月 | B棟C棟解体等関連工事の契約を締結 |
| 2020年 | 3月 | 地域災害拠点病院に指定 |
| | 6月 | B棟C棟解体等関連工事竣工【一連の新病院整備事業が完了】 |
| | 8月 | P4駐車場(64台)供用開始 |
| | 9月 | 地域医療支援病院の名称承認 |
| 2021年 | 4月 | がん相談支援センター開設 |
| 2022年 | 3月 | 三重大学・桑名市と「新しい未来の共創に関する協定」締結 |

4. 指定・認定

■指定医療機関

| | |
|--------------------|------------------|
| 救急指定病院 | 健康保険医療機関 |
| 国保療養取扱機関 | 母体保護法指定病院 |
| 労働災害保険指定病院 | 生活保護法指定病院 |
| 結核予防法指定病院 | 身体障害者福祉法指定病院 |
| 指定自立支援医療機関（精神通院医療） | 指定自立支援医療機関（更正医療） |
| 原爆被爆者一般疾病医療機関 | 難病医療費助成指定医療機関 |
| 指定小児慢性特定疾患医療機関 | 難病医療協力病院 |
| 厚生労働省指定臨床研修病院 | 地域災害拠点病院 |
| 地域医療支援病院 | 三重県がん診療連携準拠点病院 |
| 人間ドック | |

■研修施設等指定状況

| | |
|-------------------------------------|--------------------------------------|
| 日本内科学会認定教育病院 | 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設 |
| 日本腎臓学会研修施設 | 日本呼吸器学会関連施設 |
| 日本消化器病学会認定施設 | 日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設 |
| 日本肝臓学会認定施設 | 日本透析医学会専門医制度教育関連施設 |
| 日本外科学会専門医制度修練施設 | 日本消化器外科学会専門医修練施設 |
| 日本乳癌学会専門医制度関連施設 | 日本整形外科学会専門医研修施設 |
| 日本リウマチ学会認定教育施設 | 日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関 |
| 日本医学放射線学会画像診断管理認証施設 | 日本麻酔科学会麻酔科認定病院 |
| 日本病理学会研修認定施設 | 日本臨床細胞学会認定施設 |
| 日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設 | 日本脈管学会認定研修指定施設 |
| 日本大腸肛門病学会認定施設 | 日本がん治療認定医機構認定研修施設 |
| 日本神経外科学会専門医制度教育施設 | 日本脳卒中学会専門医認定制度研修教育施設 |
| 日本脳神経血管内治療学会研修施設 | 日本眼科学会専門医制度研修施設 |
| 日本心血管インターベンション治療学会研修施設 | 日本産婦人科学会専門研修連携施設 |
| 日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設 | 日本婦人科腫瘍学会専門医制度指定修練施設 |
| 日本病態栄養学会認定病態栄養専門医研修認定施設 | 浅大腿動脈ステントグラフト実施施設 |
| 日本脳ドック学会認定脳ドック施設 | 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会エキ スパンダー実施施設 |
| 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会イン プラント実施施設 | 日本病態栄養学会認定栄養管理・NST実施施設 |

日本臨床栄養代謝学会栄養サポートチーム
(NST)認定教育施設

日本医療薬学会がん専門薬剤師研修施設

三重県肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業指
定医療機関

マンモグラフィ検診施設画像認定施設

呼吸器外科専門医制度専門研修連携施設

日本栄養療法推進協議会(JCNT)NST稼働施設認
定

三重県肝疾患専門医療機関

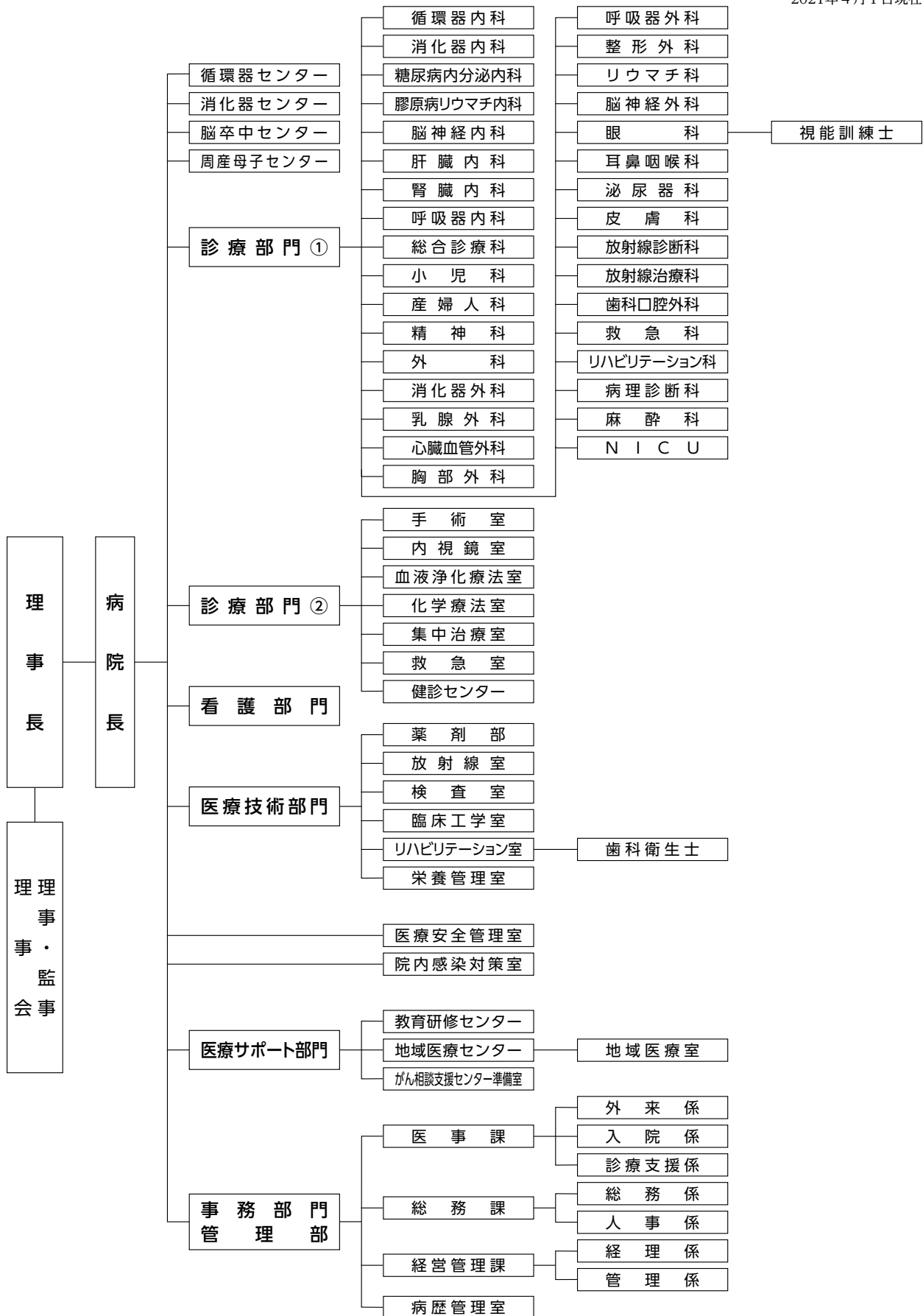
公益財団法人痛風財団指定痛風協力医療機関

特定非営利活動法人婦人科悪性腫瘍研究機構登録
参加施設

日本認知症学会専門医制度教育施設

5. 病院組織図

2021年4月1日現在



6. 施設基準届出状況

【基本診療料】

| | |
|--------------------------------|--------------------------------|
| 急性期一般入院料1 | 救急医療管理加算 |
| 超急性期脳卒中加算 | 診療録管理体制加算2 |
| 医師事務作業補助体制加算2 (15対1) | 25対1急性期看護補助体制加算 (看護補助者5割以上) |
| 夜間100対1急性期看護補助体制加算 | 看護職員夜間配置加算 (12対1) |
| 療養環境加算 | 重症者等療養環境特別加算 |
| 栄養サポートチーム加算 | 医療安全対策加算1 |
| 感染防止対策加算1 | 感染防止対策地域連携加算 |
| 患者サポート体制充実加算 | ハイリスク妊娠管理加算 |
| ハイリスク分娩管理加算 | 後発医薬品使用体制加算1 |
| 入退院支援加算1 | データ提出加算2 (イ 200床以上の病院の場合) |
| 地域連携診療計画加算 | 入退院支援加算の注8に掲げる総合機能評価加算 |
| 地域医療体制確保加算 | 認知症ケア加算2 |
| 脳卒中ケアユニット入院医療管理料 SCU | ハイケアユニット入院医療管理料1 HCU |
| 小児入院医療管理料5 | 新生児特定集中治療室管理料2 NICU |
| 看護職員配置加算 (地域包括ケア病棟入院料の注3) | 地域包括ケア病棟入院料2 |
| 看護職員夜間配置加算 (地域包括ケア病棟入院料の注7) | 看護補助者配置加算 (地域包括ケア病棟入院料の注4) |
| | 入院時食事療養費 |

【特掲診療料】

| | |
|--------------------------------------|---|
| 歯科疾患管理料の注11 に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料 | 外来栄養食事指導料 (注2に掲げる外来化学療法の実施患者の栄養食事指導を行う場合) |
| 心臓ペースメーカー指導管理料の注5に掲げる遠隔モニタリング加算 | 糖尿病合併症管理料 |
| がん性疼痛緩和指導管理料 | がん患者指導管理料イ |
| がん患者指導管理料ロ | がん患者指導管理料ハ |
| がん患者指導管理料ニ | 糖尿病透析予防指導管理料 |
| 乳腺炎重症化予防・ケア指導料 | 婦人科特定疾患治療管理料 |
| 腎代替療法指導管理料 | 小児科外来診療料 |
| 院内トリアージ実施料 | 夜間休日救急搬送医学管理料の注3に掲げる救急搬送看護体制加算1 |

| | |
|---|--|
| 外来放射線照射診療料 | ニコチン依存症管理料 |
| 開放型病院共同指導料 | がん治療連携指導料 |
| ハイリスク妊産婦連携指導料1 | ハイリスク妊産婦連携指導料2 |
| 薬剤管理指導料 | 医療機器安全管理料1 |
| 持続血糖測定器加算 (間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合) | 持続血糖測定器加算 (間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合) 及び皮下連続式グルコース測定 |
| BRCA1/2遺伝子検査 (血液を検体とするもの) | 遺伝学的検査 |
| 先天性代謝異常症検査 | BRCA1/2遺伝子検査 (腫瘍細胞を検体とするもの) |
| 検体検査管理加算 (1) | HPV核酸検出及びHPV核酸検出 (簡易ジェノタイプ判定) |
| 心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算 | 検体検査管理加算 (4) |
| ヘッドアップティルト試験 | 時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト |
| 神経学的検査 | 長期継続頭蓋内脳波検査 |
| CT透視下気管支鏡検査加算 | コンタクトレンズ検査料1 |
| 画像診断管理加算2 | 画像診断管理加算1 |
| 冠動脈CT撮影加算 | CT撮影及びMRI撮影 |
| 乳房MRI撮影加算 | 心臓MRI撮影加算 |
| 外来化学療法加算1 | 抗悪性腫瘍剤処方管理加算 |
| 無菌製剤処理科 | 連携充実加算 |
| 脳血管疾患等リハビリテーション料 (1) | 心臓大血管リハビリテーション料 (1) |
| 呼吸器リハビリテーション料 (1) | 運動器リハビリテーション料 (1) |
| 歯科口腔リハビリテーション料2 | がん患者リハビリテーション料 |
| 導入期加算2及び腎代替療法実績加算 | 人工腎臓 慢性維持透析を行った場合1 |
| 下肢抹消動脈疾患指導管理加算 | 透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算 |
| 脳刺激装置埋込術 (頭蓋内電極植込術を含む) 及び脳刺激装置交換術 | 骨移植術 (軟骨移植術を含む) (同種骨移植 (非生体)・同種骨移植 (特殊なもの)) |
| 乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術 (一連につき) (MRIによるもの) | 脊椎刺激装置埋込術及び脊髄刺激装置交換術 |
| 乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検 (単独) (乳がんセンチネルリンパ節加算2) | 乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検 (併用) (乳がんセンチネルリンパ節加算1) |
| | 乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検 (単独) (乳がんセンチネルリンパ節生検 (単独)) |

| | |
|--|-------------------------|
| 食道縫合術（穿孔、損傷）（内視鏡によるもの）、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、小腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、結腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、腎（腎盂）腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、尿管腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、膀胱腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、膣腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの） | 経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの） |
| ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術（リードレスペースメーカー） | ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術 |
| 腹腔鏡下肝切除術 | 大動脈バルーンパンピング法（IABP法） |
| 腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術 | 腹腔鏡下膵腫瘍摘出術 |
| 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに限る。） | 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術 |
| 人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算 | 輸血管理料Ⅰ |
| 保険医療機関間の連携による病理診断 | 麻酔管理料Ⅰ |
| 悪性腫瘍病理組織標本加算 | 高エネルギー放射線治療 |
| クラウン・ブリッジ維持管理料 | 病理診断管理加算Ⅰ |
| 酸素の購入価格の届出（歯科） | 口腔病理診断管理加算Ⅰ |
| | 酸素の購入価格の届出（医科） |

7. 人員構成図

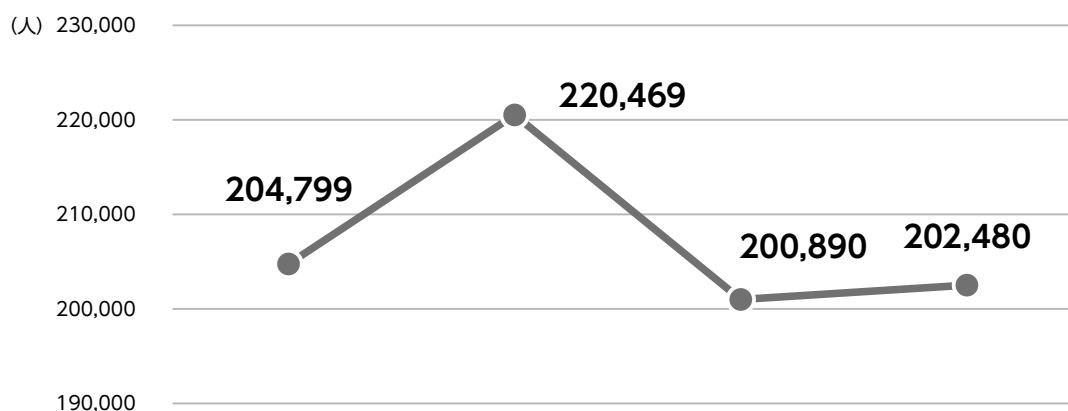
単位：人 2021年4月1日現在

| 職 種 | 2018年度 (5月1日) | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 |
|-----------|------------------|--------|--------|--------|
| 医 師 | 103 | 107 | 109 | 120 |
| 歯 科 医 師 | 3 | 3 | 3 | 1 |
| 看 護 師 | 446 | 466 | 483 | 513 |
| 准 看 護 師 | 25 | 26 | 23 | 19 |
| 介 護 福 祉 士 | 16 | 20 | 21 | 23 |
| 薬 剤 師 | 23 | 21 | 21 | 25 |
| 診療放射線技師 | 20 | 21 | 21 | 21 |
| 臨床検査技師 | 32 | 29 | 34 | 33 |
| 理学療法士 | 9 | 9 | 9 | 10 |
| 作業療法士 | 3 | 3 | 4 | 4 |
| 管理栄養士 | 8 | 9 | 6 | 9 |
| 臨床工学技士 | 15 | 15 | 17 | 19 |
| 言語聴覚士 | 4 | 3 | 3 | 3 |
| 視能訓練士 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| 歯科衛生士 | 4 | 2 | 4 | 5 |
| 看護助手 | 17 | 18 | 15 | 14 |
| 社会福祉士 | 7 | 7 | 10 | 9 |
| 事 務 | 150 | 143 | 134 | 141 |
| 計 | 888 | 905 | 920 | 972 |

2. 統計資料

1. 診療実績

■ 診療科別外来患者数



単位：人

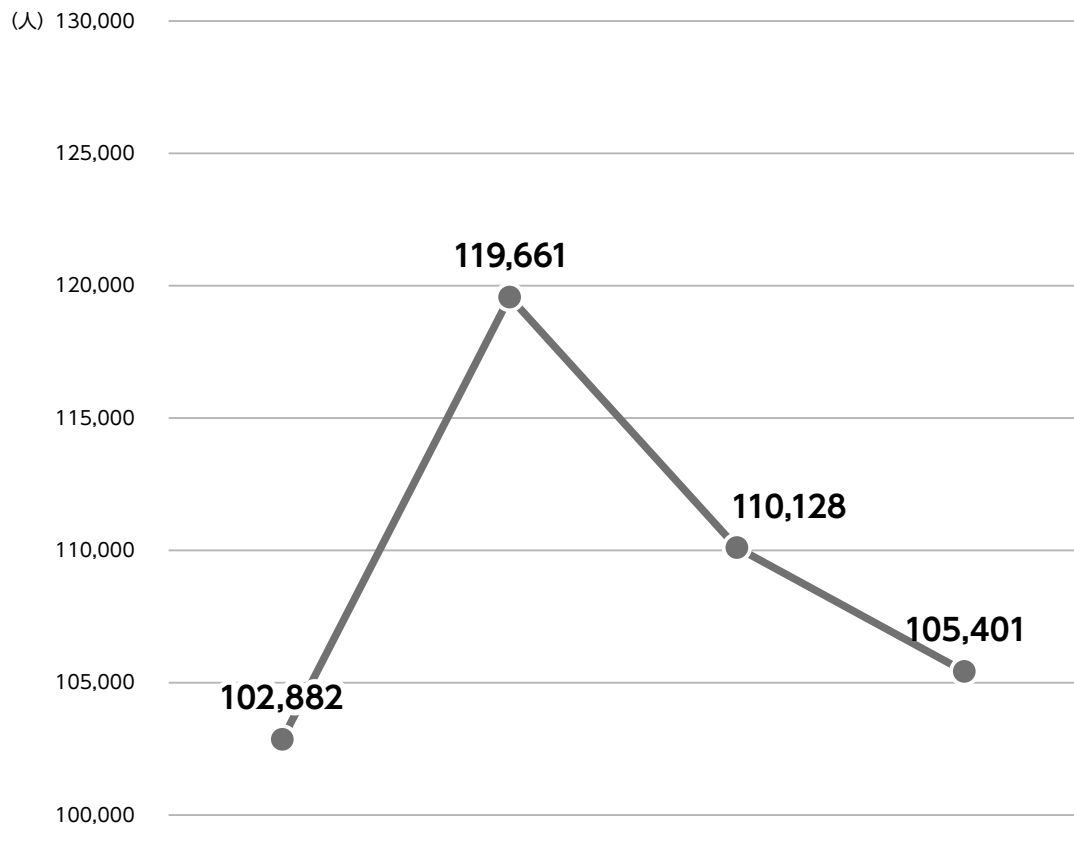
| 年 度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 |
|-----|---------|---------|---------|---------|
| 合 計 | 204,799 | 220,469 | 200,890 | 202,480 |

単位：人

(2018年5月～2019年3月)

| | | | | |
|-----------|--------|--------|--------|--------|
| 循環器内科 | 30,943 | 30,110 | 23,211 | 22,541 |
| 血液浄化療法部 | 16,325 | 18,619 | 19,875 | 19,657 |
| 消化器内科 | 19,596 | 16,594 | 14,617 | 14,744 |
| 外 科 | 14,041 | 15,693 | 15,592 | 16,267 |
| 歯科口腔外科 | 13,562 | 16,636 | 11,520 | 9,961 |
| 眼 科 | 9,583 | 11,830 | 11,994 | 12,066 |
| 整形外科 | 12,834 | 12,851 | 9,477 | 9,406 |
| 糖尿病内分泌内科 | 10,116 | 11,175 | 10,724 | 11,525 |
| 泌尿器科 | 9,996 | 11,435 | 10,822 | 10,386 |
| 産婦人科 | 9,442 | 10,752 | 10,983 | 11,288 |
| 膠原病リウマチ内科 | 6,061 | 7,732 | 7,800 | 8,053 |
| 呼吸器内科 | 6,207 | 7,427 | 7,117 | 7,916 |
| 耳鼻咽喉科 | 6,838 | 7,545 | 6,100 | 6,252 |
| 脳神経外科 | 6,126 | 6,052 | 5,760 | 6,039 |
| (総合)内科 | 6,501 | 5,978 | 5,738 | 5,123 |
| 脳神経内科 | 4,703 | 5,884 | 5,857 | 6,482 |
| 小 児 科 | 5,620 | 5,041 | 4,075 | 5,222 |
| 腎 臓 内 科 | 3,946 | 4,601 | 4,371 | 4,648 |
| 放射線治療科 | 1,063 | 2,012 | 3,120 | 3,486 |
| 皮 膚 科 | 2,009 | 2,514 | 2,681 | 1,983 |
| 放射線診断科 | 1,787 | 2,011 | 1,885 | 2,034 |
| 救 急 科 | 2,569 | 2,067 | 1,408 | 1,231 |
| 精 神 科 | 1,423 | 1,520 | 1,445 | 1,417 |
| 血 液 内 科 | 1,184 | 1,273 | 1,438 | 1,331 |
| 心臓血管外科 | 1,163 | 1,285 | 1,311 | 1,285 |
| 麻 酔 科 | 576 | 1,098 | 1,057 | 1,070 |
| 総合診療科 | 379 | 455 | 437 | 553 |
| 形成外科 | 206 | 279 | 475 | 514 |

■ 診療科別入院患者数

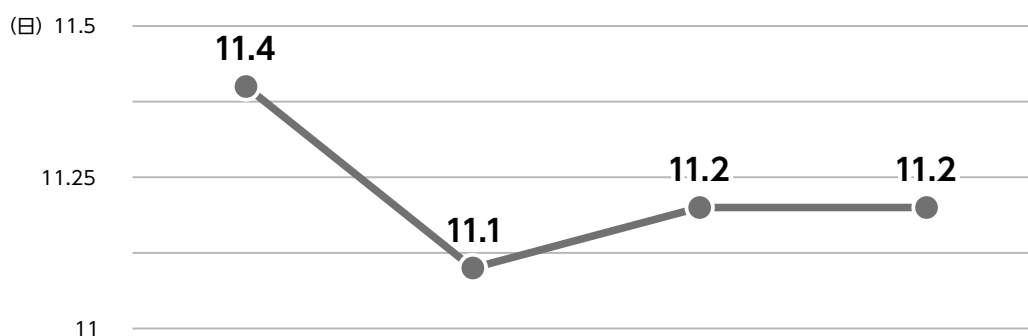


| 年 度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 |
|-----|---------|---------|---------|---------|
| 合 計 | 102,882 | 119,661 | 110,128 | 105,401 |

単位：人 (2018年5月～2019年3月)

| 診療科 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 |
|----------|--------|--------|--------|--------|
| 消化器内科 | 18,059 | 17,822 | 15,897 | 15,204 |
| 循環器内科 | 17,105 | 18,877 | 14,650 | 12,620 |
| 外科 | 12,920 | 16,386 | 14,232 | 12,533 |
| 整形外科 | 8,575 | 10,860 | 12,233 | 11,453 |
| 脳神経外科 | 8,057 | 10,606 | 9,700 | 10,000 |
| 腎臓内科 | 9,972 | 10,313 | 8,131 | 7,292 |
| 産婦人科 | 6,122 | 6,875 | 6,772 | 6,716 |
| 脳神経内科 | 3,833 | 5,048 | 6,274 | 5,081 |
| 呼吸器内科 | 4,450 | 4,806 | 4,698 | 6,062 |
| 小児科 | 3,199 | 3,712 | 3,610 | 4,097 |
| 糖尿病内分泌内科 | 2,900 | 3,810 | 3,097 | 3,484 |
| 膠原病リウマチ病 | 1,642 | 3,719 | 3,299 | 3,220 |
| 心臓血管外科 | 1,667 | 2,349 | 2,224 | 2,011 |
| (総合)内科 | 772 | 0 | 1,773 | 3,139 |
| 口腔外科 | 1,485 | 1,894 | 1,298 | 647 |
| 眼科 | 925 | 1,214 | 1,195 | 977 |
| 泌尿器科 | 1,099 | 1,359 | 967 | 858 |
| 救急科 | 100 | 11 | 78 | 7 |

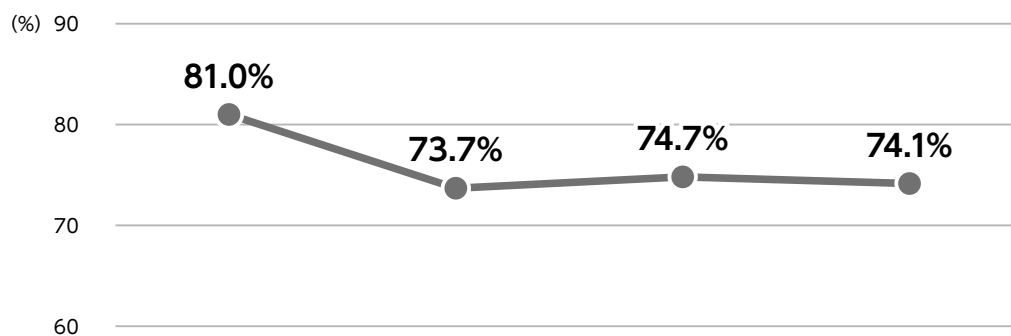
■ 平均在院日数推移



単位：日

| 年 度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 |
|-----|--------|--------|--------|--------|
| 合 計 | 11.4 | 11.1 | 11.2 | 11.2 |

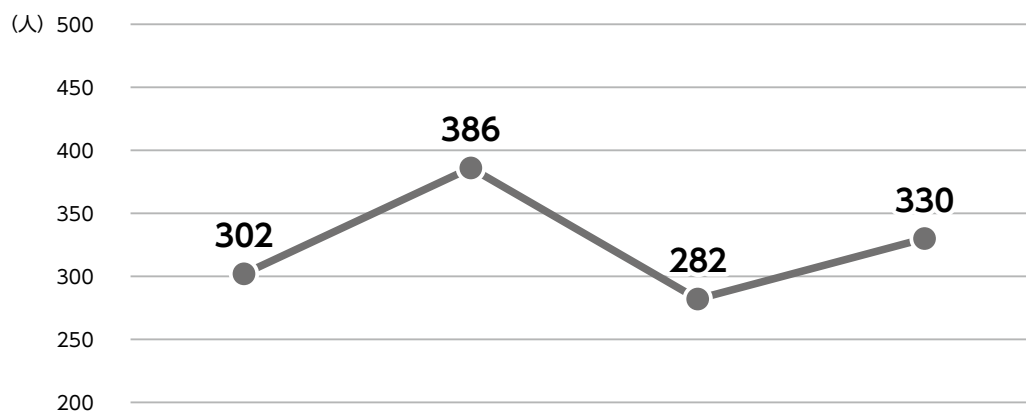
■ 病床利用率推移



単位：%

| 年 度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 |
|-----|--------|--------|--------|--------|
| 合 計 | 81.0 | 73.7 | 74.7 | 74.1 |

■ 死亡退院患者数推移



単位：人

| 年 度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 |
|-----|--------|--------|--------|--------|
| 合 計 | 302 | 386 | 282 | 330 |

■ 紹介率

単位：％

| 年度 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 平均 |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 2018 | | 44.6 | 49.8 | 48.4 | 47.3 | 45 | 56.6 | 53.3 | 56.8 | 52.8 | 54.3 | 58.6 | 51.6 |
| 2019 | 68.8 | 68.9 | 68.4 | 74.9 | 69.2 | 75 | 76.1 | 78.2 | 77.9 | 77.3 | 76.8 | 78.7 | 74.2 |
| 2020 | 73.7 | 79.9 | 78 | 78.8 | 83.6 | 85.9 | 87.8 | 85.6 | 89.2 | 86.8 | 91.5 | 86.5 | 83.9 |
| 2021 | 88.9 | 93.3 | 93.2 | 90.9 | 91.4 | 91.9 | 90.7 | 86.6 | 91.7 | 88.8 | 86.9 | 93.7 | 90.7 |

■ 逆紹介率

単位：％

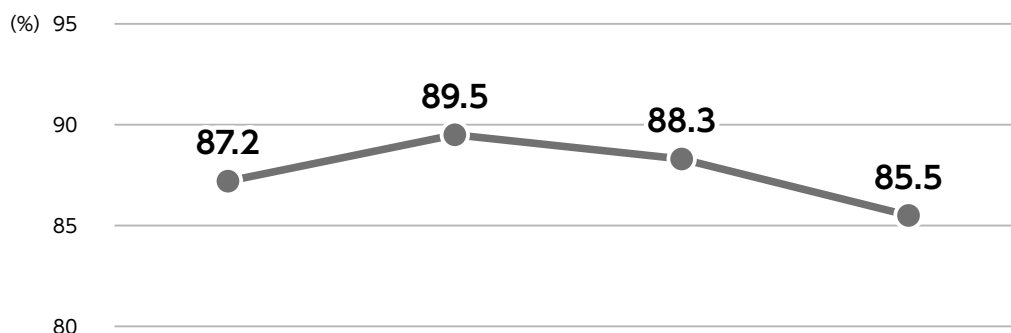
| 年度 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 平均 |
|------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 2018 | | 47.3 | 59.3 | 55.3 | 60.5 | 61.4 | 64.6 | 73.7 | 78.5 | 70.9 | 81.9 | 78.7 | 66.6 |
| 2019 | 87.1 | 79.1 | 87.7 | 88.4 | 92.8 | 92.6 | 131.8 | 137.6 | 112.3 | 98.9 | 97.6 | 103.6 | 100.8 |
| 2020 | 112.1 | 115.1 | 96.8 | 95.7 | 115.5 | 113.7 | 101.6 | 101.8 | 125.9 | 120.3 | 129.9 | 138.9 | 113.9 |
| 2021 | 130.5 | 101.6 | 104.9 | 98.7 | 111.3 | 99.8 | 101.5 | 119.6 | 175.8 | 158.3 | 124.4 | 118.3 | 120.4 |

■ 連携検査

単位：件

| 年度 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 2018 | | 189 | 228 | 214 | 186 | 175 | 240 | 182 | 175 | 177 | 166 | 234 | 2166 |
| 2019 | 202 | 191 | 242 | 218 | 185 | 211 | 249 | 193 | 186 | 157 | 189 | 204 | 2427 |
| 2020 | 122 | 129 | 229 | 246 | 188 | 204 | 239 | 200 | 184 | 163 | 190 | 235 | 2329 |
| 2021 | 180 | 216 | 203 | 180 | 190 | 207 | 220 | 268 | 215 | 153 | 161 | 252 | 2445 |

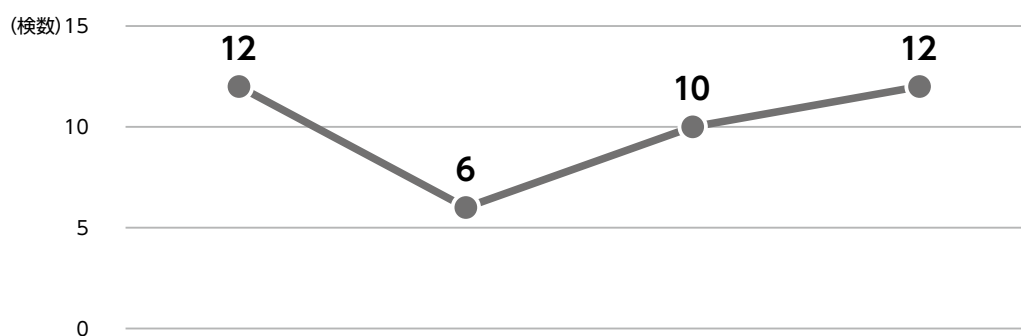
■ 救急搬送患者受入れ率



単位：％

| 年 度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 |
|-----|--------|--------|--------|--------|
| 合 計 | 87.2 | 89.5 | 88.3 | 85.5 |

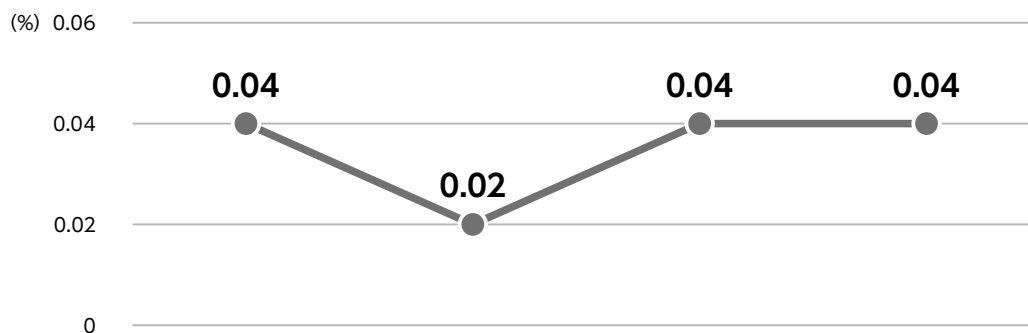
■ 剖検数



単位：検数

| 年 度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 |
|-----|--------|--------|--------|--------|
| 合 計 | 12 | 6 | 10 | 12 |

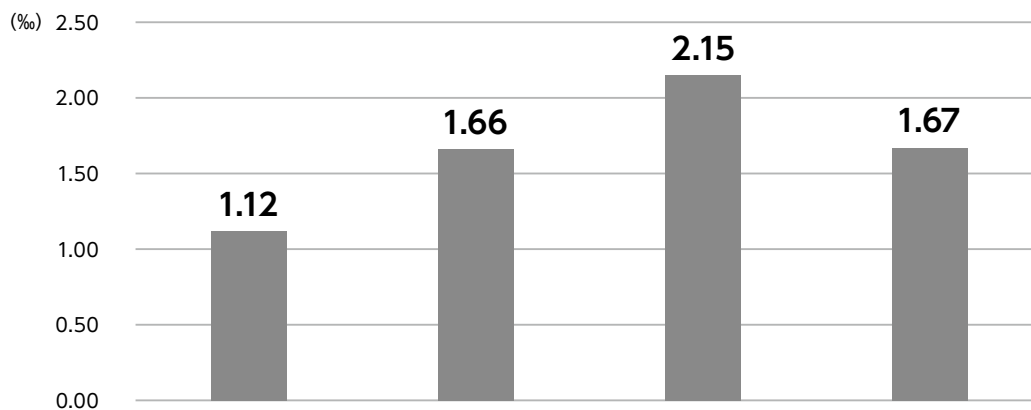
■ 剖検率



単位：%

| 年 度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 |
|-----|--------|--------|--------|--------|
| 合 計 | 0.04 | 0.02 | 0.04 | 0.04 |

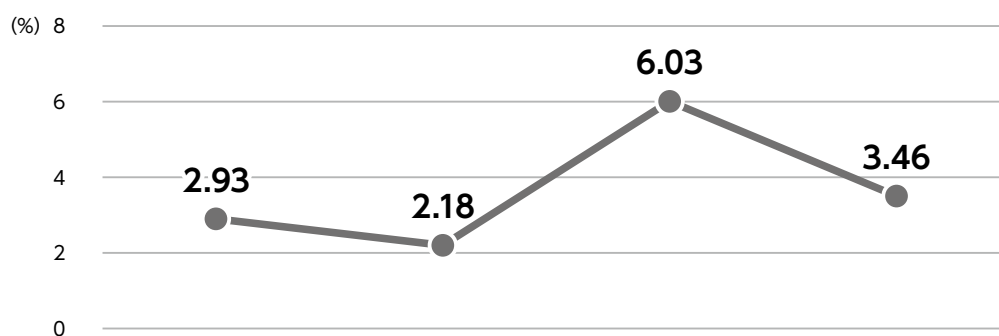
■ 入院患者の転倒・転落発生率



単位：‰

| 年 度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 |
|-----|--------|--------|--------|--------|
| 合 計 | 1.12 | 1.66 | 2.15 | 1.67 |

■ 輸血製剤廃棄率



単位：%

| 年 度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 |
|-----|--------|--------|--------|--------|
| 合 計 | 2.93 | 2.18 | 6.03 | 3.46 |

■ 栄養指導 糖尿病透析予防指導 栄養相談件数

単位：人

| | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 |
|-------------|--------|--------|--------|--------|
| 入院 個人栄養指導 | 1,459 | 1,428 | 1,562 | 1,408 |
| 外来 個人栄養指導 | 4,080 | 4,664 | 5,172 | 6,454 |
| 集団栄養指導 | 306 | 656 | 0 | 0 |
| 糖尿病透析予防指導 | 524 | 384 | 384 | 276 |
| 健診センター 栄養相談 | 0 | 0 | 0 | 6 |
| 合 計 | 6,369 | 7,132 | 7,118 | 8,144 |

2. 統計

■ 診療科別退院患者統計【2018年度】

| 診療科 | 性別 | 退院患者数 | 平均在院日数 | 死亡患者数 | 院内粗死亡率 |
|-----------------|----|-------|--------|-------|--------|
| (総 合) 内 科 | 男 | 1 | 2.0 | 0 | 0.0% |
| | 女 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0% |
| 小 児 科 | 男 | 213 | 8.1 | 0 | 0.0% |
| | 女 | 169 | 7.4 | 0 | 0.0% |
| 外 科 | 男 | 572 | 11.8 | 17 | 3.0% |
| | 女 | 448 | 13.0 | 13 | 2.9% |
| 整 形 外 科 | 男 | 183 | 15.9 | 6 | 3.3% |
| | 女 | 310 | 17.9 | 3 | 1.0% |
| 産 婦 人 科 | 男 | 75 | 6.6 | 0 | 0.0% |
| | 女 | 616 | 8.6 | 2 | 0.3% |
| 眼 科 | 男 | 193 | 2.6 | 0 | 0.0% |
| | 女 | 168 | 2.5 | 0 | 0.0% |
| 消 化 器 内 科 | 男 | 828 | 9.9 | 42 | 5.1% |
| | 女 | 692 | 17.7 | 24 | 3.5% |
| 泌 尿 器 科 | 男 | 181 | 5.1 | 0 | 0.0% |
| | 女 | 25 | 5.8 | 0 | 0.0% |
| 脳 神 経 内 科 | 男 | 146 | 9.6 | 6 | 4.1% |
| | 女 | 139 | 12.8 | 4 | 2.9% |
| 脳 神 経 外 科 | 男 | 281 | 16.0 | 14 | 5.0% |
| | 女 | 196 | 15.4 | 13 | 6.6% |
| 循 環 器 内 科 | 男 | 896 | 9.9 | 44 | 4.9% |
| | 女 | 530 | 13.0 | 32 | 6.0% |
| 呼 吸 器 外 科 | 男 | 1 | 2.0 | 0 | 0.0% |
| | 女 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0% |
| 心臓血管・呼吸器外科 | 男 | 72 | 14.2 | 2 | 2.8% |
| | 女 | 63 | 8.4 | 1 | 1.6% |
| 糖 尿 病 内 分 泌 内 科 | 男 | 132 | 13.0 | 7 | 5.3% |
| | 女 | 94 | 11.9 | 5 | 5.3% |
| 腎 臓 内 科 | 男 | 281 | 17.6 | 28 | 10.0% |
| | 女 | 198 | 21.3 | 16 | 8.1% |
| 救 急 科 | 男 | 14 | 2.6 | 0 | 0.0% |
| | 女 | 7 | 7.4 | 0 | 0.0% |
| 膠原病リウマチ内科 | 男 | 45 | 10.8 | 0 | 0.0% |
| | 女 | 97 | 12.1 | 1 | 1.0% |
| 呼 吸 器 内 科 | 男 | 157 | 16.7 | 9 | 5.7% |
| | 女 | 92 | 18.0 | 3 | 3.3% |
| 歯 科 口 腔 外 科 | 男 | 195 | 3.8 | 0 | 0.0% |
| | 女 | 235 | 3.1 | 0 | 0.0% |
| 合 計 | 男 | 4,468 | 10.7 | 175 | 3.9% |
| | 女 | 4,080 | 12.7 | 117 | 2.9% |
| | 総数 | 8,548 | 11.7 | 292 | 3.4% |

単位：人

※産婦人科には、産科入院の新生児を含む ※平均在院日数=退院患者総在院日数/総退院数 ※院内粗死亡率=死亡退院患者数/総退院数

■ 診療科別退院患者統計【2019年度】

| 診療科 | 性別 | 退院患者数 | 平均在院日数 | 死亡患者数 | 院内粗死亡率 |
|------------|----|-------|--------|-------|--------|
| (総合)内科 | 男 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0% |
| | 女 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0% |
| 小児科 | 男 | 286 | 7.6 | 1 | 0.3% |
| | 女 | 194 | 7.7 | 0 | 0.0% |
| 外科 | 男 | 696 | 13.7 | 25 | 3.6% |
| | 女 | 493 | 13.3 | 23 | 4.7% |
| 整形外科 | 男 | 217 | 16.6 | 2 | 0.9% |
| | 女 | 348 | 20.5 | 1 | 0.3% |
| 産婦人科 | 男 | 57 | 6.9 | 0 | 0.0% |
| | 女 | 842 | 7.6 | 3 | 0.4% |
| 眼科 | 男 | 222 | 2.9 | 0 | 0.0% |
| | 女 | 221 | 2.6 | 0 | 0.0% |
| 消化器内科 | 男 | 854 | 11.1 | 42 | 4.9% |
| | 女 | 638 | 12.5 | 36 | 5.6% |
| 泌尿器科 | 男 | 249 | 5.1 | 2 | 0.8% |
| | 女 | 30 | 4.1 | 0 | 0.0% |
| 脳神経内科 | 男 | 202 | 16.7 | 9 | 4.5% |
| | 女 | 154 | 14.9 | 5 | 3.2% |
| 脳神経外科 | 男 | 376 | 16.0 | 20 | 5.3% |
| | 女 | 260 | 17.0 | 13 | 5.0% |
| 循環器内科 | 男 | 1,106 | 10.0 | 31 | 2.8% |
| | 女 | 607 | 12.8 | 20 | 3.3% |
| 呼吸器外科 | 男 | | | | |
| | 女 | | | | |
| 心臓血管・呼吸器外科 | 男 | 95 | 17.6 | 3 | 3.2% |
| | 女 | 69 | 7.0 | 0 | 0.0% |
| 糖尿病内分泌内科 | 男 | 131 | 14.1 | 6 | 4.6% |
| | 女 | 123 | 15.5 | 4 | 3.3% |
| 腎臓内科 | 男 | 275 | 19.8 | 23 | 8.4% |
| | 女 | 216 | 20.4 | 13 | 6.0% |
| 救急科 | 男 | 3 | 1.7 | 0 | 0.0% |
| | 女 | 2 | 3.0 | 0 | 0.0% |
| 膠原病リウマチ内科 | 男 | 71 | 16.0 | 6 | 8.5% |
| | 女 | 140 | 17.3 | 10 | 7.1% |
| 呼吸器内科 | 男 | 143 | 22.6 | 20 | 14.0% |
| | 女 | 81 | 18.6 | 4 | 4.9% |
| 歯科口腔外科 | 男 | 218 | 4.2 | 1 | 0.5% |
| | 女 | 346 | 2.9 | 0 | 0.0% |
| 合計 | 男 | 5,201 | 11.9 | 191 | 3.7% |
| | 女 | 4,764 | 11.9 | 132 | 2.8% |
| | 総数 | 9,965 | 11.9 | 323 | 3.2% |

単位：人

※産婦人科には、産科入院の新生児を含む ※平均在院日数=退院患者総在院日数/総退院数 ※院内粗死亡率=死亡退院患者数/総退院数

■ 診療科別退院患者統計【2020年度】

| 診療科 | 性別 | 退院患者数 | 平均在院日数 | 死亡患者数 | 院内粗死亡率 |
|------------|----|-------|--------|-------|--------|
| (総合)内科 | 男 | 3 | 17.0 | 0 | 0.0% |
| | 女 | 8 | 11.9 | 1 | 12.5% |
| 小児科 | 男 | 206 | 10.8 | 0 | 0.0% |
| | 女 | 147 | 10.7 | 0 | 0.0% |
| 外科 | 男 | 599 | 16.7 | 15 | 2.5% |
| | 女 | 433 | 12.9 | 14 | 3.2% |
| 整形外科 | 男 | 231 | 18.7 | 2 | 0.9% |
| | 女 | 331 | 23.2 | 2 | 0.6% |
| 産婦人科 | 男 | 66 | 6.6 | 0 | 0.0% |
| | 女 | 960 | 6.6 | 4 | 0.4% |
| 眼科 | 男 | 236 | 2.7 | 0 | 0.0% |
| | 女 | 238 | 2.4 | 0 | 0.0% |
| 消化器内科 | 男 | 973 | 9.3 | 31 | 3.2% |
| | 女 | 650 | 10.6 | 27 | 4.2% |
| 泌尿器科 | 男 | 199 | 4.7 | 0 | 0.0% |
| | 女 | 22 | 5.3 | 0 | 0.0% |
| 脳神経内科 | 男 | 183 | 16.5 | 2 | 1.1% |
| | 女 | 156 | 19.7 | 4 | 2.6% |
| 脳神経外科 | 男 | 301 | 15.5 | 13 | 4.3% |
| | 女 | 268 | 17.9 | 16 | 6.0% |
| 循環器内科 | 男 | 859 | 11.1 | 34 | 4.0% |
| | 女 | 438 | 12.8 | 21 | 4.8% |
| 呼吸器外科 | 男 | | | | |
| | 女 | | | | |
| 心臓血管・呼吸器外科 | 男 | 96 | 15.1 | 2 | 2.1% |
| | 女 | 60 | 14.6 | 2 | 3.3% |
| 糖尿病内分泌内科 | 男 | 110 | 14.4 | 3 | 2.7% |
| | 女 | 98 | 15.3 | 6 | 6.1% |
| 腎臓内科 | 男 | 246 | 22.4 | 18 | 7.3% |
| | 女 | 156 | 20.1 | 14 | 9.0% |
| 救急科 | 男 | 5 | 6.2 | 0 | 0.0% |
| | 女 | 1 | 28.0 | 0 | 0.0% |
| 膠原病リウマチ内科 | 男 | 55 | 16.9 | 3 | 5.5% |
| | 女 | 126 | 21.1 | 5 | 4.0% |
| 呼吸器内科 | 男 | 146 | 21.5 | 13 | 8.9% |
| | 女 | 70 | 23.2 | 5 | 7.1% |
| 歯科口腔外科 | 男 | 190 | 3.3 | 0 | 0.0% |
| | 女 | 250 | 2.7 | 0 | 0.0% |
| 合 計 | 男 | 4,704 | 12.4 | 136 | 2.9% |
| | 女 | 4,412 | 12.0 | 121 | 2.7% |
| | 総数 | 9,116 | 12.2 | 257 | 2.8% |

単位：人

※産婦人科には、産科入院の新生児を含む ※平均在院日数=退院患者総在院日数/総退院数 ※院内粗死亡率=死亡退院患者数/総退院数

■ 診療科別退院患者統計【2021年度】

| 診療科 | 性別 | 退院患者数 | 平均在院日数 | 死亡患者数 | 院内粗死亡率 |
|------------|----|-------|--------|-------|--------|
| (総合)内科 | 男 | 165 | 11.0 | 11 | 6.7% |
| | 女 | 112 | 10.9 | 7 | 6.3% |
| 小児科 | 男 | 249 | 8.2 | 0 | 0.0% |
| | 女 | 230 | 9.7 | 0 | 0.0% |
| 外科 | 男 | 556 | 14.9 | 16 | 2.9% |
| | 女 | 437 | 12.8 | 9 | 2.1% |
| 整形外科 | 男 | 220 | 21.1 | 3 | 1.4% |
| | 女 | 338 | 21.9 | 3 | 0.9% |
| 産婦人科 | 男 | 73 | 6.5 | 0 | 0.0% |
| | 女 | 911 | 7.3 | 2 | 0.2% |
| 眼科 | 男 | 213 | 2.9 | 0 | 0.0% |
| | 女 | 238 | 2.5 | 0 | 0.0% |
| 消化器内科 | 男 | 924 | 9.5 | 32 | 3.5% |
| | 女 | 665 | 10.0 | 23 | 3.5% |
| 泌尿器科 | 男 | 189 | 4.4 | 0 | 0.0% |
| | 女 | 20 | 5.2 | 0 | 0.0% |
| 脳神経内科 | 男 | 166 | 17.8 | 7 | 4.2% |
| | 女 | 127 | 17.9 | 1 | 0.8% |
| 脳神経外科 | 男 | 323 | 16.9 | 14 | 4.3% |
| | 女 | 240 | 19.5 | 9 | 3.8% |
| 循環器内科 | 男 | 795 | 9.7 | 38 | 4.8% |
| | 女 | 457 | 12.4 | 19 | 4.2% |
| 呼吸器外科 | 男 | | | | |
| | 女 | | | | |
| 心臓血管・呼吸器外科 | 男 | 91 | 19.0 | 0 | 0.0% |
| | 女 | 46 | 10.6 | 0 | 0.0% |
| 糖尿病内分泌内科 | 男 | 96 | 19.5 | 5 | 5.2% |
| | 女 | 108 | 16.3 | 3 | 2.8% |
| 腎臓内科 | 男 | 266 | 20.5 | 18 | 6.8% |
| | 女 | 107 | 20.6 | 6 | 5.6% |
| 救急科 | 男 | | | | |
| | 女 | | | | |
| 膠原病リウマチ内科 | 男 | 78 | 14.7 | 2 | 2.6% |
| | 女 | 135 | 16.5 | 11 | 8.1% |
| 呼吸器内科 | 男 | 245 | 18.2 | 33 | 13.5% |
| | 女 | 100 | 16.8 | 5 | 5.0% |
| 歯科口腔外科 | 男 | 79 | 5.3 | 0 | 0.0% |
| | 女 | 81 | 3.9 | 0 | 0.0% |
| 合計 | 男 | 4,728 | 12.4 | 179 | 3.8% |
| | 女 | 4,352 | 11.9 | 98 | 2.3% |
| | 総数 | 9,080 | 12.2 | 277 | 3.1% |

単位：人

※産婦人科には、産科入院の新生児を含む ※平均在院日数=退院患者総在院日数/総退院数 ※院内粗死亡率=死亡退院患者数/総退院数

■ 診療科別・年齢別退院患者数【2018年度】

| 診療科／年齢 | 性別 | 10歳未満 | 20歳未満 | 30歳未満 | 40歳未満 | 50歳未満 | 60歳未満 | 70歳未満 | 80歳未満 | 90歳未満 | 90歳以上 | 合計 |
|------------|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| (総合)内科 | 男 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | 女 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 小児科 | 男 | 194 | 19 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 213 |
| | 女 | 156 | 13 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 169 |
| 外科 | 男 | 5 | 12 | 22 | 16 | 26 | 65 | 118 | 220 | 77 | 11 | 572 |
| | 女 | 2 | 6 | 17 | 35 | 36 | 57 | 111 | 105 | 70 | 9 | 448 |
| 整形外科 | 男 | 4 | 11 | 18 | 9 | 26 | 23 | 34 | 24 | 29 | 5 | 183 |
| | 女 | 3 | 7 | 6 | 4 | 7 | 33 | 41 | 68 | 95 | 46 | 310 |
| 産婦人科 | 男 | 75 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 75 |
| | 女 | 72 | 16 | 132 | 242 | 74 | 24 | 30 | 23 | 3 | 0 | 616 |
| 眼科 | 男 | 0 | 0 | 3 | 0 | 11 | 15 | 28 | 90 | 45 | 1 | 193 |
| | 女 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 6 | 31 | 69 | 55 | 4 | 168 |
| 消化器内科 | 男 | 0 | 9 | 24 | 34 | 45 | 73 | 185 | 263 | 163 | 32 | 828 |
| | 女 | 0 | 9 | 19 | 35 | 41 | 49 | 140 | 153 | 183 | 63 | 692 |
| 泌尿器科 | 男 | 0 | 0 | 0 | 3 | 3 | 18 | 40 | 75 | 41 | 1 | 181 |
| | 女 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 4 | 7 | 8 | 3 | 1 | 25 |
| 脳神経内科 | 男 | 0 | 2 | 9 | 11 | 8 | 21 | 22 | 46 | 20 | 7 | 146 |
| | 女 | 0 | 9 | 6 | 5 | 14 | 6 | 12 | 34 | 40 | 13 | 139 |
| 脳神経外科 | 男 | 1 | 4 | 3 | 8 | 20 | 38 | 55 | 78 | 69 | 5 | 281 |
| | 女 | 0 | 0 | 3 | 2 | 10 | 15 | 50 | 51 | 51 | 14 | 196 |
| 循環器内科 | 男 | 0 | 6 | 7 | 17 | 37 | 84 | 196 | 308 | 194 | 47 | 896 |
| | 女 | 0 | 1 | 6 | 6 | 7 | 25 | 73 | 153 | 170 | 89 | 530 |
| 呼吸器外科 | 男 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| | 女 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 心臓血管・呼吸器外科 | 男 | 0 | 4 | 0 | 3 | 4 | 13 | 18 | 21 | 9 | 0 | 72 |
| | 女 | 0 | 0 | 1 | 3 | 3 | 8 | 19 | 24 | 5 | 0 | 63 |
| 糖尿病内分泌内科 | 男 | 0 | 1 | 6 | 17 | 14 | 8 | 18 | 32 | 29 | 7 | 132 |
| | 女 | 0 | 3 | 5 | 5 | 5 | 10 | 15 | 18 | 26 | 7 | 94 |
| 腎臓内科 | 男 | 0 | 4 | 4 | 6 | 10 | 27 | 47 | 83 | 87 | 15 | 283 |
| | 女 | 0 | 3 | 6 | 6 | 13 | 15 | 24 | 41 | 64 | 27 | 199 |
| 救急科 | 男 | 0 | 0 | 1 | 3 | 2 | 1 | 2 | 3 | 2 | 0 | 14 |
| | 女 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 2 | 0 | 7 |
| 膠原病リウマチ内科 | 男 | 0 | 0 | 4 | 2 | 6 | 3 | 6 | 15 | 6 | 3 | 45 |
| | 女 | 0 | 0 | 7 | 8 | 14 | 24 | 9 | 16 | 18 | 1 | 97 |
| 呼吸器内科 | 男 | 0 | 1 | 4 | 2 | 5 | 4 | 14 | 82 | 37 | 8 | 157 |
| | 女 | 0 | 1 | 0 | 1 | 3 | 6 | 25 | 30 | 19 | 7 | 92 |
| 歯科口腔外科 | 男 | 11 | 24 | 40 | 26 | 21 | 10 | 15 | 33 | 14 | 1 | 195 |
| | 女 | 5 | 32 | 70 | 24 | 18 | 18 | 21 | 27 | 17 | 3 | 235 |
| 合計 | 男 | 290 | 97 | 145 | 157 | 238 | 403 | 799 | 1,374 | 822 | 143 | 4,468 |
| | 女 | 238 | 102 | 280 | 377 | 248 | 300 | 609 | 821 | 821 | 284 | 4,080 |
| | 総数 | 528 | 199 | 425 | 534 | 486 | 703 | 1,408 | 2,195 | 1,643 | 427 | 8,548 |

単位：人

※産婦人科には、産科入院の新生児を含む ※平均在院日数=退院患者総在院日数/総退院数 ※院内粗死亡率=死亡退院患者数/総退院数

■ 診療科別・年齢別退院患者数【2019年度】

| 診療科／年齢 | 性別 | 10歳未満 | 20歳未満 | 30歳未満 | 40歳未満 | 50歳未満 | 60歳未満 | 70歳未満 | 80歳未満 | 90歳未満 | 90歳以上 | 合計 |
|---------------|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| (総合)内科 | 男 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 女 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 小児科 | 男 | 257 | 29 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 286 |
| | 女 | 167 | 27 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 194 |
| 外科 | 男 | 0 | 18 | 22 | 20 | 43 | 74 | 130 | 272 | 103 | 14 | 696 |
| | 女 | 1 | 9 | 16 | 27 | 62 | 37 | 103 | 130 | 86 | 22 | 493 |
| 整形外科 | 男 | 3 | 17 | 14 | 17 | 21 | 25 | 35 | 36 | 43 | 6 | 217 |
| | 女 | 0 | 3 | 5 | 5 | 16 | 36 | 42 | 87 | 107 | 47 | 348 |
| 産婦人科 | 男 | 57 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 57 |
| | 女 | 74 | 16 | 172 | 323 | 129 | 56 | 37 | 26 | 8 | 1 | 842 |
| 眼科 | 男 | 0 | 0 | 0 | 4 | 5 | 24 | 29 | 100 | 59 | 1 | 222 |
| | 女 | 1 | 0 | 1 | 2 | 8 | 17 | 40 | 94 | 58 | 0 | 221 |
| 消化器内科 | 男 | 0 | 9 | 26 | 16 | 41 | 76 | 152 | 317 | 181 | 36 | 854 |
| | 女 | 0 | 6 | 13 | 27 | 32 | 54 | 113 | 174 | 173 | 46 | 638 |
| 泌尿器科 | 男 | 0 | 0 | 1 | 0 | 4 | 8 | 54 | 143 | 32 | 7 | 249 |
| | 女 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 2 | 4 | 10 | 10 | 1 | 30 |
| 脳神経内科 | 男 | 0 | 6 | 14 | 12 | 12 | 19 | 31 | 58 | 40 | 10 | 202 |
| | 女 | 0 | 6 | 8 | 9 | 9 | 9 | 23 | 37 | 32 | 21 | 154 |
| 脳神経外科 | 男 | 0 | 3 | 3 | 6 | 26 | 39 | 72 | 102 | 109 | 16 | 376 |
| | 女 | 1 | 1 | 0 | 4 | 14 | 32 | 47 | 71 | 76 | 14 | 260 |
| 循環器内科 | 男 | 0 | 6 | 7 | 22 | 52 | 111 | 196 | 381 | 281 | 50 | 1,106 |
| | 女 | 0 | 2 | 10 | 6 | 23 | 21 | 78 | 158 | 214 | 95 | 607 |
| 呼吸器外科 | 男 | | | | | | | | | | | |
| | 女 | | | | | | | | | | | |
| 心臓血管・呼吸器外科 | 男 | 0 | 1 | 2 | 2 | 7 | 15 | 17 | 34 | 12 | 5 | 95 |
| | 女 | 0 | 0 | 1 | 0 | 3 | 5 | 23 | 24 | 13 | 0 | 69 |
| 糖尿病内 分泌内科 | 男 | 0 | 2 | 8 | 1 | 8 | 15 | 22 | 31 | 37 | 7 | 131 |
| | 女 | 0 | 3 | 2 | 7 | 13 | 13 | 15 | 17 | 38 | 15 | 123 |
| 腎臓内科 | 男 | 0 | 7 | 3 | 11 | 18 | 22 | 50 | 67 | 82 | 15 | 275 |
| | 女 | 0 | 2 | 8 | 7 | 7 | 11 | 18 | 50 | 79 | 34 | 216 |
| 救急科 | 男 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| | 女 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 |
| 膠原病リウ マチ内科 | 男 | 0 | 2 | 1 | 2 | 11 | 7 | 7 | 23 | 14 | 4 | 71 |
| | 女 | 0 | 0 | 4 | 5 | 15 | 31 | 16 | 33 | 29 | 7 | 140 |
| 呼吸器内科 | 男 | 0 | 1 | 1 | 2 | 0 | 10 | 20 | 78 | 25 | 6 | 143 |
| | 女 | 0 | 0 | 1 | 0 | 3 | 10 | 9 | 33 | 21 | 4 | 81 |
| 歯科 口 腔外科 | 男 | 15 | 38 | 32 | 25 | 25 | 14 | 16 | 33 | 16 | 4 | 218 |
| | 女 | 7 | 63 | 89 | 36 | 34 | 28 | 20 | 36 | 24 | 9 | 346 |
| 合計 | 男 | 332 | 139 | 134 | 141 | 273 | 461 | 831 | 1,675 | 1,034 | 181 | 5,201 |
| | 女 | 251 | 138 | 331 | 459 | 370 | 362 | 588 | 981 | 968 | 316 | 4,764 |
| | 総数 | 583 | 277 | 465 | 600 | 643 | 823 | 1,419 | 2,656 | 2,002 | 497 | 9,965 |

単位：人 ※産婦人科には、産科入院の新生児を含む

■ 診療科別・年齢別退院患者数【2020年度】

| 診療科／年齢 | 性別 | 10歳未満 | 20歳未満 | 30歳未満 | 40歳未満 | 50歳未満 | 60歳未満 | 70歳未満 | 80歳未満 | 90歳未満 | 90歳以上 | 合計 |
|------------|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| (総合)内科 | 男 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 3 |
| | 女 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 0 | 8 |
| 小児科 | 男 | 189 | 17 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 206 |
| | 女 | 131 | 16 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 147 |
| 外科 | 男 | 1 | 14 | 17 | 17 | 33 | 65 | 88 | 236 | 120 | 8 | 599 |
| | 女 | 2 | 6 | 7 | 22 | 64 | 55 | 63 | 122 | 81 | 11 | 433 |
| 整形外科 | 男 | 8 | 21 | 13 | 9 | 28 | 36 | 34 | 34 | 39 | 9 | 231 |
| | 女 | 5 | 5 | 1 | 3 | 10 | 30 | 49 | 94 | 92 | 42 | 331 |
| 産婦人科 | 男 | 66 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 66 |
| | 女 | 80 | 15 | 245 | 340 | 135 | 57 | 48 | 28 | 11 | 1 | 960 |
| 眼科 | 男 | 0 | 2 | 0 | 1 | 4 | 7 | 37 | 131 | 53 | 1 | 236 |
| | 女 | 1 | 0 | 1 | 1 | 7 | 13 | 29 | 118 | 64 | 4 | 238 |
| 消化器内科 | 男 | 0 | 5 | 26 | 32 | 63 | 118 | 183 | 328 | 186 | 32 | 973 |
| | 女 | 0 | 5 | 15 | 18 | 37 | 55 | 87 | 187 | 190 | 56 | 650 |
| 泌尿器科 | 男 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 8 | 36 | 112 | 36 | 6 | 199 |
| | 女 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 9 | 7 | 4 | 22 |
| 脳神経内科 | 男 | 0 | 3 | 5 | 7 | 10 | 27 | 33 | 54 | 40 | 4 | 183 |
| | 女 | 0 | 7 | 6 | 8 | 13 | 16 | 16 | 35 | 41 | 14 | 156 |
| 脳神経外科 | 男 | 2 | 5 | 2 | 6 | 21 | 38 | 55 | 83 | 75 | 14 | 301 |
| | 女 | 3 | 3 | 4 | 9 | 21 | 29 | 33 | 72 | 71 | 23 | 268 |
| 循環器内科 | 男 | 0 | 4 | 7 | 12 | 32 | 92 | 145 | 281 | 216 | 70 | 859 |
| | 女 | 0 | 5 | 6 | 2 | 11 | 24 | 32 | 116 | 176 | 66 | 438 |
| 呼吸器外科 | 男 | | | | | | | | | | | |
| | 女 | | | | | | | | | | | |
| 心臓血管・呼吸器外科 | 男 | 0 | 2 | 4 | 4 | 5 | 8 | 21 | 42 | 9 | 1 | 96 |
| | 女 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 8 | 9 | 28 | 12 | 0 | 60 |
| 糖尿病内分泌内科 | 男 | 0 | 0 | 2 | 4 | 13 | 17 | 12 | 33 | 25 | 4 | 110 |
| | 女 | 0 | 0 | 5 | 6 | 6 | 13 | 9 | 15 | 33 | 11 | 98 |
| 腎臓内科 | 男 | 0 | 4 | 9 | 5 | 13 | 23 | 42 | 75 | 58 | 17 | 246 |
| | 女 | 0 | 2 | 8 | 2 | 10 | 11 | 18 | 34 | 57 | 14 | 156 |
| 救急科 | 男 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 5 |
| | 女 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 膠原病リウマチ内科 | 男 | 0 | 3 | 2 | 1 | 5 | 4 | 6 | 21 | 10 | 3 | 55 |
| | 女 | 0 | 2 | 10 | 6 | 9 | 16 | 20 | 26 | 24 | 13 | 126 |
| 呼吸器内科 | 男 | 0 | 0 | 1 | 2 | 1 | 10 | 26 | 72 | 26 | 8 | 146 |
| | 女 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 4 | 8 | 26 | 28 | 3 | 70 |
| 歯科口腔外科 | 男 | 16 | 41 | 50 | 24 | 19 | 15 | 6 | 8 | 11 | 0 | 190 |
| | 女 | 3 | 47 | 87 | 35 | 23 | 13 | 11 | 22 | 8 | 1 | 250 |
| 合計 | 男 | 282 | 121 | 140 | 124 | 250 | 469 | 724 | 1,511 | 906 | 177 | 4,704 |
| | 女 | 225 | 114 | 397 | 453 | 349 | 346 | 435 | 933 | 896 | 264 | 4,412 |
| | 総数 | 507 | 235 | 537 | 577 | 599 | 815 | 1,159 | 2,444 | 1,802 | 441 | 9,116 |

単位：人 ※産婦人科には、産科入院の新生児を含む

■ 診療科別・年齢別退院患者数【2021年度】

| 診療科／年齢 | 性別 | 10歳未満 | 20歳未満 | 30歳未満 | 40歳未満 | 50歳未満 | 60歳未満 | 70歳未満 | 80歳未満 | 90歳未満 | 90歳以上 | 合計 |
|------------|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| (総合)内科 | 男 | 0 | 0 | 14 | 21 | 31 | 25 | 26 | 18 | 27 | 3 | 165 |
| | 女 | 0 | 3 | 3 | 7 | 11 | 24 | 7 | 20 | 22 | 15 | 112 |
| 小児科 | 男 | 236 | 13 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 249 |
| | 女 | 200 | 30 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 230 |
| 外科 | 男 | 3 | 7 | 10 | 29 | 36 | 64 | 98 | 189 | 105 | 15 | 556 |
| | 女 | 0 | 11 | 6 | 17 | 52 | 70 | 70 | 126 | 74 | 11 | 437 |
| 整形外科 | 男 | 3 | 11 | 10 | 21 | 25 | 27 | 40 | 34 | 40 | 9 | 220 |
| | 女 | 1 | 8 | 4 | 9 | 18 | 35 | 47 | 88 | 91 | 37 | 338 |
| 産婦人科 | 男 | 73 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 73 |
| | 女 | 57 | 9 | 188 | 333 | 132 | 68 | 71 | 40 | 12 | 1 | 911 |
| 眼科 | 男 | 0 | 1 | 2 | 2 | 3 | 9 | 42 | 92 | 61 | 1 | 213 |
| | 女 | 0 | 0 | 0 | 3 | 5 | 9 | 34 | 120 | 58 | 9 | 238 |
| 消化器内科 | 男 | 0 | 4 | 14 | 22 | 49 | 101 | 160 | 350 | 198 | 26 | 924 |
| | 女 | 0 | 6 | 8 | 11 | 56 | 57 | 92 | 196 | 169 | 70 | 665 |
| 泌尿器科 | 男 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 9 | 41 | 93 | 37 | 6 | 189 |
| | 女 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 8 | 11 | 0 | 20 |
| 脳神経内科 | 男 | 0 | 2 | 5 | 6 | 5 | 28 | 30 | 48 | 37 | 5 | 166 |
| | 女 | 0 | 2 | 3 | 2 | 6 | 15 | 8 | 45 | 37 | 9 | 127 |
| 脳神経外科 | 男 | 2 | 5 | 2 | 6 | 20 | 41 | 46 | 100 | 87 | 14 | 323 |
| | 女 | 0 | 0 | 3 | 3 | 18 | 43 | 40 | 65 | 53 | 15 | 240 |
| 循環器内科 | 男 | 0 | 3 | 4 | 3 | 34 | 93 | 144 | 252 | 210 | 52 | 795 |
| | 女 | 0 | 0 | 1 | 8 | 9 | 31 | 33 | 136 | 180 | 59 | 457 |
| 呼吸器外科 | 男 | | | | | | | | | | | |
| | 女 | | | | | | | | | | | |
| 心臓血管・呼吸器外科 | 男 | 0 | 3 | 6 | 6 | 2 | 7 | 26 | 27 | 13 | 1 | 91 |
| | 女 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 8 | 11 | 20 | 5 | 0 | 46 |
| 糖尿病内分泌内科 | 男 | 0 | 0 | 0 | 1 | 9 | 11 | 19 | 27 | 25 | 4 | 96 |
| | 女 | 0 | 1 | 5 | 4 | 7 | 13 | 9 | 23 | 38 | 8 | 108 |
| 腎臓内科 | 男 | 0 | 3 | 3 | 7 | 13 | 20 | 33 | 89 | 78 | 20 | 266 |
| | 女 | 0 | 2 | 4 | 3 | 9 | 5 | 13 | 20 | 42 | 9 | 107 |
| 救急科 | 男 | | | | | | | | | | | |
| | 女 | | | | | | | | | | | |
| 膠原病リウマチ内科 | 男 | 0 | 1 | 1 | 1 | 7 | 9 | 18 | 20 | 17 | 4 | 78 |
| | 女 | 0 | 4 | 3 | 6 | 8 | 12 | 19 | 39 | 32 | 12 | 135 |
| 呼吸器内科 | 男 | 0 | 0 | 4 | 0 | 1 | 14 | 68 | 88 | 61 | 9 | 245 |
| | 女 | 0 | 0 | 0 | 0 | 8 | 3 | 13 | 41 | 31 | 4 | 100 |
| 歯科 口腔外科 | 男 | 0 | 11 | 15 | 13 | 14 | 3 | 3 | 5 | 14 | 1 | 79 |
| | 女 | 3 | 11 | 23 | 4 | 10 | 6 | 7 | 9 | 7 | 1 | 81 |
| 合計 | 男 | 317 | 64 | 92 | 138 | 250 | 461 | 794 | 1,432 | 1,010 | 170 | 4,728 |
| | 女 | 261 | 87 | 251 | 411 | 350 | 399 | 475 | 996 | 862 | 260 | 4,352 |
| | 総数 | 578 | 151 | 343 | 549 | 600 | 860 | 1,269 | 2,428 | 1,872 | 430 | 9,080 |

単位：人 ※産婦人科には、産科入院の新生児を含む

■ MDC 2 分類別患者統計

※このデータはDPC提出データを基に集計

| MDC コード ¹⁾ | M D C 名 称 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 |
|--------------------------|------------------------|--------|--------|--------|--------|
| 01 | 神経系疾患 | 601 | 803 | 743 | 679 |
| 02 | 眼科系疾患 | 357 | 435 | 473 | 451 |
| 03 | 耳鼻咽喉科系疾患 | 202 | 257 | 149 | 131 |
| 04 | 呼吸器系疾患 | 944 | 990 | 686 | 761 |
| 05 | 循環器系疾患 | 1270 | 1461 | 1096 | 1150 |
| 06 | 消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患 | 2185 | 2175 | 2153 | 2145 |
| 07 | 筋骨格系疾患 | 247 | 267 | 260 | 226 |
| 08 | 皮膚・皮下組織の疾患 | 71 | 74 | 61 | 52 |
| 09 | 乳房の疾患 | 95 | 90 | 97 | 90 |
| 10 | 内分泌・栄養・代謝に関する疾患 | 195 | 198 | 146 | 186 |
| 11 | 腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患 | 538 | 641 | 571 | 511 |
| 12 | 女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩 | 387 | 549 | 688 | 686 |
| 13 | 血液・造血器・免疫臓器の疾患 | 103 | 77 | 87 | 90 |
| 14 | 新生児疾患、先天性奇形 | 110 | 132 | 112 | 96 |
| 15 | 小児疾患 | 22 | 26 | 20 | 22 |
| 16 | 外傷・熱傷・中毒 | 552 | 647 | 591 | 562 |
| 17 | 精神疾患 | 23 | 34 | 17 | 19 |
| 18 | その他 | 135 | 153 | 198 | 210 |

単位：人 ※産婦人科には、産科入院の新生児を含む

がん登録統計

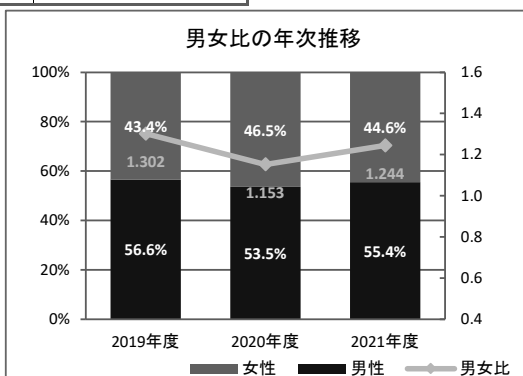
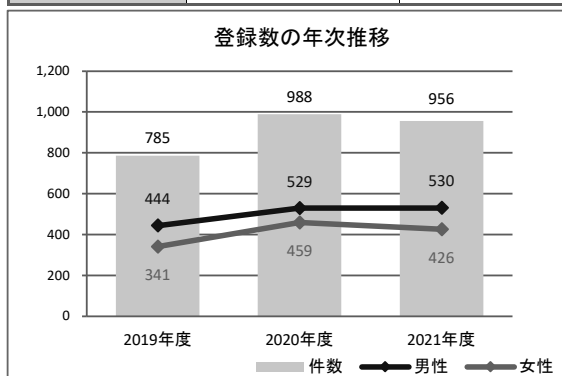
- 「院内がん登録標準登録様式2016年版」の登録対象に基づき、原発かつ初発の診断が行われた腫瘍を登録
- 登録対象となる腫瘍の種類
 - ・国際疾病分類－腫瘍学第3.2版において悪性又は上皮内癌に分類された腫瘍
 - ・中枢神経系腫瘍
 - ・消化管間質腫瘍
 - ・境界悪性の卵巣腫瘍の一部
- 集計期間
 - ・2019年度：2018年5月1日から2019年3月31日の間に診断された症例
 - ・2020年度：2019年4月1日から2020年3月31日の間に診断された症例
 - ・2021年度：2020年4月1日から2021年3月31日の間に診断された症例

年次推移と部位別登録数

登録数の年次推移

| | 2019年度 | | 2020年度 | | 2021年度 | |
|-----|--------|---------|--------|---------|--------|---------|
| | 件数 | (%) | 件数 | (%) | 件数 | (%) |
| 全体 | 785 | | 988 | | 956 | |
| 男性 | 444 | (56.6%) | 529 | (53.5%) | 530 | (55.4%) |
| 女性 | 341 | (43.4%) | 459 | (46.5%) | 426 | (44.6%) |
| 男女比 | 1.302 | | 1.153 | | 1.244 | |

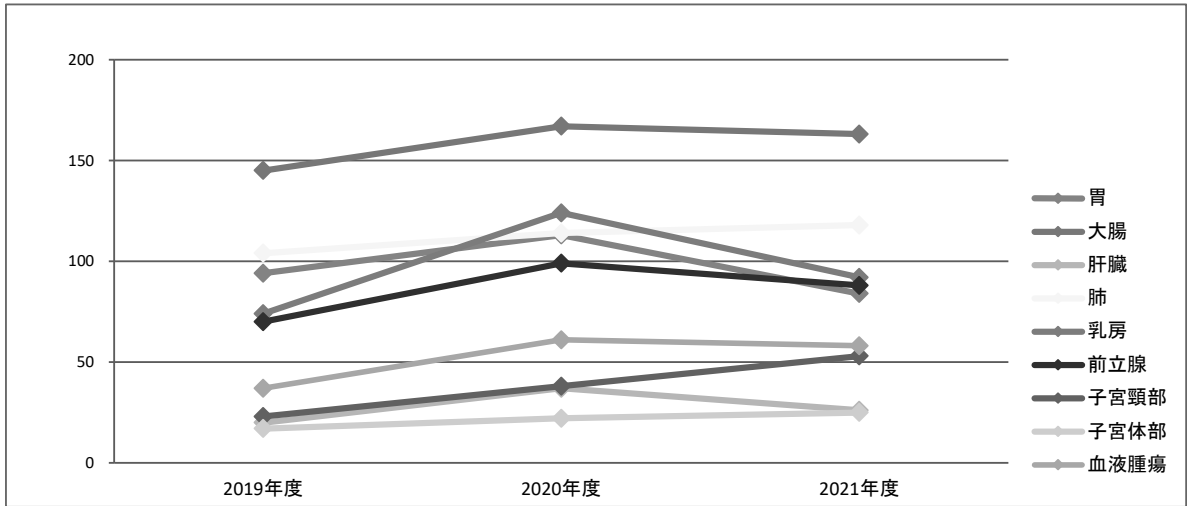
*男女比は女性を1としたときの男性の比率



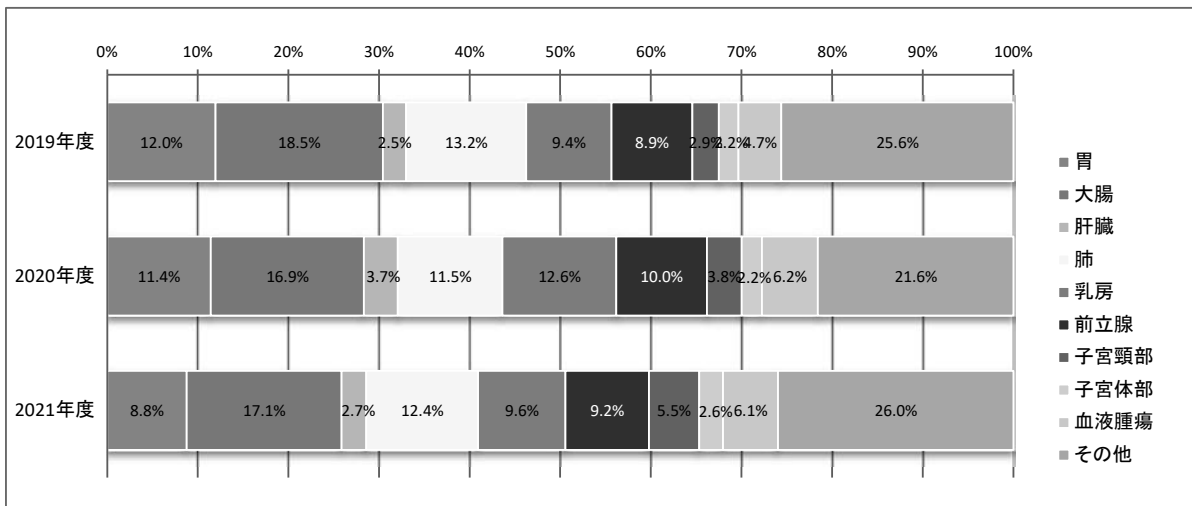
登録数の年次推移(部位別)

| | 2019年度 | | 2020年度 | | 2021年度 | |
|------------|--------|---------|--------|---------|--------|---------|
| | 件数 | (%) | 件数 | (%) | 件数 | (%) |
| 口腔・咽頭 | 17 | (2.2%) | 18 | (1.8%) | 9 | (0.9%) |
| 食道 | 17 | (2.2%) | 15 | (1.5%) | 21 | (2.2%) |
| 胃 | 94 | (12.0%) | 113 | (11.4%) | 84 | (8.8%) |
| 結腸 | 106 | (13.5%) | 114 | (11.5%) | 125 | (13.1%) |
| 直腸 | 39 | (5.0%) | 53 | (5.4%) | 38 | (4.0%) |
| 肝臓 | 20 | (2.5%) | 37 | (3.7%) | 26 | (2.7%) |
| 胆嚢・胆管 | 19 | (2.4%) | 16 | (1.6%) | 20 | (2.1%) |
| 膵臓 | 38 | (4.8%) | 35 | (3.5%) | 34 | (3.6%) |
| 喉頭 | 0 | (0.0%) | 0 | (0.0%) | 2 | (0.2%) |
| 肺 | 104 | (13.2%) | 114 | (11.5%) | 118 | (12.3%) |
| 骨・軟部 | 3 | (0.4%) | 4 | (0.4%) | 1 | (0.1%) |
| 皮膚(黒色腫を含む) | 6 | (0.8%) | 7 | (0.7%) | 5 | (0.5%) |
| 乳房 | 74 | (9.4%) | 124 | (12.6%) | 92 | (9.6%) |
| 子宮頸部 | 23 | (2.9%) | 38 | (3.8%) | 53 | (5.5%) |
| 子宮体部 | 17 | (2.2%) | 22 | (2.2%) | 25 | (2.6%) |
| 子宮 | 0 | (0.0%) | 0 | (0.0%) | 1 | (0.1%) |
| 卵巣 | 13 | (1.7%) | 10 | (1.0%) | 16 | (1.7%) |
| 前立腺 | 70 | (8.9%) | 99 | (10.0%) | 88 | (9.2%) |
| 膀胱 | 24 | (3.1%) | 36 | (3.6%) | 39 | (4.1%) |
| 腎・他の尿路 | 13 | (1.7%) | 16 | (1.6%) | 24 | (2.5%) |
| 脳・中枢神経系 | 28 | (3.6%) | 35 | (3.5%) | 48 | (5.0%) |
| 甲状腺 | 2 | (0.3%) | 1 | (0.1%) | 2 | (0.2%) |
| 悪性リンパ腫 | 8 | (1.0%) | 22 | (2.2%) | 17 | (1.8%) |
| 多発性骨髄腫 | 4 | (0.5%) | 8 | (0.8%) | 9 | (0.9%) |
| 白血病 | 10 | (1.3%) | 12 | (1.2%) | 9 | (0.9%) |
| 他の造血器腫瘍 | 15 | (1.9%) | 19 | (1.9%) | 23 | (2.4%) |
| その他 | 21 | (2.7%) | 20 | (2.0%) | 27 | (2.8%) |
| 合計 | 785 | 1 | 988 | 1 | 956 | 1 |

部位別登録数の推移

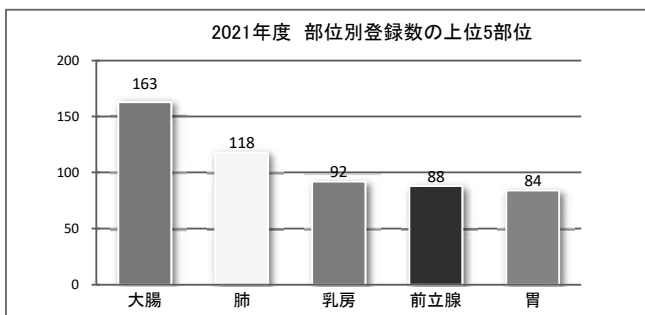


登録数の部位別の割合



部位別登録数の上位5部位

| 順位 | 2019年度 | | 2020年度 | | 2021年度 | |
|----|--------|-----|--------|-----|--------|-----|
| | 部位名 | 件数 | 部位名 | 件数 | 部位名 | 件数 |
| 1 | 大腸 | 145 | 大腸 | 167 | 大腸 | 163 |
| 2 | 肺 | 104 | 乳房 | 124 | 肺 | 118 |
| 3 | 胃 | 94 | 肺 | 114 | 乳房 | 92 |
| 4 | 乳房 | 74 | 胃 | 113 | 前立腺 | 88 |
| 5 | 前立腺 | 70 | 前立腺 | 99 | 胃 | 84 |

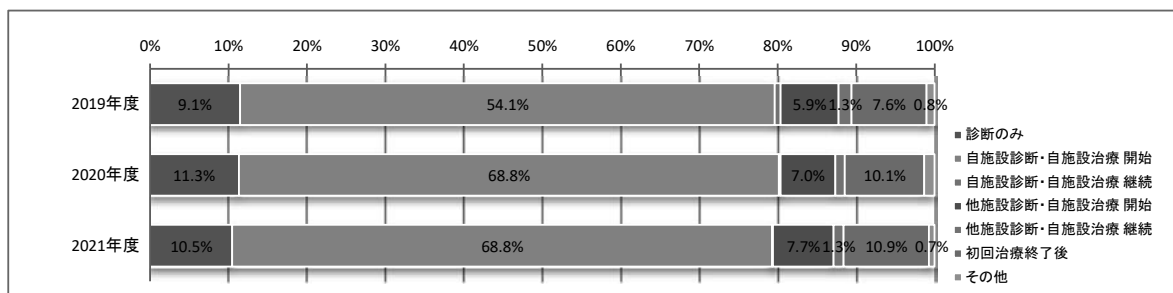


症例区分

症例区分

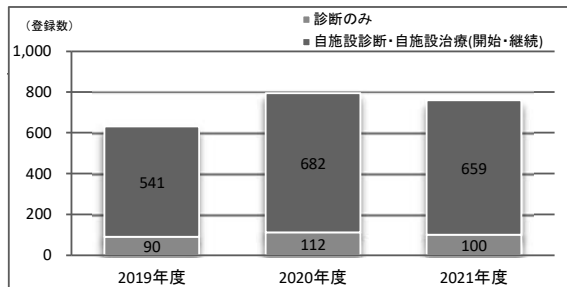
| | 2019年度 | | 2020年度 | | 2021年度 | |
|----------------|--------|---------|--------|---------|--------|---------|
| | 件数 | (%) | 件数 | (%) | 件数 | (%) |
| 診断のみ | 90 | (9.1%) | 112 | (11.3%) | 100 | (10.5%) |
| 自施設診断・自施設治療 開始 | 535 | (54.1%) | 680 | (68.8%) | 658 | (68.8%) |
| 自施設診断・自施設治療 継続 | 6 | (0.6%) | 2 | (0.2%) | 1 | (0.1%) |
| 他施設診断・自施設治療 開始 | 58 | (5.9%) | 69 | (7.0%) | 74 | (7.7%) |
| 他施設診断・自施設治療 継続 | 13 | (1.3%) | 12 | (1.2%) | 12 | (1.3%) |
| 初回治療終了後 | 75 | (7.6%) | 100 | (10.1%) | 104 | (10.9%) |
| その他 | 8 | (0.8%) | 13 | (1.3%) | 7 | (0.7%) |

症例区分の割合



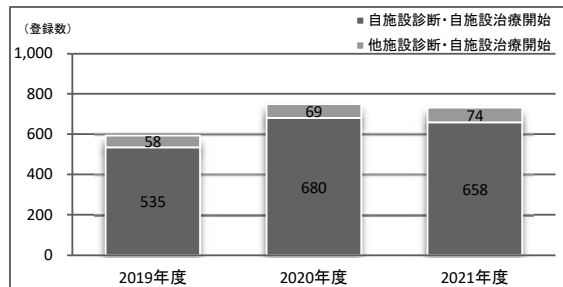
自施設でがんと診断した症例の年次推移

(診断のみ、自施設診断・自施設治療開始、自施設診断・自施設治療継続)



自施設初回治療開始症例の年次推移

(自施設診断・自施設治療開始、他施設診断・自施設治療開始)



2021年度の症例区分の診断施設・治療施設マトリクス

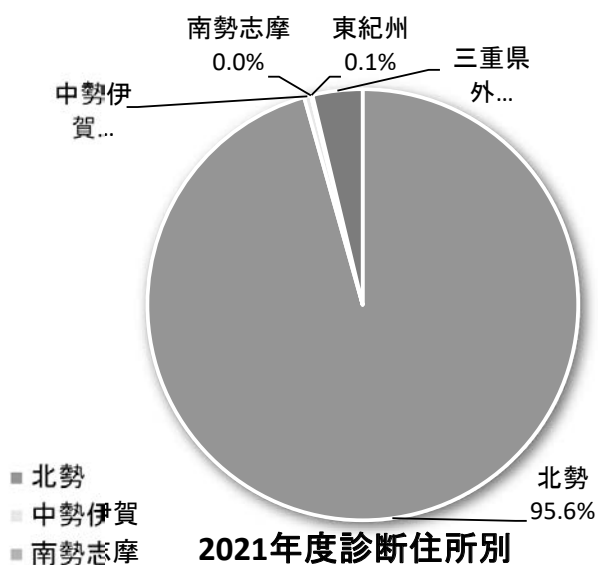
| 治療施設 \ 診断施設 | 自施設診断 (当該腫瘍について「がん」と診断された最も確かと考えられる検査が自施設初診後に行われた症例) | 他施設診断 (当該腫瘍について「がん」と診断された最も確かと考えられる検査が自施設初診前にすでに行われていた症例) |
|-------------|---|--|
| | 自施設で初回治療せず | <診断のみ> 100 |
| 自施設で初回治療開始 | <自施設診断・自施設治療開始> 658 | <他施設診断・自施設治療開始> 74 |
| 初回治療継続 | <自施設診断・自施設治療継続> 1 | <他施設診断・自施設治療継続> 12 |
| 初回治療終了後 | <初回治療終了後> 1 | <初回治療終了後、その他> 103 |
| その他 | <その他> 0 | <その他> 0 |

※表中の<>は診断施設・治療施設から選択される症例区分

診断時住所別

診断時住所別

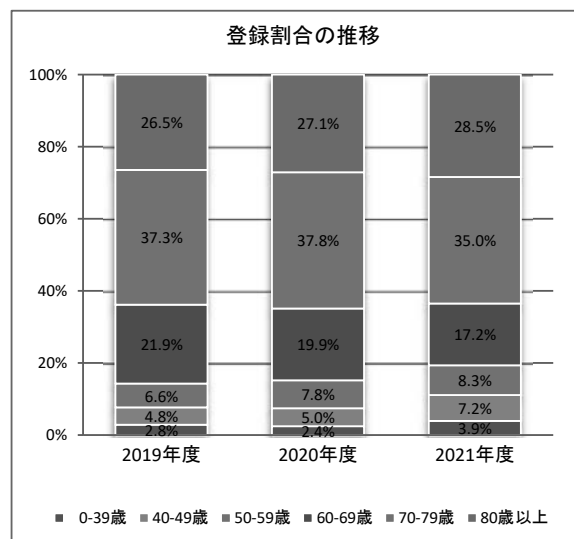
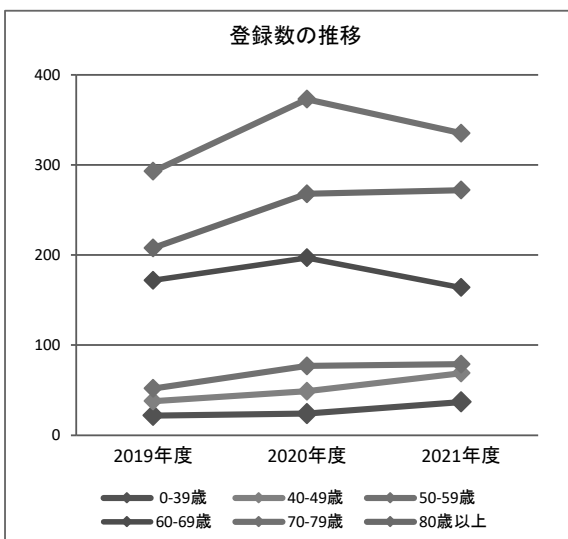
| 医療圏 | 市郡・県外 | 町村 | 2019年度 | | 2020年度 | | 2021年度 | | | | | |
|----------|-------|--------------------|--------|---------|--------|-----|---------|--------|-----|---------|--------|----|
| | | | 件数 | (%) | 件数 | 件数 | (%) | 件数 | (%) | 件数 | | |
| 北勢 | 四日市市 | | 757 | (96.4%) | 27 | 943 | (95.4%) | 44 | 914 | (95.6%) | 43 | |
| | 桑名市 | | | | 552 | | 654 | | | | 650 | |
| | 鈴鹿市 | | | | 2 | | 3 | | | | 4 | |
| | 亀山市 | | | | 0 | | 2 | | | | 2 | |
| | いなべ市 | | | | 45 | | 76 | | | | 81 | |
| | 桑名郡 | | | | 3 | | 8 | | | | 6 | |
| | 員弁郡 | (東員町) | | | | 81 | | 105 | | | 84 | |
| | 三重郡 | (菟野町,朝日町,川越町) | | | | 47 | | 51 | | | 44 | |
| 中勢伊賀 | 津市 | | 0 | (0.0%) | 0 | 1 | (0.1%) | 0 | 5 | (0.5%) | 3 | |
| | 名張市 | | | | 0 | | 0 | | | | 2 | |
| | 伊賀市 | | | | 0 | | 1 | | | | 0 | |
| 南勢志摩 | 伊勢市 | | 2 | (0.3%) | 0 | 1 | (0.1%) | 0 | 0 | (0.0%) | 0 | |
| | 松阪市 | | | | 1 | | 1 | | | | 0 | |
| | 鳥羽市 | | | | 0 | | 0 | | | | 0 | |
| | 志摩市 | | | | 0 | | 0 | | | | 0 | |
| | 多気郡 | (多気町,明和町,大台町) | | | | 0 | | 0 | | | 0 | |
| | 度会郡 | (玉城町,度会町,大紀町,南伊勢町) | | | | 1 | | 0 | | | 0 | |
| 東紀州 | 尾鷲市 | | 0 | (0.0%) | 0 | 0 | (0.0%) | 0 | 1 | (0.1%) | 1 | |
| | 熊野市 | | | | 0 | | 0 | | | | 0 | |
| | 北牟婁郡 | (紀北町) | | | 0 | | 0 | | | | 0 | |
| | 南牟婁郡 | (御浜町,紀宝町) | | | 0 | | 0 | | | | 0 | |
| 三重県外 | | | | 26 | (3.3%) | 26 | 43 | (4.4%) | 43 | 36 | (3.8%) | 36 |
| 合計(全登録数) | | | | | 785 | | | 988 | | | 956 | |



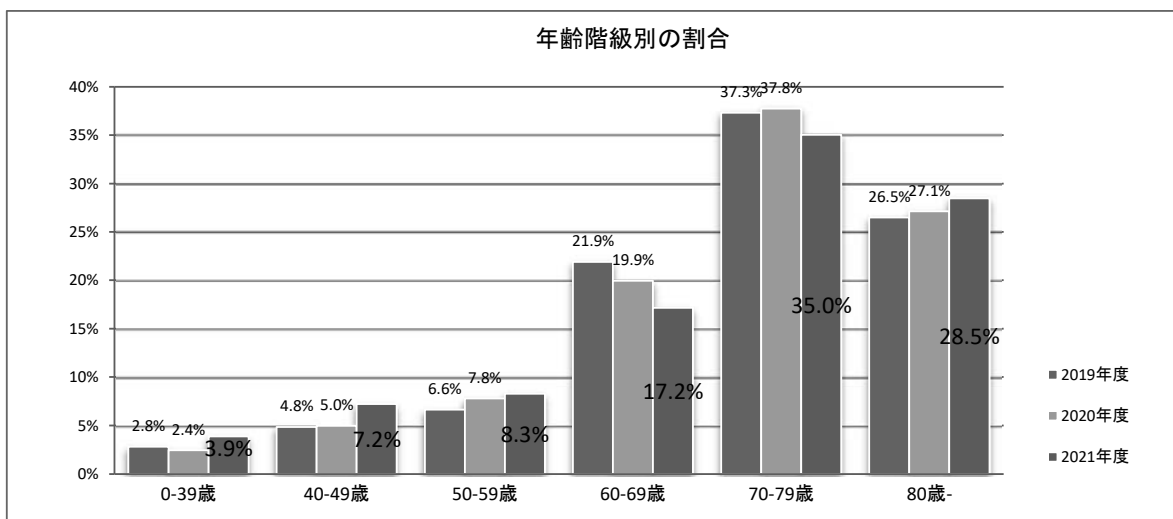
年齢の割合

年齢階級別登録数の年次推移

| 診断年 | 2019年度 | | 2020年度 | | 2021年度 | |
|--------|--------|---------|--------|---------|--------|---------|
| | 件数 | (%) | 件数 | (%) | 件数 | (%) |
| 0-39歳 | 22 | (2.8%) | 24 | (2.4%) | 37 | (3.9%) |
| 40-49歳 | 38 | (4.8%) | 49 | (5.0%) | 69 | (7.2%) |
| 50-59歳 | 52 | (6.6%) | 77 | (7.8%) | 79 | (8.3%) |
| 60-69歳 | 172 | (21.9%) | 197 | (19.9%) | 164 | (17.2%) |
| 70-79歳 | 293 | (37.3%) | 373 | (37.8%) | 335 | (35.0%) |
| 80歳- | 208 | (26.5%) | 268 | (27.1%) | 272 | (28.5%) |

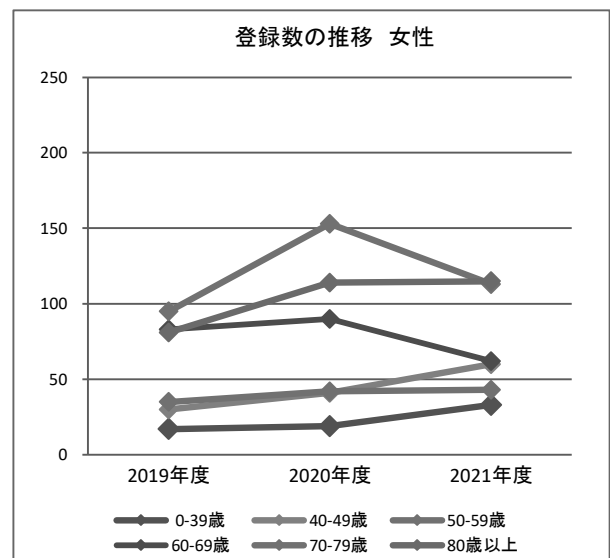
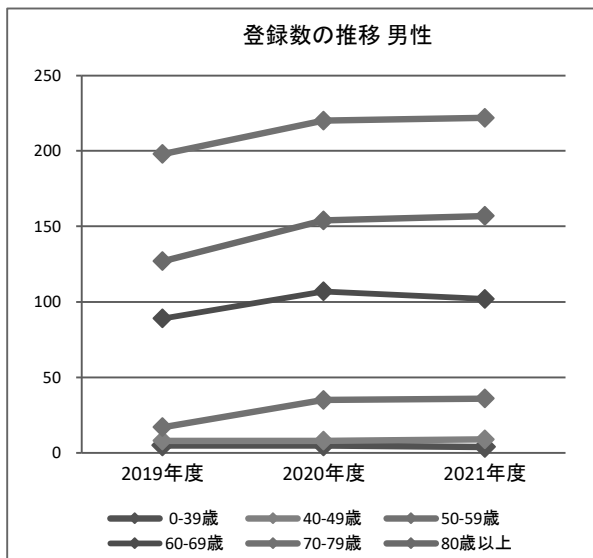


年齢階級別登録割合

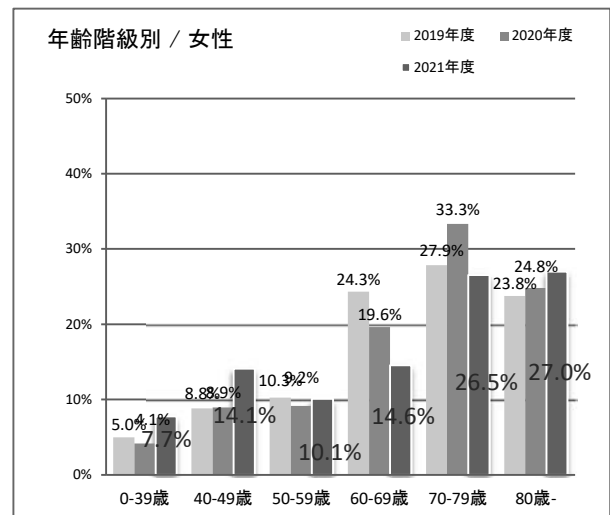
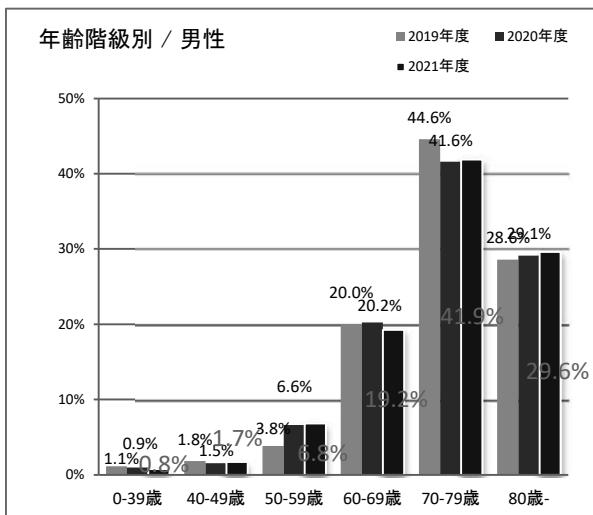


男女別 年齢階級別登録数の年次推移

| 診断年 | 2019年度 | | 2020年度 | | 2021年度 | |
|--------|--------|---------|--------|---------|--------|---------|
| | 件数 | (%) | 件数 | (%) | 件数 | (%) |
| 男性 | | | | | | |
| 0-39歳 | 5 | (1.1%) | 5 | (0.9%) | 4 | (0.8%) |
| 40-49歳 | 8 | (1.8%) | 8 | (1.5%) | 9 | (1.7%) |
| 50-59歳 | 17 | (3.8%) | 35 | (6.6%) | 36 | (6.8%) |
| 60-69歳 | 89 | (20.0%) | 107 | (20.2%) | 102 | (19.2%) |
| 70-79歳 | 198 | (44.6%) | 220 | (41.6%) | 222 | (41.9%) |
| 80歳- | 127 | (28.6%) | 154 | (29.1%) | 157 | (29.6%) |
| 女性 | | | | | | |
| 0-39歳 | 17 | (5.0%) | 19 | (4.1%) | 33 | (7.7%) |
| 40-49歳 | 30 | (8.8%) | 41 | (8.9%) | 60 | (14.1%) |
| 50-59歳 | 35 | (10.3%) | 42 | (9.2%) | 43 | (10.1%) |
| 60-69歳 | 83 | (24.3%) | 90 | (19.6%) | 62 | (14.6%) |
| 70-79歳 | 95 | (27.9%) | 153 | (33.3%) | 113 | (26.5%) |
| 80歳- | 81 | (23.8%) | 114 | (24.8%) | 115 | (27.0%) |



男女別 年齢階級別登録割合

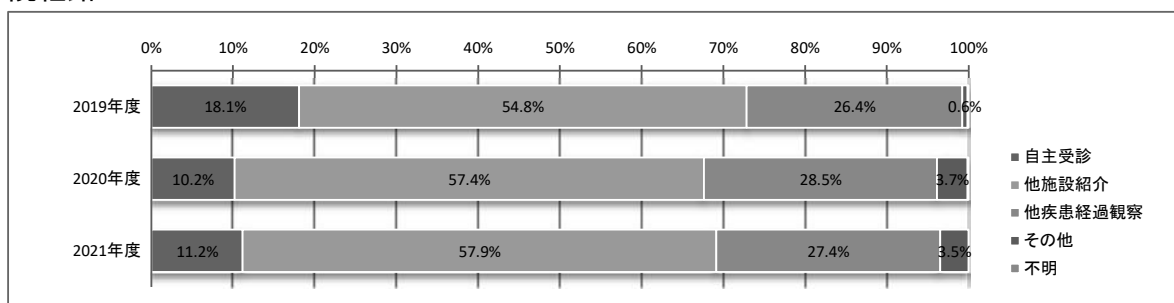


来院経路

来院経路

| | 2019年度 | | 2020年度 | | 2021年度 | |
|---------|--------|---------|--------|---------|--------|---------|
| | 件数 | (%) | 件数 | (%) | 件数 | (%) |
| 自主受診 | 142 | (18.1%) | 101 | (10.2%) | 107 | (11.2%) |
| 他施設紹介 | 430 | (54.8%) | 567 | (57.4%) | 554 | (57.9%) |
| 他疾患経過観察 | 207 | (26.4%) | 282 | (28.5%) | 262 | (27.4%) |
| その他 | 5 | (0.6%) | 37 | (3.7%) | 33 | (3.5%) |
| 不明 | 1 | (0.1%) | 1 | (0.1%) | 0 | (0.0%) |

来院経路

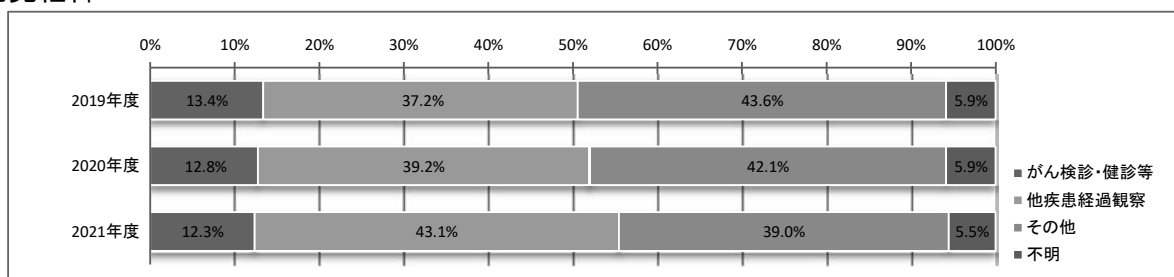


発見経緯

発見経緯

| | 2019年度 | | 2020年度 | | 2021年度 | |
|---------------------|--------|---------|--------|---------|--------|---------|
| | 件数 | (%) | 件数 | (%) | 件数 | (%) |
| がん検診・健康診断 ・人間ドック | 105 | (13.4%) | 126 | (12.8%) | 118 | (12.3%) |
| 他疾患経過観察 | 292 | (37.2%) | 387 | (39.2%) | 412 | (43.1%) |
| 剖検発見 | 0 | (0.0%) | 1 | (0.1%) | 0 | (0.0%) |
| その他 | 342 | (43.6%) | 416 | (42.1%) | 373 | (39.0%) |
| 不明 | 46 | (5.9%) | 58 | (5.9%) | 53 | (5.5%) |

発見経緯



3. 部署紹介・統計

循環器内科

スタッフ（2021年4月現在）

センター長・部長 山田 典一
部長 大村 崇

医師数 常勤・・・12名
非常勤・・・1名

診療科の特色・診療対象疾患

虚血性心疾患、不整脈、心不全、心臓弁膜症、大動脈疾患、末梢動脈疾患、肺循環障害（肺高血圧症、肺塞栓症）、静脈血栓塞栓症などに対し、検査・治療を行っています。

急性冠症候群については24時間365日緊急対応が出来る体制を整えホットラインとして開業医の先生方からの直接連絡に対応しています。

また、心疾患回復に向けた心臓リハビリテーションにも力を入れています。

年度回顧

急性冠症候群に対し冠動脈カテーテル治療全体の36%に及ぶ111件の緊急治療を行いました。高度石灰化病変については昨年ロータブレーターに加えダイヤモンドバックも使用可能となり初期成績向上および再狭窄率低下に寄与しています。

不整脈については前年より約20例の手術数増加となりました。

下肢血管治療については橈骨動脈穿刺からの治療が増加しより低侵襲での治療が行えるようになりました。

また新たに2名の心臓リハビリテーション指導士、新資格である心不全療養指導士も1名誕生しました。

活動記録

| | 2021年 |
|-----------------|-------|
| 冠動脈造影 | 627 |
| 冠動脈形成術 | 316 |
| カテーテルアブレーション | 70 |
| ペースメーカー植込み / 交換 | 59 |
| 下肢血管形成術 | 30 |

今後の展望

COVID-19感染症により受診控えされていた方の重症化なども予想されています。感染対策も行いつつ必要な方への早期治療介入、二次予防の徹底を行います。

心不全治療については新しい治療薬も出てきておりガイドラインに準じ循環器治療全般に研鑽を積むとともに、外科的緊急対応が必要な症例については他の地域基幹病院と連携をとり患者さまの予後改善に貢献していきたいと思えます。

消化器内科

スタッフ (2021年4月現在)

部長 石田 聡

医師数 常勤・・・9名

非常勤・・・5名

診療科の特色・診療対象疾患

消化器疾患すべての領域(食道、胃、小腸、大腸、肝臓、胆嚢、胆管、膵臓)で高度な最新の診療が提供できるよう専門性を有するスタッフや医療機器を整えています。

急性期病院として消化管出血や胆道感染症、急性肝不全症例に対する迅速な対応を救急科、外科、放射線科と協力して行っています。又地域基幹病院として紹介患者様の消化器癌に対する正確な診断を行い早期に治療を導入し患者様に安心して頂けるようにスタッフ一同情熱をもって日々診療にあたっています。

年度回顧

2021年度はスタッフの人事異動がなく多忙ながらも落ち着いて仕事が出来た1年でした。若手医師が成長し科として診療の質、量ともに成長が感じられました。その半面メディカルのマンパワーや検査室数などがリミテーションとなり検査時間が時間外に及ぶことも多くさらなる成長には課題も見えてきました。具体的診療内容としては上部、下部消化管の何れも早期癌に対する粘膜下層剥離術(ESD)、下部消化管の良性腫瘍に対する外来治療であるコールドポリペクトミー、膵腫瘍や消化管粘膜下腫瘍に対する内視鏡的超音波誘導組織採種(EUS-TA)、肝細胞癌に対する免疫チェックポイント阻害薬による化学療

法症例が増加してきています。今後もこの傾向は続くと思われまます。

活動記録

◆◆各種実数2021年度◆◆

| 患者数 | |
|----------------------------|--------|
| 新規入院患者数 | 1,627人 |
| 平均在院日数 | 8.97日 |
| 検査数 | |
| 上部消化管内視鏡検査 | 2,345件 |
| 上部消化管 EMR | 4件 |
| 上部消化管 ESD | 52件 |
| 下部消化管内視鏡検査 | 2,062件 |
| 下部消化管内視鏡検査 EMR | 380件 |
| 下部消化管 ESD | 37件 |
| 内視鏡的逆行性膵胆管造影 (ERCP 関連検査全て) | 241件 |
| 内視鏡的胆管ドレナージ | 66件 |
| 内視鏡的乳頭括約筋切開術 | 99件 |
| 内視鏡的胆管ステント留置 | 23件 |
| 内視鏡的膵管ステント留置 | 2件 |
| 内視鏡的膵石除去 | 5件 |
| 超音波内視鏡 (消化管、胆膵) | 74件 |
| EUS-FNA 関連検査・治療 | 26件 |
| 肝生検 | 48件 |
| ラジオ、マイクロ波焼灼術 | 14件 |
| 肝動脈塞栓術 | 14件 |
| 腹腔静脈シャント造設 | 11件 |
| CART | 25件 |

今後の展望

現在は当科に期待されるニーズに完全には応えきれていないのが現状です。それは伸びしろがあると云うことでもあります。

現状よりも更に多くの患者様に対し迅速かつ正確で安全な診療を提供するためにはスタッフの増員や医療機器、コメディカルの充実が必要と考えています。

このためには五つの信頼が大切と考えています。

第一はなんといっても患者様からの信頼です。これ無くして発展はあり得ません。「桑名市総合医療センター消化器内科に診てもらって良かった」と感じていただけるような医療を目指していきます。

第二は地域の診療所の先生からの信頼です。当科の症例の殆どは紹介患者が占めており「次回も桑名市総合医療センター消化器内科に紹介したい」と思ってもらえるように丁寧な診療を心がけます。

第三は公的病院として桑名市の期待に応える必要があります。高額医療機器整備には桑名市の理解が必要です。今後は市民への啓蒙活動など行政と協力して市民の健康に貢献出来たらと考えています。

第四は院内の管理者や他科、他職種からの信頼です。十分な収益を上げることはスタッフ増員や医療機器整備が非常に重要です。また院内他科の先生は最も近くで我々を観察している専門家であり、また目も肥えています。院内で信頼されないようでは患者様に良好な診療は提供出来ないと考えています。

最後の第五は研修医からの信頼です。消化器内科医になりたいと感じてもらえるような魅力的な姿を見せたいと考えています。単にブラックではないと云うだけでなく働き甲斐のある科であることを伝えることが出来れば、当科を専攻してくれる意欲に満ちた新し

いスタッフを迎えることが出来ると信じています。

糖尿病内分泌内科

スタッフ（2021年4月現在）

部長 北川良子

医師数 常勤・・・4名

非常勤・・・3名

今後の展望

病院内の糖尿病診療を円滑に進めるための組織、システムづくりに努力するとともに、内分泌疾患に関しても、症例数を増加充実させていきます。

特に、糖尿病は新薬の発売が続いていますので、最新の治療も提案していきます。

診療科の特色・診療対象疾患

主に、糖尿病、内分泌疾患に関して診療しております。

医師以外にも、看護師、栄養士、検査技師、薬剤師等のスタッフとともに、チーム医療で患者様を支援していきます。

年度回顧

昨年はコロナ診療が中心となり慢性疾患の治療は、やや消極的であった印象があります。これからは、感染症対策とともに、糖尿病などの慢性疾患の合併症対策も積極的に取り組みたいと思います。

活動記録

毎月「糖尿病療養指導士会議」、「糖尿病委員会」を開催し、よりチーム医療の充実と糖尿病に関する知識の充実を行っております。

膠原病リウマチ内科

スタッフ（2021年4月現在）

代表 小寺 仁

医師数 常勤・・・4名

非常勤・・・1名

今後の展望

難治性病態が少なくありませんが、エリアの患者様に貢献すべく、地域完結型医療の提供を行って参ります。

診療科の特色・診療対象疾患

関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、シェーグレン症候群、全身性強皮症、多発性筋炎・皮膚筋炎、脊椎関節炎、成人Still病、ベーチェット病、血管炎、等があります。まだまだ原因が不明な点が多い領域ではありますが、早期診断、早期治療に努めて参ります。

年度回顧

近年では、画期的な薬剤の開発・上市が進み、治療は飛躍的に進歩しております。

活動記録

| | |
|----------------------------|--------|
| | 2021年度 |
| 第65回日本リウマチ学会 総会・学術集会 発表 | 4月 |

腎臓内科

スタッフ（2021年4月現在）

部長 安富真史

医師数 常勤・・・5名

非常勤・・・0名

診療科の特色・診療対象疾患

三重県北勢地域の腎臓内科の中心的な役割を果たすべく慢性腎不全・慢性腎炎などの治療を積極的に行っています。

また、総合病院では珍しく外来維持透析にも力をいれており、数多くの維持透析患者の治療にあたっています。

年度回顧

後期研修医が1名専攻し、5名体制での診療となりました。また、腎代替療法選択外来などが軌道にのり、また在宅血液透析の開始なども経験でき充実した一年となりました。コロナ禍の下、コロナ感染透析も多数こなし、感染透析の経験もつむことができ、大きく成長できた年でした。

今後の展望

今後、桑名市の中で存在感を増すため専門ホームページなどの作成を行い、より桑名の腎臓内科としての地位の確立を目指していきます。

呼吸器内科

スタッフ（2021年4月現在）

部長 油田尚総

医師数 常勤・・・3名

非常勤・・・3名

今後の展望

業務を継続することです。

診療科の特色・診療対象疾患

呼吸器疾患全般に対応していますが、対象患者数に対し常勤医師数が不十分であり、対応しきれない場合が生じており、ご迷惑をおかけいたしております。

年度回顧

4月から八木医師が着任し、常勤3名体制となりました。

活動記録

◆◆症例数◆◆

| | 常勤 医師 | 入院患者 (年間) | 呼吸器 内視鏡検査 |
|-------|----------|--------------|--------------|
| 2018年 | 2名 | 194名 | 145件 |
| 2019年 | 2名 | 237名 | 145件 |
| 2020年 | 2名 | 207名 | 156件 |
| 2021年 | 3名 | 331名 | 137件 |

小 児 科

スタッフ (2021年4月現在)

部 長 森谷 朋子、馬路 智昭

医師数 常 勤・・・7名

非常勤・・・6名

診療科の特色・診療対象疾患

周産母子センターはNICU(新生児集中治療室)12床が認可されており、治療・管理が必要な新生児に24時間体制で対応しています。

一般小児病棟では急性疾患や慢性疾患を中心に入院治療を行っています。

外来では神経疾患、循環器疾患、腎疾患、アレルギー疾患、内分泌疾患などの診療や、NICUフォローアップ外来をしています。

年度回顧

2018年5月新病院オープン時はNICU6床でしたが、2020年9月に6床から12床に増床しました。2021年度は桑名市内および近隣市町の産科クリニックからの母体搬送が増えています。当センターで出生して急性期にNICU入院後は、産科クリニックと連携して、産後の育児支援を円滑にすすめる事ができるようになりました。

活動記録

◆◆診療実績(2021年度)◆◆

| | | |
|----|-----------|-------|
| 入院 | NICU 入院数 | 206 例 |
| | 6 南小児科入院数 | 295 例 |
| 外来 | 在宅療養支援 | 11 例 |

今後の展望

今後は地域周産期母子医療センターとして県からの指定を得て、GCU6床の開設をめざします。

また桑名市内の医療的ケア児の在宅医療サポートのため、2021年度からレスパイト支援事業を始めています。行政や関係機関と協働してこの事業に更に取り組みます。

ますます病診連携をすすめて、かかりつけクリニックに日常診療はお願いして、当センターでは急性疾患の入院加療や慢性疾患の精査を担当して、地域の小児医療に尽くしてまいります。

産婦人科

スタッフ（2021年4月現在）

部長 平田 徹

医師数 常勤・・・6名

非常勤・・・1名

診療科の特色・診療対象疾患

地域中核総合病院の産婦人科として、おもに産科領域、婦人科領域、女性医学領域を主体に診療しています。新病院開院後、徐々に診療は充実し、年間分娩数300件、母体搬送数50件、手術件数400件程で推移しております。腹腔鏡下手術数の増加や悪性腫瘍手術数の増加を認め、対象疾患の幅は確実に広がってきております。紹介施設の先生方と深く連携しあいながら、常にまごころをもって取り組むことをモットーに診療に励んでいます。

年度回顧

2021年度を一言で表すなら「忍耐」です。新型コロナウイルスの影に怯えながら、地域の患者様のために、とにかく診療を縮小・停止させないように、自分達も守りながら診療にあたりました。患者様、スタッフ皆の忍耐のおかげで、結果的には診療停止に至ることはなく、診療実績も前年度と同等以上となりました。地域周産期母子医療センターの認定を目指しつつ、がん診療連携拠点病院の指定も得られ、忍耐の中に新たな芽吹をみた1年でした。

活動記録

◆◆産科実績◆◆

| 年度 | 2021 | 2020 | 2019 |
|-------|------|------|------|
| 分娩数 | 293 | 302 | 271 |
| 帝王切開数 | 111 | 116 | 83 |
| 母体搬送数 | 55 | 28 | 23 |
| 早産 | 43 | 37 | 30 |
| 多胎 | 13 | 10 | 4 |

◆◆手術実績◆◆

| 年度 | 2021 | 2020 | 2019 |
|--------|------|------|------|
| 全手術件数 | 398 | 445 | 311 |
| 悪性腫瘍手術 | 59 | 41 | 42 |
| 腹腔鏡下手術 | 123 | 139 | 97 |
| 子宮鏡下手術 | 19 | 20 | 4 |

◆◆その他実績◆◆

| 年度 | 2021 | 2020 | 2019 |
|--------|------|------|------|
| 入院化学療法 | 107 | 53 | 44 |
| 外来化学療法 | 175 | 128 | 74 |
| 放射線治療 | 16 | 17 | 10 |
| 子宮動脈塞栓 | 4 | 1 | 1 |
| 子宮内膜焼灼 | 2 | 1 | 2 |

今後の展望

日々の診療の中で、新型コロナウイルスによる患者様の社会的・心体的困窮の度合いはより深刻になってきていることを実感します。我々の責務である地域の方々によりよい健康を守るために、これからもチーム一丸となって診療に邁進いたします。

消化器外科・一般外科、乳腺外科

スタッフ (2021年4月現在)

部長 町支秀樹

医師数 常勤・・・10名

診療科の特色・診療対象疾患

2018年5月、桑名東医療センター外科(三重大学 現 肝胆膵移植外科、旧第1外科医局)と桑名西医療センター外科(三重大学 現 消化管・小児外科、旧第2外科医局)が桑名市総合医療センター外科として県内初で2つの外科医局が一緒に仕事することになりました。従って診療対象疾患は広範囲となり消化器疾患(食道、胃、小腸、大腸、肛門、肝、胆嚢、膵臓)、乳腺疾患です。がんに対してはガイドラインに準拠し、化学療法、放射線治療を手術とともに計画します。病理専門医が常勤しており、術中迅速病理診断(センチネルリンパ節生検など)が可能でより正確な根治手術を行っています。統合により消化管、肝胆膵はもとより乳腺の各領域の専門医師が在籍し、チームで診療するため、総合力が大幅に向上しています。術式に関してはmajor surgeryとして食道癌手術は旧第2外科が中心で肝切除、膵頭十二指腸切除は旧第1外科中心に専門性を生かして行なっています。胃癌・大腸癌の1部、良性疾患の虫垂切除、胆道良性、ヘルニアは術後QOL向上のため低侵襲の鏡視下手術を中心に行っています。乳癌根治術には、整容性を考えた乳房温存療法、乳房再建術を積極的に行っています。また、救急医療に関して日勤帯でも救急番を決めて外科系救急患者を診察し、緊急手術に対応しています。

年度回顧

コロナ禍の第4波の始まりとともに2021年度の幕開けとなりました。折しも外科から登内先生が4月より院長になりました。第5波、第6波と襲来するコロナ禍で様々な対策を練り、病院の舵取りをして頂きました。コロナ対策で手術はBCPのC対応(緊急手術とがん手術のみ)を余儀なくされ、手術数は減少しました。しかしながら、コロナ診療の内科医が疲弊して外科系医師もコロナ業務の一部を担当することになり、救急医療はコロナ禍でも休むことなく活動していましたので、多忙な1年でした。

活動記録

手術症例総数は2018年(1-12月)778例、2019年(1-12月)1145例、2020年(1-12月)911例、2021年(1-12月)965例とコロナ禍の影響がありますが、健闘しました。また、多忙の中、当科業績にあるように全国学会への演題発表や論文発表を続けています。

今後の展望

手術に関してはこれまで通りに待機手術、緊急手術に頑張っていきたいと思っています。また、従来の鏡視下手術の欠点を克服したロボット支援手術が、保険収載されて全国的に増加してきています。このロボット支援手術も当科で導入していけるように準備を進めていきたいと思っています。医師の働き方改革が厚労省により推進されてきていますが、忙しい中にも当直翌日の手術をはずして昼から休みをすることや、夏休みも有給休暇と併せて各自1週間は確保できるようにしてリフレッシュして仕事に打ち込める体制を持続していきたいと思っています。

全国的に外科医師数の減少傾向が認められ外科診療の存続が危ぶまれています。当院は11人(フルマッチ)の卒後研修医を迎えており、初期研修医は総勢22人でほぼ毎月、当科にきてくれて、積極的に外科研修に取り組んでもらっています。教育面を充実させてこの中から1人でも多く外科を志望して入局してもらえるようにしていきたいと考えております。

心臓血管外科・呼吸器外科

スタッフ（2021年4月現在）

部長 湯浅右人

医師数 常勤・・・2名

非常勤・・・1名

診療科の特色・診療対象疾患

心臓血管外科は、成人心臓疾患・大動脈疾患・末梢動脈疾患・静脈疾患の外科治療を行っています。呼吸器外科は、肺悪性腫瘍・気胸・縦隔腫瘍・胸壁腫瘍・膿胸／肺化膿症・胸部外傷を対象としています。

年度回顧

専門医(呼吸器外科・心臓血管外科・脈管)の研修指定施設認可が得られ、紹介患者数も増加しつつありました。しかし、心臓血管外科常勤医師の退職およびCovid-19流行により、入院・手術制限の必要があり手術件数自体は昨年度よりも若干減少しています。



活動記録

◆◆診療実績◆◆

| | 2021年度 |
|--------------|--------|
| 胸腔鏡下肺悪性腫瘍切除術 | 34例 |
| 肺悪性腫瘍・開胸手術 | 2例 |
| 縦隔鏡下悪性縦隔腫瘍手術 | 3例 |
| 気胸（胸腔鏡下手術） | 17例 |
| 膿胸腔（胸腔鏡下手術） | 6例 |
| 心大血管手術 | 7例 |
| 末梢動脈手術 | 9例 |
| 静脈瘤手術 | 57例 |
| その他 | 5例 |

今後の展望

心臓血管外科では他施設との連携を深めるために外来診療日を増やして行く予定です。また静脈瘤手術には新規治療法を導入していきます。呼吸器外科は2022度よりロボット支援手術を導入していく予定です。

整形外科・リウマチ科

スタッフ（2021年4月現在）

部長 中瀬古健 松田 理

医師数 常勤・・・5名

非常勤・・・1名

診療科の特色・診療対象疾患

当科では、高齢者の骨折を中心に、交通事故・スポーツなどによる一般的な外傷に対する治療を行っています。また、当院の柱である救急医療の整備に伴い、救急からの外傷の患者様を迅速かつ的確に診断し、治療へと進めていくことを行っています。近隣の開業医からの紹介にも対応して、種々の検査を行い、治療をしていきます。

膝、股関節を中心とした変形性関節症に対しても保的加療、手術的加療を考えて治療していきます。人工関節外来を行っており、変形が進行し、痛みが強い患者様は開業医から紹介していただき、積極的に手術を勧めています。年間股関節・膝関節を合わせて60件以上の人工関節置換術を行っています。症例に応じては、骨切り術も行っています。

リウマチ、骨粗鬆症などの治療も行っています。骨粗鬆症は、大腿骨近位部骨折をきたして入院、手術的加療を行った患者様に、積極的治療を開始しています。

小児科の充実に伴い、小児の整形外科疾患の診断、治療も行い、専門的な治療が必要な場合、適切な専門病院への紹介し、治療をしていただきます。

リハビリテーションも理学療法士、作業療法士と連携を取りながら、日常生活の動作が向上するように入院、外来にて患者様に合った治療を選択しています。

◆高齢者の骨折◆

(大腿骨近位部骨折、橈骨遠位端骨折、圧迫骨折、上腕骨近位端骨折)

寝たきりにならないように早期の手術的加療を心がけ、早期のリハビリ、回復期リハビリ病院での加療を考えていきます。圧迫骨折は骨折の形により、安静度を考え、適切な治療を心がけます。

◆上肢、下肢の骨折◆

転位の状態にて保的加療か手術的加療かを考えて早期復帰を目指して治療します。

◆変形性関節症(股関節、膝関節)◆

開業医にて保的加療を行ってきて、変形が強くなり、痛みが伴ってきた患者様は、紹介していただき、積極的に手術的加療を行っています。患者の状態に応じて、骨切り術、人工関節置換術を選択しています。

◆関節リウマチ◆

膠原病内科と密な連携を取り、外科的な処置が必要な患者様は適切な時期に適切な手術を行います。

◆骨粗鬆症◆

開業医と連携し、骨密度検査を行い、骨粗鬆症の状態を把握して、患者様にあった適切な治療を行います。

大腿骨近位部骨折で入院された患者様で骨粗鬆症の治療がされていない患者様は、積極的に薬物治療を開始しています。

◆スポーツ障害◆

膝関節などを中心に手術適応を適切に判断し、リハビリに通える方はリハビリにての加療も行ない、早期スポーツ復帰を目指します。

◆小児の骨折◆

麻酔科医が常勤しているため、準緊急にての対応はでき、症例に応じては手術的加療も積極的に行います。

◆脊椎、脊髄疾患◆

的確な画像診断を行い、基本的には保存的加療にて加療します。症状が軽快しない方、早期手術を望まれる方は十分に相談の上、脊椎・脊髄専門医に紹介して加療していきます。

◆腫瘍◆

的確な画像診断を行い、基本的には保存的加療にて加療します。症状が軽快しない方、早期手術を望まれる方は十分に相談の上、脊椎・脊髄専門医に紹介して加療していきます。MRIを用いた画像診断をもとに、良性腫瘍であれば摘出も考えた治療を行います。悪性腫瘍が疑わしい場合は、大学院を紹介し、今後の治療を決定していただき、当科でもできる限りの経過観察を行います。

年度回顧

2021年度はコロナ感染者の対応をしながらも、通年と変わらない手術件数を行ってきました。一時期は予定手術(人工関節、骨内異物除去術など)を控えた対応をしていましたが、外傷による手術は救急、開業医から紹介していただき、減ることもなく、忙しい毎日をおくりました。研修医も毎月ローテーションしてもらい、救急での外傷の処置ができるように学んで、整形外科疾患を理解してもらいました。

活動記録

◆◆手術実績◆◆

| 股関節 | |
|-------------|------|
| Primary THA | 28 例 |
| その他 | 4 例 |
| 大腿骨近位部骨折 | |
| 人工骨頭置換術 | 58 例 |
| 骨接合術 | 74 例 |

| 膝関節 | |
|--------------------|-------|
| Primary TKA | 29 例 |
| Revision TKA | 4 例 |
| HTO | 3 例 |
| 靭帯手術、半月板手術 | 11 例 |
| UKA | 3 例 |
| その他 | 18 例 |
| 足関節 | |
| 関節固定術 | 1 例 |
| その他 | 17 例 |
| 肩関節 | |
| 肩関節脱臼 | 2 例 |
| 手・肘外科 | |
| 絞扼性神経障害・腱鞘炎 | 74 例 |
| 皮弁・マイクロ | 2 例 |
| 腱 | 14 例 |
| その他 | 5 例 |
| 腫瘍 | |
| 良性腫瘍手術 | 10 例 |
| 原発性悪性腫瘍手術 | 1 例 |
| 骨折手術 (大腿骨近位部骨折を除く) | |
| 上肢 | 171 例 |
| 下肢 | 123 例 |
| その他 | 19 例 |
| 計 | 671 例 |

今後の展望

変形性関節症で手術が必要と思われる患者様を、今まで以上に開業医から紹介をしていただき、人工関節置換術を充実していくことが出来ればと思っています。

また、救急外来からの外傷は断りを少なくし、早急に対応、手術的加療をしていく体制を維持していきます。特に高齢者の大腿骨近位部骨折は、麻酔科や内科と連携し、一日でも早い手術を計画し、寝たきりにならないように治療していき、早期に回復期リハビリ病院などへの転院を計画していきます。

研修医にはローテーションして、整形外科を学んでもらっているの、救急の場にて生

かせるような指導をするつもりです。

その中で、整形外科に興味がある研修医がいれば、整形外科に進んでいただき、今後の桑名の整形外科を託すことが出来る整形外科医に育っていければよいと考えています。

脳卒中センター・脳神経外科

スタッフ（2021年4月現在）

センター長・部長 阪井田博司

医師数 常勤・・・9名

非常勤・・・4名

（脳神経外科 常勤5名・非常勤3名）

診療科の特色・診療対象疾患

脳卒中センターは日本脳卒中学会が認定する「一次脳卒中センター」として、桑名・北勢地区を中心とした急性脳血管障害の患者さんを迅速に受け入れ、最新治療を行うために設備・スタッフ・院内体制を充実させ活動しています。特に近年進歩が著しい脳血管内治療は、三重県内では随一の治療件数を誇っています。

また脳神経外科としては脳腫瘍・頭部外傷・脊椎脊髄疾患など様々な病態に対して、先進的な技術を駆使しながら外科的治療を行っています。

脳卒中センターとして取り分け重要な任務は、超急性期脳梗塞や出血性脳血管障害に対してより迅速に適切な治療を行える体制整備です。脳梗塞に対してrt-PA静注療法や機械的血栓除去術を迅速に行うための市民への啓蒙活動・救急隊と「脳卒中ホットライン」を通じた連携強化・院内のスタッフの教育や診療体制の整備など様々な取り組みを行っています。外科的治療が必要な脳出血に対して、開頭術の他に4K神経内視鏡を導入し低侵襲な血腫除去術を取り入れています。クモ膜下出血は血管内治療による脳動脈瘤コイル塞栓術を第一選択に対応しています。

◆◆市民公開講座◆◆

脳卒中の啓蒙活動として開催した「第1回脳卒中センター市民公開講座」



（平成31年1月19日 NTN シティホール）

◆◆Strokeカンファレンス◆◆

院内体制整備やスタッフ教育のために開始した「Strokeカンファレンス」



（毎月第3月曜院内講堂で全職種が自由参加）

◆◆新規に導入した手術器機◆◆

三重県で初めての3Dモニター搭載の手術用顕微鏡やナビゲーションシステム、4Kの高解像度神経内視鏡を用いた手術



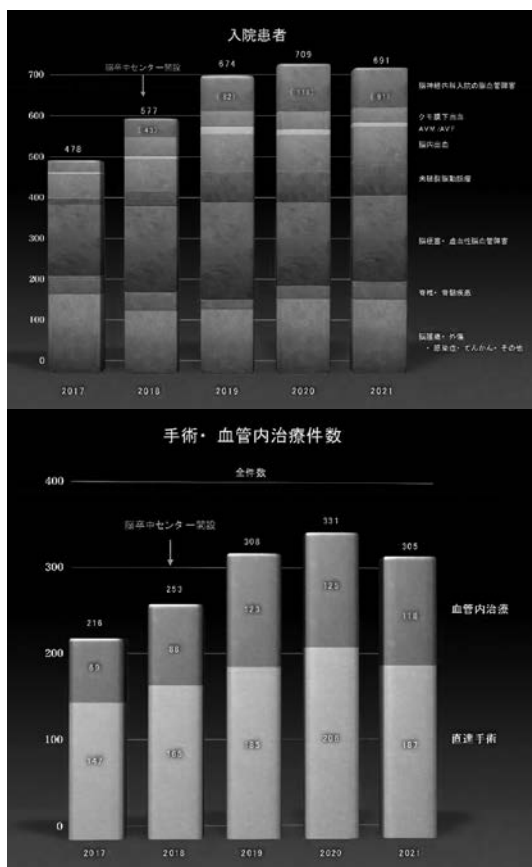
◆◆血管造影検査と血管内治療◆◆

県内随一の治療件数の脳神経血管内治療



年度回顧・活動記録

平成30年(2018年)5月に新病院が開院後、救急隊や関連施設との連携が徐々に強化され、市民への啓蒙活動や院内体制の整備も進み、脳卒中センターおよび脳神経外科の入院患者数・外科的治療件数は、新型コロナの影響を大きく受け始めた令和2年(2020年)まで年々増加していました。しかし新型コロナを警戒して社会活動が制限されると脳卒中の発生頻度が減少し、令和3年(2021年)は入院患者数・外科的治療件数とも初めて前年に比べ減少しました。



(2020年12月～2021年11月集計)

◆◆入院実績◆◆ (カッコ内は神経内科入院)

| | |
|----------|----------|
| 入院患者数 | 691 (91) |
| クモ膜下出血 | 34 (1) |
| 脳出血 | 80 (0) |
| 虚血性脳血管障害 | 282 (89) |
| 未破裂脳動脈瘤 | 78 (0) |

| | |
|-----------|--------|
| 血管奇形・動静脈瘻 | 9 (0) |
| 脊椎・脊髄疾患 | 41 (1) |
| 脳腫瘍 | 40 (0) |

◆◆外科的治療・rt-PA静注療法◆◆

| | |
|------------|-----|
| 外科的治療総数 | 305 |
| 直達手術 | 187 |
| 破裂・未破裂脳動脈瘤 | 11 |
| 脳出血 | 8 |
| 内頸動脈狭窄・解離 | 4 |
| 脳腫瘍 | 19 |
| 血管内治療 | 118 |
| 破裂脳動脈瘤 | 18 |
| 未破裂脳動脈瘤 | 16 |
| 頸動脈狭窄・解離 | 18 |
| 血栓回収療法 | 28 |
| rt-PA 静注療法 | 19 |

数字には表れない新型コロナの大きな影響として、令和2年(2020年)4月以後の「市民公開講座」の中止、2020年から令和3年(2021年)3月までの「Strokeカンファレンス」の中断による、市民への啓蒙活動と病院スタッフや救急隊の教育活動の制限が挙げられます。学会活動も自粛傾向が強くなり、診療実績以上に新型コロナが脳卒中医療に悪影響を及ぼしていました。

今後の展望

新型コロナの対応と蔓延防止のため一時的に急性期脳卒中診療まで制限せざるを得ない状況に陥りかけましたが、その危機的状況を何とか乗り切ってきました。今後も感染症対策と平行して、この地域の脳卒中医療の改革を推進しながら啓蒙・教育活動を再開していく予定です。

脳神経内科

スタッフ（2021年4月現在）

部長 佐々木良元

医師数 常勤・・・4名
非常勤・・・1名

診療科の特色・診療対象疾患

当科は、脳卒中センターの中で主に脳梗塞の入院治療に携わっています。また、パーキンソン病や筋萎縮性側索硬化症といった神経変性疾患、中枢・末梢神経免疫疾患、神経筋疾患、てんかんなどの入院・外来診療を行っています。高齢化に伴い増加する認知症については、物忘れ外来を開設し、病棟では定期的に多職種で認知症ケアラウンドを行っています。また、脳卒中や誤嚥性肺炎の嚥下障害の評価や訓練にも携わっています。

年度回顧

令和3年度も通常業務に新型コロナ病棟業務が重なり、スタッフの業務負荷の調整に配慮を要しました。その中で、それぞれ学会発表や論文投稿、専門医試験合格など自己研鑽できたことは良かったと思います。外来の特に神経難病患者さんの受診控えにともない、他疾患の発見が遅れる事例がありオンライン診療など、今後の医療体制について考え直す必要性も感じました。

活動記録

◆◆診療実績◆◆

| | 2021年 |
|------------|-------|
| 神経伝導検査（読影） | 205 |
| 脳波（読影） | 332 |
| 針筋電図 | 12 |
| 筋生検 | 3 |
| 嚥下造影 | 31 |

◆◆入院・外来◆◆

| | 2021年 |
|-----------|-------|
| 入院患者数（総数） | 292 |
| 脳卒中 | 95 |
| 神経疾患 | 110 |
| 内科疾患 | 84 |
| 外来患者数（のべ） | 6,307 |
| 新患患者 | 575 |
| うち紹介患者 | 278 |

今後の展望

脳神経内科として当院に常勤勤務するようになり4年が経過しました。桑員地区の患者様や近隣の医療機関、介護施設のスタッフの方々に信頼していただけるように、個々のケースで真摯に取り組んでいくこと、外部への発信の機会も増やしていきたいと思っております。

眼 科

スタッフ（2021年4月現在）

部 長 小澤 摩 記

医師数 常 勤・・・2名
非常勤・・・2名

診療科の特色・診療対象疾患

当科では、外眼部から網膜まで、さらには小児からご高齢の方まで幅広く診療し、診断から手術加療までを当院で完結できることを目指しています。クリニックで対応困難な難症例も積極的に手術しています。

診療対象疾患：

網膜疾患(加齢黄斑変性、糖尿病網膜症、黄斑円孔、黄斑前膜、網膜剥離などサージカル、メディカルともに全般に)、緑内障、白内障、外眼部疾患(眼瞼下垂、眼瞼内反、眼瞼腫瘍など)、神経眼科、小児眼科、斜視

年度回顧

コロナ禍で、入院や手術の制限があったり、PCR外来の担当など通常と異なる業務があり、今までとは違う診療体制でストレスの多い1年でした。そんな中でも、手術や外来の件数を大きく減らすことなく、維持できました。

また、眼科の診療は、かなり至近距離で行うことから、コロナの感染について心配が大きかったのですが、スタッフの罹患もなく過ごせたことは、本当に良かったと思います。

活動記録

◆◆診療実績◆◆

| | 2021年度 |
|-------|--------|
| 白内障手術 | 456件 |
| 硝子体手術 | 71件 |
| 網膜復位術 | 2件 |
| 緑内障手術 | 14件 |
| 斜視手術 | 2件 |
| 眼瞼手術 | 18件 |

今後の展望

高齢化が進むとともに、白内障のような加齢によって生じる疾患は増加していきます。また認知症がある、全身疾患があるなど、いろいろな問題を抱えた患者さんも多く存在します。そのような方にも安心して手術をうけていただけるような診療体制を整えるとともに、桑員地区で頼れる病院になるべく、今後も診療技術、手術手技を向上させていきたいと思っています。また、今まで手の回らなかったロービジョンや斜視などの専門外来も三重大学などと連携して充実させていければと思います。

放射線科

スタッフ (2021年4月現在)

部長 川口達也

医師数 常勤・・・3名

非常勤・・・8名

診療科の特色・診療対象疾患

放射線科では、画像診断・IVR・放射線治療を担当します。

画像診断ではCT(2管球及び80列マルチスライス)、MRI(3T及び1.5T)、血管造影、核医学検査、マンモグラフィを読影しレポートを作成します。なかでも2管球CTを使用した心臓CTは年間約500例施行し、そのうち半数以上の症例でATP負荷を用いた心筋パーフュージョン検査を併用することにより、精度の高い心筋虚血の評価を行っています。

放射線科では主治医のオーダー内容を考慮し、検査のプロトコルの決定等も行います。

IVRは画像診断技術を用いた診療で、放射線科で行うIVRとしては止血術、体内の膿の排泄、がん治療等を、診断としてはCTを用いた生検を行っています。

放射線治療は三重大学の放射線治療専門医の協力のもとリニアックと呼ばれる装置を用い体外から患部に放射線を当てることにより治療を行います。

年度回顧

2021年度はCTレポート数約2万件、MRIレポート数約6千件、核医学レポート数約60件を作成し、IVRを約130件、放射線治療を約170件実施しました。

地域の先生方からの紹介による検査は、約1800件ほど施行させていただきました。

活動記録

三重大学医学部放射線科より後期研修医(放射線科専攻医)を受け入れ、放射線科専門研修の実施を行っています。

初期研修医に対しては研修セミナーの画像診断分野を担当しています。

IVR部門としてはラジオ波焼灼術が肺腫瘍・腎腫瘍にも適応が拡大されたことをうけ、当院でも施行可能となるよう準備を進めたいと考えています。

放射線治療部門としては大学の協力を得つつ、放射線治療専門医に常勤していただけるよう求めたいと考えています。

歯科口腔外科

スタッフ（2021年4月現在）

| | |
|-------|----------------------|
| 部 長 | 加藤 英治 |
| 医 師 数 | 常 勤・・・1名 非常勤・・・7名 |
| 歯科衛生士 | 常 勤・・・3名 非常勤・・・1名 |

診療科の特色・診療対象疾患

当科は桑員地区で唯一の口腔外科を専門的に扱う診療科です。歯性感染症、頬骨骨折・上下顎骨骨折・歯の脱臼等の顎顔面外傷、口腔粘膜疾患、口腔領域に生じた良性・悪性腫瘍、智歯などの埋伏歯抜歯や基礎疾患をお持ちの方の抜歯等の口腔外科手術を主に日々診療しています。治療は外来のみでなく、必要に応じて入院管理も含め対応を行っています。また、外科・心臓血管外科等で全身麻酔手術を受けられる際や化学療法中の方の口腔ケアも歯科衛生士を中心として行っています。なお、当院他科の入院中にお口の不具合が生じた際の歯科対応は行っていますが、一般外来の方への歯科治療はしていません。

年度回顧

2021年4月に全面的なスタッフ交代があり、患者様、地域の先生方に多大なご迷惑をおかけしてスタートした年度でした。コロナ診療に際して当科は感染リスクが高く診療を制限することも多々あり、重ねてご迷惑をお掛けいたしました。今後もコロナ対応は続いていきますが、当科から院内感染が生じないように対策しつつ病院の歯科口腔外科として皆さまの診療に携わってまいります。

活動記録

◆◆診療実績◆◆

| | 2021 年度 |
|--------------|---------|
| 初診患者数 | 2,195 |
| 局所麻酔手術件数 | 1,191 |
| 全身麻酔手術件数 | 90 |
| 入院患者数 | 160 |
| 入院患者数（延） | 734 |
| 周術期口腔機能管理患者数 | 395 |

今後の展望

歯科大学等教育機関の附属病院を除いた一般病院で勤務する歯科医師の割合は全体の3%程度(全国で約3,000名)です。日本口腔外科学会総会とともに開催される病院歯科口腔外科シンポジウムでは後継者・人員の確保、育成に関することが例年議論されています。当センターは現在まで日本歯科口腔外科学会の研修関連施設ではなかったため、当センターでの勤務は学会の認定医・専門医試験で申請できませんでした。スタッフ充実のためのまず一歩として、若手の先生が長く働ける職場環境とするために2022年度の準研修施設への登録を目指しています。

救 急 科

スタッフ（2021年4月現在）

部 長 高橋直樹

今後の展望

2022年度には常勤医師2名所属となります。より多くの救急車受け入れができる体制を整えることが急務です。

診療科の特色・診療対象疾患

救急搬送されるあらゆる疾患や外傷患者を受け入れることを目標にしています。

救急医療に携わる各科が協力して、日勤帯や当直帯の診療を行い運営しています。

年度回顧

2021年度は2020年度と比べ、より多くの救急車を受け入れることができました。特に2021年8月から9月にかけて新型コロナウイルスによる肺炎が流行しました。救急車の受け入れ要請が集中する中で、陰圧室二部屋と屋外テントを用いて救急室での受け入れを行いました。救急室スタッフや各科先生方、救急に携わる職員全員の自律した行動により凌ぐことができました。

活動記録

◆◆ 救急車受け入れ数と患者総数 ◆◆

| | |
|----------|-------|
| 救急車受け入れ数 | |
| 2020年度 | 3,478 |
| 2021年度 | 3,857 |
| 患者総数 | |
| 2020年度 | 7,519 |
| 2021年度 | 7,374 |

病理診断科

スタッフ（2021年4月現在）

部長 白石 泰三

医師数 常勤・・・2名

非常勤・・・1名

◆◆カンファレンス他◆◆

| | 2021年 |
|----------|-------|
| 剖検会 | 5回 |
| 受け入れ研修医数 | 3名 |

診療科の特色・診療対象疾患

当科は、病理専門医と臨床検査専門医の二つの専門医資格を有する科長と、病理専攻医の計2名の常勤医師、細胞検査士資格を有する5名の臨床検査技師からなります。通常の病理業務に加え、デジタルパソロジー装置、自動免疫染色機を備え、正確で迅速な病理診断を目指しております。また病理解剖も精力的に行っております。

病理診断については近隣の医療施設からの受託にも応じております。

今後の展望

2022年からは専攻医が1名増員となり、常勤医師数は3名となりましたが、臨床検査技師は1名減で、4名となります。新規に蛍光顕微鏡が配備され、腎生検蛍光抗体法を自施設内で行うことが可能になります

年度回顧

新型コロナのパンデミックにもかかわらず、病理の検体数はいずれも増加傾向にありました。

活動記録

◆◆診療実績◆◆

| | 2021年 |
|-------------|-------|
| 組織診断数 | 4025件 |
| 細胞診断数 | 6621件 |
| 迅速診断数 | 128件 |
| 病理解剖数 | 12体 |
| ベッドサイド迅速細胞診 | 326件 |

麻 醉 科

スタッフ（2021年4月現在）

部 長 天 野 誉

医師数 常 勤・・・5名
非常勤・・・2名

今後の展望

手術件数の増加と共に、ロボット支援手術などの難度の高い手術症例や、高齢者、合併症を多く持った患者さんの手術症例など、きめ細かな麻酔管理が必要な症例が増加すると思われます。個々の知識技術向上と、後進の教育指導に尽力してまいります。

診療科の特色・診療対象疾患

当センター手術室にて行われる、麻酔管理が必要な手術患者さんについて、定期手術では全例、緊急手術では95%以上麻酔科にて管理しております。手術患者さんに、安全で苦痛が少なく手術治療を受けて頂く環境を整えております。

年度回顧

新病院開院以来、右肩上がりが増加する手術件数に対応してきました。本年度はCovid-19感染拡大の影響により手術件数増加にやや鈍りも見えましたが、依然高いレベルで推移しております。

活動記録

◆◆症例数◆◆

| | |
|------------|---------|
| 麻酔科管理症例数 | 1,828 例 |
| うち、全身麻酔症例数 | 1,684 例 |
| 区域麻酔症例数 | 144 例 |
| | |
| 予定手術症例数 | 1,245 例 |
| 臨時手術 | 238 例 |
| 緊急手術 | 345 例 |

看護部

スタッフ（2021年4月現在）

| | |
|--------|---------------------------|
| 看護部長 | 中山 均 |
| 副看護部長 | 常 勤・・・ 2名 |
| 看護師長 | 常 勤・・・ 19名 ^{*1} |
| 助産師 | 常 勤・・・ 18名 非常勤・・・ 5名 |
| 看護師 | 常 勤・・・ 432名 非常勤・・・ 58名 |
| 准看護師 | 常 勤・・・ 15名 非常勤・・・ 4名 |
| 介護福祉士 | 常 勤・・・ 21名 非常勤・・・ 3名 |
| 看護助手 | 非常勤・・・ 19名 |
| 病棟クラーク | 12名 |

^{*1}うち医療安全管理室・・・ 1名
感染対策室・・・ 1名

看護部の特色

看護職の業務や勤務部署は多岐にわたり、様々な資格を持った看護師も多く在籍しており、それぞれの分野で看護の質向上や医師の業務負担軽減に努めています。

また病棟には介護福祉士も在籍し、看護職員と一緒に患者ケアを実施しています。

子育て支援については、短時間勤務制度を利用しながら、多くのママさんナースが勤務しています。

夜勤は、3交代と変則2交代のミックス型を取り入れており、多様に対応しています。

年度回顧

令和3年度も、新型コロナウイルス感染症に対応するため、病棟コントロールやスタッフの配置変更を行いながら、また入院患者様にはオンライン面会を活用するなどの対応を継続してきました。

職員の研修については、集合教育が実施できない場合、院内のシステムを活用し、継続教育ができるよう努めました。

院外研修では、ハイブリッドでの開催も増えたため、前年度以上の人数が研修参加でき、現場で学びを発揮することができました。

また毎年実施している三重県新人看護職員研修支援事業については、延べ21名の新人看護職員を他施設から受け入れました。

看護学生の臨地実習については、中止と再開を繰り返したため、予定通りの実習は実施できませんでしたが、学校と調整し、オンライン指導を実施するなど、新たな取り組みも行いました。

活動記録

◆院内研修◆

| | |
|---------|------|
| 新人教育 | 41研修 |
| 継続研修 | 21研修 |
| 全体研修 | 3研修 |
| 看護補助者研修 | 8研修 |

◆◆臨地実習受入実績◆◆

鈴鹿医療科学大学
四日市看護医療大学
桑名医師会立桑名看護専門学校
三重県立桑名高等学校衛生看護専攻科
ユマニテク看護助産専門学校
弥富看護学校(令和3年度は実施できず)

◆◆看護学校講師◆◆

看護管理

桑名医師会立桑名看護専門学校
三重県立桑名高等学校衛生看護専攻科

◆◆外部講師◆◆

- ・災害看護
三重県看護協会
- ・ICLS(インストラクター)
愛知県 豊田厚生病院
東紀州ICLSコース
- ・透析関連・フットケア
テルモ株式会社
キッセイ薬品工業株式会社
エーザイ株式会社
持田ヘルスケア株式会社
三重県透析研究会学術集会

◆◆専門・認定看護師院外活動◆◆

講演

- ・がん専門看護師
協和キリン「木曾川緩和ケア治療研究会」
- ・皮膚排泄ケア認定看護師
大塚製薬「排尿ケアセミナーweb」

講師

- ・がん看護専門看護師
聖隷クリストファー大学 非常勤講師
- ・認知症看護認定看護師
三重県看護職員認知症対応力向上研修
- ・がん性疼痛緩和認定看護師
(ファシリテーター)
市立四日市病院緩和ケア研修会
- ・緩和ケア認定看護師
地域がんサロン
- ・市内の病院へ講師派遣
がん化学療法看護認定看護師
緩和ケア認定看護師
認知症看護認定看護師
脳卒中リハビリテーション看護認定看護師

◆◆看護学校講師◆◆

第27回 日本看護診断学会学術集会

4題発表

各資格取得者

◆◆専門・認定看護師◆◆

| | |
|----------------|----|
| 専門看護師 | |
| がん看護 | 1名 |
| 認定看護師 | |
| 感染管理 | 2名 |
| 皮膚・排泄ケア | 2名 |
| がん化学療法看護 | 1名 |
| がん性疼痛看護 | 1名 |
| 緩和ケア | 1名 |
| 脳卒中リハビリテーション看護 | 1名 |
| 認知症看護 | 1名 |
| 集中ケア | 1名 |

◆◆その他◆◆

| | |
|------------|-----|
| ファーストレベル終了 | 33名 |
| セカンドレベル終了 | 8名 |
| 医療安全管理者 | 8名 |
| 実習指導者 | 32名 |
| 心不全療養指導士 | 1名 |
| 糖尿病療養指導士 | 6名 |
| フットケア | 10名 |
| 災害支援ナース | 10名 |
| NCPR 資格取得者 | 30名 |
| アドバンス助産師 | 4名 |
| 集中ケア | 1名 |

今後の展望

令和4年度は、クリニカルラダーを導入予定です。クリニカルラダーとは、看護師の能力開発・評価のシステムの一つで、自身の能力段階を確認しながら自己研鑽や人材育成を目指すことができます。これにより、看護職員各々の能力や実践レベルの向上ができ、キャリアアップに繋がっていくことが期待できます。

また医療・看護を取り巻く環境は日々変化していますので、その状況に対応できる看護職員が必要となります。そのため資格取得支援なども引き続き行いながら、質の高い看護の提供に繋がっていきたいと思います。

健診センター

スタッフ（2021年4月現在）

センター長 竹田 寛

医師数 常勤・・・2名

非常勤・・・6名

事務職員 常勤・・・5名

非常勤・・・3名

活動記録

◆◆統計資料◆◆

| | 2021年度 |
|-----------|--------|
| ドック | 4,015名 |
| 特定健診 | 1,075名 |
| その他 | 2,137名 |
| 桑名市大腸がん検診 | 621名 |

健診センターの特色

健診センターでは、人間ドック・脳ドック・企業健康診断・特定健康診査・全国健康保険協会生活習慣病予防健診等を行っています。健康診断の最大の目的は、病気にならないようにする、あるいは病気になっても早期に治療して完全に治すことにあります。生活習慣病の予防とがんの早期発見を目的として、受診者の皆様の大切なご健康をお守りいたします。

また、当センターでは、肺がんCT検診に力を入れており、3割負担の保険診療で受ける場合とほぼ同額で受診することができます。

今後の展望

肺がんCT検査の枠を拡大し、より受診しやすい体制とします。(月～水曜の3枠→水曜は5枠に拡大)。

年度回顧

2020年度は新型コロナウイルス感染症により、受診制限や受診控えがありました。今年度は回復傾向にあります。

薬 剤 部

スタッフ（2021年4月現在）

部 長 伊藤久美子

薬剤師数 常 勤・・・23名

薬剤助手 非常勤・・・4名

S P D 1名

薬剤部の特色

入院棟4階に調剤室や注射室、無菌調製室をはじめ、管理棟2階に化学療法調剤室と各病棟フロアにサテライトファーマシーを設置しています。各フロアに薬剤師を配置し、調剤や混注、服薬指導、病棟業務関連などを薬剤助手の協力のもと部員一丸となって業務に取り組んでいます。

年度回顧

2021年度は4名の新入職薬剤師を迎え、以下の3つの部門目標を立てて取り組みをしました。

- ①地域医療に貢献するため、患者さんに寄り添い、医薬品の適正使用を推進します。
- ②取得可能な加算が継続的に算定できる体制を構築します。
- ③部内の調和を図り、医療の質と安全性の向上に寄与します。

9月より病棟薬剤業務実施加算1の算定を開始し、処方箋や注射処方箋も昨年より増加傾向となっています。特に化学療法の調製件数は昨年より約700件と顕著に増加しており、化学療法の人員配置を見直しました。

院外の活動として、桑名地区薬剤師会と薬薬連携会議を7月と1月にWEB開催し、化学療法関連やトレーシングレポート、当院の状況などを報告しました。

10月の日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会では「二次救命時のアミオダロン注の投薬プロトコル作成および導入後アウトカム」でベストプレゼン賞を受賞しました。

教育活動の1つとして、薬学生実習を6名受け入れ、そのうち1名は当院に入職しました。

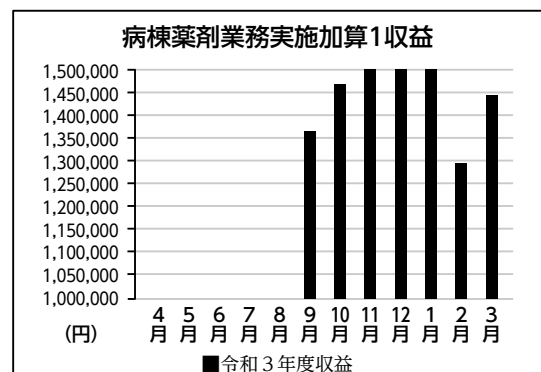
活動記録

◆◆実績◆◆

| | 2021年度 | |
|-------------|--------------|--------|
| | 年 間 | 月平均 |
| 外来院内処方箋 | 3,227枚 | 269枚 |
| 院 外 処 方 箋 | 95,555枚 | 796枚 |
| 院外処方箋発行率 | 97.7% | |
| 入 院 処 方 箋 | 70,392枚 | 5,866枚 |
| 入院注射処方箋 | 88,722枚 | 7,394枚 |
| 抗 がん 剤 調 製 | 5,238件 | 436件 |
| I V H 調 製 | 1,024件 | 85件 |
| 薬 剤 管 理 指 導 | 3,197件 | 266件 |
| 薬 価 差 益 | 131,775,936円 | |

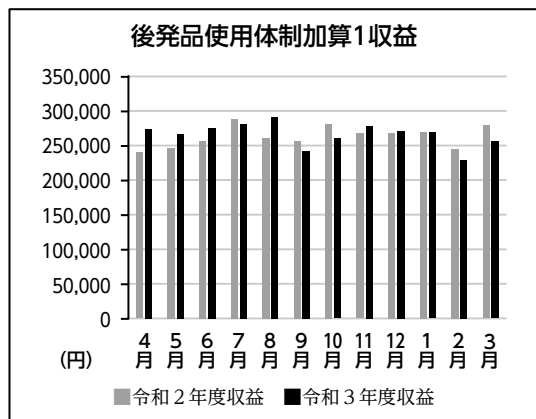
◆◆病棟薬剤業務実施加算1◆◆

DPC係数：0.0079



◆◆後発品使用体制加算1◆◆

DPC係数：0.0014



今後の展望

地域の皆様に安心・安全な医療を受けて頂くために、地域の医療機関との連携強化、医師・看護師をはじめとした多職種とのチーム医療参加を積極的に行い、薬剤に関する良き相談窓口になれるよう、自己研鑽に努めます。

主な認定資格 (2021年4月現在)

| | |
|----------------------|----|
| 日本医療薬学会指導薬剤師 | 1名 |
| 認定実務実習指導薬剤師 | 6名 |
| 日本医療薬学会がん専門薬剤師 | 1名 |
| 日本医療薬学会薬物療法専門薬剤師 | 1名 |
| 日本医療薬学会認定薬剤師 | 2名 |
| 日病薬病院薬学認定薬剤師 | 8名 |
| 日本薬剤師研修センター認定薬剤師 | 3名 |
| 日本緩和医療薬学会緩和薬物療法認定薬剤師 | 1名 |
| 救急認定薬剤師 | 1名 |
| 感染制御認定薬剤師 | 1名 |
| 抗菌化学療法認定薬剤師 | 3名 |
| NST 専門療法士 | 4名 |
| 吸入療法アカデミー吸入指導薬剤師 | 3名 |
| 糖尿病療養指導士 | 1名 |

放射線室

スタッフ（2021年4月現在）

| | |
|---------|---------------------|
| 室長 | 園田伸一 |
| 診療放射線技師 | 常勤・・・21名 |
| 事務職員 | 常勤・・・1名 非常勤・・・1名 |

放射線室の特色

放射線室では北勢地域の診断・治療の医療完結を目指し、2018年合併・開院時に放射線治療装置、核医学装置等の最新鋭放射線機器を導入しました。またX線診断領域では2次救急病院として24時間急患対応を行うため、一般撮影、CT、MRI、透視検査治療、血管造影業務などの緊急依頼にも対応しています。また、被ばく低減にも取り組み、できるだけ少ない線量で高画質高画像を提供しています。各装置には各学会で知識・技術を習得した専門技師を中心に画像提供・がん治療を行っています。さらに放射線に関する患者様の不安やご質問に対してカウンセリング専門の技師も配属し、安心・安全に検査・治療を受けていただけるよう努力しています。

年度回顧

今年度から新卒採用技師が加わりました。人材育成も考慮しながら、各モダリティの専門性向上を図ることができる体制を整えています。また、新型コロナウイルス感染症拡大によって、より一層の感染防止策の徹底が必要となりました。コロナウイルス感染症患者、発熱患者の画像検査に対応するための適切な知識と技術を修得し、他の患者との交差防止の体制を整備して検査を実施することで感染

予防に努めました。

コロナ病棟開設に伴い、フラットパネル一体型ポータブル撮影装置が導入され、感染拡大予防の効果と利便性が向上しました。講習、学会、研究会がwebで開催されることが多くなり、通常の演題発表だけでなく、オンラインでの発表にも取り組みました。

活動記録

◆◆治療、検査件数◆◆

(単位：件)

| | 2020年度 | 2021年度 |
|---------|--------|--------|
| 一般撮影 | 31,316 | 28,676 |
| 歯科撮影 | 2,104 | 2,065 |
| 骨塩定量 | 851 | 976 |
| ポータブル | 7,759 | 7,963 |
| 外科用イメージ | 515 | 469 |
| 乳房撮影 | 2,223 | 2,471 |
| TV透視 | 2,781 | 2,631 |
| CT | 22,730 | 23,475 |
| MR | 6,459 | 6,755 |
| 核医学 | 541 | 538 |
| 放射線治療 | 153 | 173 |
| 血管造影 | 1,604 | 1,707 |

コロナ禍の影響で、2019年度と比較すると全体的に減少傾向ではありますが、骨塩定量、乳房撮影は増加傾向にあります。ポータブル撮影は増加の一途をたどり、放射線治療は2018年度の4倍近くの検査数となっています。CT、MRI等も近年の業務内容増加に伴うマンパワーの確保が課題です。しかしながら、急性期医療に対応するための各モダリティの即時対応を心がけ、救急以外、地域連携検査に関しても可能な限り当日施行依頼の対応を実施しています。

今後の展望

急速に進歩する画像診断技術や放射線治療技術に対応するため、積極的に研修・勉強会に参加し、且つ各診療部門と連携し、あらゆる専門性を取り入れた協調によるチーム医療を実践できるよう診療体制を更に整えてまいります。また、地域医療室経由で実施している検査についても、今後も安心して多くの検査依頼を頂けるよう、安全で質の高い医療を提供し、地域医療へ貢献していきたいと考えております。

その他

◆◆所有資格◆◆

| |
|---------------------------|
| 放射線管理士 |
| 臨床実習指導教員 |
| 放射線被ばく相談員 |
| 第一種放射線取扱主任者 |
| 放射線治療専門放射線技師 |
| 医学物理士 |
| X線CT認定技師 |
| マスター診療放射線技師 |
| Ai認定診療放射線技師 |
| シニア診療放射線技師 |
| 検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師 |
| 乳がん検診超音波検査実施技師 |
| 日本血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師 |

◆◆所属学会◆◆

| |
|--------------------|
| 日本診療放射線技師会 |
| 日本放射線カウンセリング学会 |
| 日本放射線技術学会 |
| 日本心血管インターベンション治療学会 |
| 日本磁気共鳴医学会 |

| |
|----------------|
| 日本核医学技術学会東海地方会 |
| 日本乳癌検診学会 |
| 日本乳癌学会 |

◆◆主な医療機器◆◆

| | | |
|-------------|---------|-----------------------------|
| 一般X線撮影装置 | FUJI | Radnext (3台) |
| FPD | コニカ | AeroDR |
| 歯科用パノラマ撮影装置 | 朝日レントゲン | Hyper.DCM |
| 歯科用デンタル撮影装置 | 朝日レントゲン | ALULA |
| 乳房X線撮影装置 | HOLOGIC | SELENIA Dimensins |
| 回診用X線撮影装置 | FUJI | SiriusStarMobile (3台) |
| | FUJI | SiriusStarMobile tiara (2台) |
| FPD | FUJI | CALNEO Smart |
| | コニカ | AeroDR |
| 骨密度測定装置 | GE | LUNAR |
| X線TV装置 | FUJI | EXAVISTA (3台) |
| | Canon | Winscope |
| 外科用Cアーム | SIEMENS | CiosFusion |
| | SIEMENS | SIREMOBIL |
| | PHILIPS | BV Libra |
| X線CT装置 | SIEMENS | SOMATOM Definition Flash |
| | Canon | Aquilion PRIME |
| MRI装置 | SIEMENS | Sempra 1.5T |
| | SIEMENS | Skyra 3.0T |
| SPECT装置 | SIEMENS | Symbia Evo Excel |
| 放射線治療装置 | VARIAN | CLINAC iX |
| CTシミュレーター | SIEMENS | SOMATOM Perspective |
| 血管撮影装置 | SIEMENS | ArtisZeeiplane |
| | PHILIPS | Allura Clarity |

検査室

スタッフ（2021年4月現在）

| | |
|--------|-----------------------|
| 検査室長 | 森 正美 |
| 臨床検査技師 | 常 勤・・・28名 非常勤・・・4名 |
| 医療助手 | 常 勤・・・2名 非常勤・・・1名 |

検査室の特色

感染対策チーム (ICT)、抗菌薬適正支援チーム (AST)、栄養サポートチーム (NST)、糖尿病療養指導チーム、strokeチームなどに積極的に参加しています。

また、日本臨床細胞学会教育認定施設でもあり、細胞検査士を目指す技師の教育を担っています。

年度回顧

3病院が統合したことにより、改めて検査方法や手順の統一化、基準値の見直しに取り組んできました。COVID-19流行後は、抗原定量検査、N抗体・S抗体検査(IgG)、PCR検査を院内で検査することができる体制を整えました。患者だけでなく、職員の検査も適宜対応出来るように整備しました。



活動記録

学術発表にも積極的に取り組んでおり、三重県医学検査学会、日本臨床検査学会、日本肝臓病学会、日本臨床細胞学会にて発表を行っています。

三重県臨床検査技師会では、血液・輸血・病理・微生物・生理検査などの学術部、精度管理部門、女性部会の分野など、病院外での活動にも力を入れています。また、細胞検査士、認定輸血検査技師、臨床検査士、超音波検査士、CVT認定技師、認定心電図技師など、それぞれの部署に対応する資格を取得し、より専門的な検査が行えるよう研鑽しています。

今後の展望

当センター検査室は、未来の臨床検査技師の教育の場として、複数の大学から実習生を受け入れています。実習内容についても充実させる取り組みを行っていきます。

院内活動としては、ICT、AST、NST、糖尿病療養指導チーム、strokeチームなどに参加し他部門との連携を取り、臨床検査技師の専門を活かして臨床への貢献に努めていきます。

また、検査業務の標準化を推進し、正確で安定した臨床検査データの提供の為、日臨技品質保証施設認証を取得して検査室全員で検査の品質向上にさらに努めていこうと考えています。

臨床工学室

スタッフ（2021年4月現在）

主任 渡辺俊文

技士数 常勤・・・19名

事務職員 常勤・・・1名

臨床工学室の特色

医療機器管理・集中治療業務、手術支援業務、血液浄化業務、光学診療業務・脳血管IVR、心臓IVR・植込みデバイス業務の5業務に臨床工学技士を配置し、医療機器の保守・点検・操作・管理を行っています。

さらに当直業務と院外待機体制を構築し、24時間365日各業務に対応しています。

年度回顧

令和3年度は臨床工学技士法の改正により業務範囲が拡大し、医師のタスクシフト・シェアに貢献する事が求められました。これに対し、告示研修への参加を積極的に行い、生命維持管理装置を用いて行う鏡視下手術における内視鏡用ビデオカメラの保持及び操作を新たな手術支援業務とし、開始しました。

また、血液浄化業務にて超音波画像診断法を用いた透析シャント評価を開始しました。これにより、シャント狭窄の早期発見、穿刺困難例に対する超音波画像下穿刺を行い、バスキュラーアクセス管理体制を向上させることができました。

活動記録

◆◆機器管理・集中治療業務実績◆◆

| | 2021年 |
|--------------|--------|
| 院内医療機器定期点検 | 927台 |
| 院内医療機器保守点検 | 42台 |
| 院内修理対応 | 210台 |
| 管理医療機器台数 | 1,163台 |
| 人工呼吸器稼働実績 | 272件 |
| 持続的血液透析濾過 | 246件 |
| 慢性維持透析（集中治療） | 28件 |
| 腹水濾過濃縮再静注法 | 21件 |
| 低体温療法 | 2件 |

◆◆手術支援業務実績◆◆

| | 2021年 |
|-------------|-------|
| 鏡視下手術 | 466件 |
| 鏡視下手術支援 | 9件 |
| ナビゲーション術中管理 | 22件 |
| MEP・SEP術中管理 | 22件 |
| 人工心肺機器操作 | 2件 |

◆◆血液浄化業務実績◆◆

| | 2021年 |
|-------------------|---------|
| 慢性維持透析 | 19,885件 |
| 血漿交換 | 31件 |
| 二重濾過膜血漿分離療法 | 5件 |
| 吸着式潰瘍治療法 | 22件 |
| 超音波画像診断 （末梢血管） | 81件 |

◆◆光学診療・脳血管IVR業務実績◆◆◆◆

| | 2021年 |
|--------------------|-------|
| 内視鏡的粘膜下層剥離術 | 89件 |
| 内視鏡的胆管膵管逆造影法 | 252件 |
| カプセル内視鏡 (小腸・大腸) | 27件 |
| 内視鏡的ステント留置術 | 24件 |
| 頸動脈ステント留置術 | 27件 |
| 脳動脈瘤コイル塞栓術 | 31件 |
| 急性期血栓回収療法 | 28件 |
| 経皮的ラジオ波焼灼術 | 21件 |

◆IVR・植込みデバイス業務実績◆◆

| | 2021年 |
|---------------|-------|
| 冠動脈造影 | 616件 |
| 経皮的冠動脈形成術 | 322件 |
| 末梢血管形成術 | 22件 |
| カテーテルアブレーション | 30件 |
| ペースメーカー植込み・交換 | 66件 |
| 遠隔モニタリング | 287名 |

学会認定資格取得状況

| | |
|--------------------------|-----|
| 透析技術認定士 | 6名 |
| 体外循環技術認定士 | 1名 |
| 3学会合同呼吸療法認定士 | 4名 |
| 血液浄化専門臨床工学技士 | 1名 |
| 呼吸療法専門臨床工学技士 | 1名 |
| 心・血管カテーテル関連 専門臨床工学技士 | 1名 |
| 不整脈治療専門臨床工学技士 | 1名 |
| 手術関連専門臨床工学技士 | 1名 |
| 内視鏡関連専門臨床工学技士 | 1名 |
| 認定医療機器管理臨床工学技士 | 1名 |
| 特定集中治療関連臨床工学技士 | 1名 |
| ITE心血管インターベンション 技師 | 2名 |
| 植込み型心臓デバイス認定士 | 1名 |
| 腎代替療法専門指導士 | 1名 |
| 消化器内視鏡技師 | 2名 |
| 小腸カプセル内視鏡読影支援 技師 | 1名 |
| 医療機器情報コミュニケーター (MDIC) | 1名 |
| 心電図検定2級 | 1名 |
| 第2種ME技術者 | 12名 |
| 認定実習指導者 | 1名 |

今後の展望

臨床工学技士法の改正により拡大した業務範囲は、告示研修を受講しなければ実施することができませんが、臨床工学室スタッフ数の半数以上が未受講となっています。今後、告示研修の受講を積極的に促進し、タスクシフト・シェアを実践できるような環境を整え、今以上の高度な医療技術及び知識提供を、行えるように研鑽を重ねていきます。

リハビリテーション室

スタッフ (2021年4月現在)

| | |
|------------|---------------------|
| 室長 | 赤尾和則 |
| 理学療法士 (PT) | 常勤・・・9名 非常勤・・・1名 |
| 作業療法士 (OT) | 常勤・・・4名 |
| 言語聴覚士 (ST) | 常勤・・・3名 |

活動記録

◆◆疾患別延べ患者数◆◆

| | |
|--------|---------|
| 脳血管疾患 | 15,285人 |
| 運動器疾患 | 10,802人 |
| 心大血管疾患 | 2,833人 |
| 呼吸器疾患 | 3,246人 |
| がん疾患 | 620人 |
| 廃用症候群 | 470人 |

リハビリテーション室の特色・診療対象疾患

リハビリテーション室は患者様の障害を評価したうえで適切なリハビリテーション医療を提供いたします。

★主な対象疾患★

- 脳血管障害
- 骨・関節疾患
- 呼吸・循環器疾患
- 神経・筋疾患
- 小児疾患

などがあります。

今後の展望

急性期病院のリハビリテーション室の役割として、各疾患別に対応可能なスタッフ数の確保・教育が必要となってきます。

安定したリハビリサービスの提供が可能となるよう、現状不足している小児疾患に対応可能な常勤スタッフの確保をすすめていきます。

年度回顧

今年度はスタッフ(PT)が1名増え、心臓リハビリテーションの充実化を図っております。業績も、昨年度より約600万円増収しており、仕事量に値する患者施行単位数も含めて、新病院設立から4年連続で前年度を上回っております。

栄養管理室

スタッフ（2021年4月現在）

副室長 長谷川恭子

管理栄養士 常勤・・・5名
非常勤・・・3名

栄養管理室の特色

栄養管理室の業務は、大きく「給食管理」「栄養管理」「栄養指導」の3つに分かれています。

<給食管理>

当センターの栄養管理室では、栄養管理の基礎とは何か？という原点に返り、まずは「患者さんが食べること」が第一だという考えのもと、安心、安全で美味しい治療食の提供に努めています。患者給食は日本ゼネラルフード株式会社に全面委託し、月に2回以上会議を実施し、よりよい患者給食の提供を行うため行事食や新メニューの考案、地産地消の食材の検討を続けています。

<栄養管理>

入院中の栄養管理については病棟担当制を導入しています。栄養管理計画書の作成、食事内容の提案や食欲不振の患者さんへの対応を行っています。また、栄養サポートチーム、摂食嚥下チーム、心臓リハビリテーションチーム、糖尿病チーム等チーム医療へも参加し、多職種で早期回復、早期退院へ向けて取り組んでいます。

<栄養指導>

個人栄養指導では、患者さんに合わせたオーダーメイドな栄養指導を心がけています。栄養指導は、InBody測定と併せて継続することを基本とし、ライフスタイルの中で患者さんが実践可能な食事療法を提案しています。

集団栄養指導では、医師やコメディカルと

協力し、講義と調理による実践的な指導を行っています。糖尿病教室、減塩教室、肝臓病教室、嚥下教室を実施していますが、2019年度末より感染対策のため中止しています。

<栄養管理室2021年度目標>

- 安心・安全という病院食の基本を軸に、「今までにない治療食」の提案を行い、病院食の喫食向上を図る。
- 患者のライフスタイルに沿った栄養指導を実施し、結果の見える指導を継続する。個人栄養指導で300件/月目標。
- 栄養管理計画書作成を励行。栄養不良患者に対応できる栄養管理室体制を維持し、NST業務との連携を図る。
- 栄養管理情報提供書の件数増加。地域連携の増強と、患者のQOLの維持を目指す。

年度回顧

栄養管理室の体制としては大きな動きがある1年でした。新しく2名が正規職員として入職し、8名となりました。

また、2名が産育休を取得し、有期雇用職員として2名が採用となりました。

資格取得については、4名が日本糖尿病療養指導士(CDEJ)、病態栄養専門管理栄養士の認定資格を受験し合格しました。

給食管理では、地産地消の取り組みの一つとして、地元である長島町で栽培されている水耕栽培の野菜(小松菜、フレアベル、水菜等)を病院給食へ取り入れ、7月には当センターと長島インターファーム、日本ゼネラルフード株式会で「病院給食食材購入に係る協定」を締結しました。

提供後のアンケート結果ではおいしい、みずみずしいという意見が約8割と大変好評で

した。外部との共同活動については、2019年より公民連携(桑名市・ネスレ日本株式会社・一般社団法人卓球で日本を元気にする会・一般社団法人ニュートリション運動推進会議子どもの健康づくり委員会・株式会社朝日エル)で開始した桑名卓球珈琲プロジェクトに係わる栄養管理室での総括に取り組みました。桑名市城南地区で健康卓球に参加した高齢者14名のInBodyによる測定結果に基づき、15か月間の卓球継続による体成分への健康増進効果についてまとめました。卓球珈琲の論文については、日本病態栄養学会誌へ投稿して採択され、掲載予定です。

活動記録

◆◆食数実績◆◆

| | 2021 年度 |
|--------|-----------|
| 一般治療食 | 125,204 食 |
| 特別治療食 | 120,214 食 |
| 特別食加算率 | 33.0% |
| 食事提供率 | 77.8% |

• 選択食の実施

普通食の方を対象に、週3回、朝食・昼食に選択食を実施しました。

• 行事食

季節感を感じて頂けるように、月に2回行事食を実施しました。

◆◆栄養指導実績◆◆

| | 2021 年度 |
|-----------|---------|
| 外来 | 3,227 件 |
| 入院 | 704 件 |
| 集団 | 0 件 |
| 糖尿病透析予防指導 | 138 件 |
| 健診 | 3 件 |
| 合計 | 4,072 件 |

※集団栄養指導は感染対策のため中止

◆◆治療食別栄養指導実績◆◆

| | 2021 年度 |
|------------------|---------|
| 糖尿病食 | 1,622 |
| 心臓疾患食 | 707 |
| 高血圧症食 | 325 |
| 腎臓病食 | 546 |
| 術後食 | 161 |
| 胃・腸疾患食 | 46 |
| 肝・胆疾患食 | 188 |
| 膵臓疾患食 | 17 |
| 脂質異常症食 | 115 |
| 肥満症食 | 85 |
| 摂食・嚥下機能低下に対する治療食 | 17 |
| がんに対する治療食 | 35 |
| 乳児期食・離乳期食・幼児期食 | 12 |
| その他 | 57 |

◆◆栄養情報提供書作成実績◆◆

| | 2021 年度 |
|---------|---------|
| 栄養情報提供書 | 4 |

◆◆栄養管理計画書作成実績◆◆

| | 2021 年度 |
|-------|---------|
| HCU | 309 |
| SCU | 74 |
| 6 北病棟 | 156 |
| 6 南病棟 | 594 |
| 6 西病棟 | 1,201 |
| 7 北病棟 | 1,512 |
| 7 南病棟 | 236 |
| 7 西病棟 | 594 |
| 8 北病棟 | 1,100 |
| 8 南病棟 | 1,218 |
| 9 北病棟 | 835 |
| 9 南病棟 | 809 |
| 合計 | 8,638 |

今後の展望

病態栄養専門管理栄養士、日本糖尿病療養指導士(CDEJ)、NST専門療法士等の専門資格を活かし、今後、チーム医療へさらに積極的に参加していきたいと思います。入院患者の栄養管理として、管理栄養士が病棟担当制となっているため、栄養管理計画書を作成し低栄養のリスクのある患者に早期から介入できるような体制を整えていきたいと考えています。また、栄養指導においては、退院してからも栄養療法を続けてもらえるように、外来でも継続して指導等を行える体制の構築が必要と考えています。今後、診療報酬の改定に合わせた栄養介入を行うためにも、人員の確保、体制の整備を図っていきます。

医療安全管理室

スタッフ（2021年4月現在）

| | |
|-----------|-----------|
| 医療安全管理室長 | 早川 武司(専従) |
| 医療安全管理委員長 | 専任・・・1名 |
| 医薬品安全管理者 | 専任・・・1名 |
| 医療機器安全管理者 | 専任・・・1名 |
| 管理部長 | 専任・・・1名 |
| 事務職員 | 非常勤・・・1名 |

医療安全管理室の業務

安全管理に関する当院の体制を構築し医療安全に関する職員への教育・研修・情報分析等を行います。事故発生時の初期対応と共に再発防止に努めます。これらを通して安全管理体制を組織内に根づかせ安全文化を促進しています。

随時マニュアルの改訂を行い日常業務が安全に行えるようにします。

年度回顧

今年度は、マニュアルの改訂を行いました。中でもコードホワイトの運用をやめ、院内暴力行為の対策マニュアルを作成しました。

また、医療安全研修会は、elearnigでの視聴を行いました。

第1回医療安全研修会では「当院でのリスク報告の現状」「診療記録の要点」「医療機器研修」を行いました。

第2回医療安全研修会では「当院でのDVT評価表変更について」「応召義務について」「医療機器研修」を行いました。

医療事故では、画像見落とし事例が発生した為、県医療安全検討委員会に提出しました。その改善策として画像確認を月1回から2回に変更し早期に発見し、見落としを無くすよ

うにしました。

院内肺塞栓症対策委員会を作り病院内のリスク評価表の見直しを行い肺塞栓症対策を行い、院内で肺塞栓症患者発生時には、対策委員会で検討するようにしました。

死亡診断書をデジタル化し記載間違い減少に繋がりました。

活動記録

◆◆委員会活動◆◆

| | 2021年度 |
|----------------|--------|
| 看護部RM部会 | 1/月 |
| RM部会 | 1/月 |
| 安全管理委員会 | 1/月 |
| 医療安全カンファレンス | 1/週 |
| 医療機器・医薬品安全管理委員 | 1/月 |

◆◆研修会◆◆

| | 2021年度 |
|------------|----------|
| 第1回医療安全研修会 | 2021年12月 |
| 第2回医療安全研修会 | 2022年3月 |
| 医療事故・紛争研究会 | 2021年8月 |
| 三重県医療安全研修会 | 2022年2月 |
| 医薬品安全研修会 | 2021年12月 |

◆◆その他の活動◆◆

| | |
|---------------------------------------|----------|
| 三重県医療事故調査委員会提出 | 2021年3月 |
| 院内医療事故調査委員会 | 随時 |
| 医療事故調査センターへ提出（脳神経外科頸動脈ステント術後の合併症について） | 2021年12月 |
| インシデントレポート分析・集計 | 随時 |

| | |
|--|---------|
| 医療安全管理マニュアル 改訂 (コードホワイトの廃止 と暴力行為手順マニユア ルの追加) | 2022年3月 |
| 医薬品管理マニュアル | 随 時 |
| 死亡診断書分析 | 随 時 |
| 病院内ラウンド | 随 時 |

今後の展望

医療事故を無くし、患者が安心して安全な医療を受けられる環境を整えることを目標に全職員が医療安全管理の問題に取り組み患者の安全の確保に参画します。また、病院機能評価に向けて医療安全対策の整備を行います。

院内感染対策室

スタッフ (2021年4月現在)

院内感染対策室長 伊藤和恵 (専従)

| | | | |
|-----------|----|-----|----|
| 医師 (ICD) | 常勤 | ・・・ | 3名 |
| 看護師 (ICN) | 常勤 | ・・・ | 1名 |
| 微生物検査技師 | 常勤 | ・・・ | 2名 |
| 薬剤師 | 常勤 | ・・・ | 1名 |
| 事務職員 | 常勤 | ・・・ | 1名 |

感染対策チームの活動

感染対策チーム (infection control team : ICT) は、院内感染対策活動、職業感染管理、抗菌薬の適正使用の啓発、サーベイランス、院内外からの感染対策に関する研修会や相談対応などを行っています。

年度回顧

2020年1月から始まった新型コロナウイルス感染症対策ですが、日々変化する流行状況に追われながら、非常に慌ただしく院内の体制を整えることに奮闘し、あっという間に2年以上が経過しました。

活動記録

- ICTラウンド：週1回実施
- 感染対策研修会
全職員対象：2回実施
新採用者研修：1回
部門別・対象別研修会：数回
院外の研修会講師
- 感染対策コンサルテーション：新型コロナウイルス感染症関連を中心に多数
- 感染症治療コンサルテーション：薬剤師
65件(10月～3月)

- 各種サーベイランス
手指衛生(使用量、直接観察)
MRSAなど耐性菌
手術部位感染 (SSI)
- 特定抗菌薬使用状況
・広域スペクトラム抗菌薬届出件数
472件(届出率76.4%)
・抗MRSA薬届出数
152件(届出率82%)
・抗真菌薬届出数
37件(届出率71.2%)
- TDM実施率
・抗MRSA薬
142人(実施率 90.7%)
- 新型コロナウイルス感染症対策
対応マニュアルの作成および改訂
特別外来設置
- 感染防止対策加算関連
・地域連携カンファレンス：年4回(ヨナハ丘の上病院、もりえい病院、多度あやめ病院、桑名保健所)
・四日市羽津医療センターとの相互ラウンド評価
- 感染対策マニュアルの改訂

今後の展望

ICTメンバーの増員と人材育成を推進し、AST活動の強化に取り組んでいきます。また、新興感染症との共存を考慮した感染対策を推進していきたいと考えています。

地域の医療機関との連携を密にし、桑員地域の感染対策の強化を目指していきます。

地域医療センター

スタッフ（2021年4月現在）

| | |
|-------|---------------------|
| 室長 | 蛭川さおり |
| センター長 | 登内 仁 |
| 看護師 | 常勤・・・6名 非常勤・・・1名 |
| 社会福祉士 | 常勤・・・8名 |
| 事務職員 | 常勤・・・3名 派遣・・・3名 |

地域医療センターの特色

地域医療センターでは、『医療相談・患者相談窓口』と『地域医療連携』の大きく二つの業務を行っています。

当センターでは、地域の皆さんが安心して適切な医療を受けられるよう、地域の医療機関や福祉機関との連携強化に努めています。

<医療相談・患者相談窓口>

時に病院は180度人生が変わってしまう場所となり、患者さんやご家族は様々な不安や問題に直面されるかと思えます。

当センターでは、患者さんに安心して治療に専念していただけるよう、社会福祉士の資格をもった医療ソーシャルワーカー（以下MSW）7名と退院調整看護師4名で、患者さんやご家族の抱える様々な困りごとなどに対し、問題の解決を図るため様々な支援を行い、地域の関係機関との調整や連携を行っています。

退院援助に関しては、入退院支援加算1を算定しており、病棟ごとにMSWと退院調整看護師の担当者を配置しています。病棟スタッフと協力しながら、入院患者さんのスクリーニング、アセスメントを行い、入院早期から退院後の生活を視野に入れた支援に病院

全体で取り組んでいます。

▶主な業務内容

- 療養中の問題の解決・調整援助
- 退院援助
- 社会復帰援助
- 受診・受療援助
- 経済的問題の解決・調整援助
- 地域医療連携業務

<地域医療連携>

今日の医療は大きな病院ひとつですべてを完結させるのではなく、地域の大小さまざまな医療機関がそれぞれ役割分担を行い、患者さんの状態に応じて医療を提供することが求められています。

地域連携室では他の医療機関からご紹介いただきました患者さんの診療結果を迅速に紹介元の先生方にご報告し、引き続き治療がスムーズに行われるよう努めています。

当院が地域の基幹病院として「かかりつけ医」との連携を強化し、地域医療に貢献するため、開業医を始めとした地域の医療機関と当院を繋ぐ連携の窓口として日々の業務に取り組んでいます。

▶主な業務

- 診療予約の受付
- 紹介患者に関する事務・管理
- 逆紹介患者に関する事務・管理
- 地域連携検査（CT・MRI、生理検査等）の予約受付

年度回顧

2021年度は、新型コロナ流行の中で特別外来や入院患者さんの対応など、通常の業務に加えて様々な対応が求められる年となりました。

当部門では、事務員、看護師、MSWともにスタッフを増員し、各業務の充実を図りました。地域医療連携を担当している看護師は、紹介患者さんの対応と患者相談窓口としての役割を兼ねており、増員により地域の医療機関との連携強化はもちろんのこと、患者さんへのサービス向上にもつながったと考えています。

MSWについては、2020年から桑名市社会福祉協議会との人事交流を開始し、2021年度も引き続き社会福祉協議会の職員が当センターのMSWとして勤務しています。地域の中で多くの方の生活を支援してきた経験や情報を共有することができ、患者さんの相談援助に活かされています。また、新人のMSW1名を採用し、新人育成にも力を入れました。

今後の展望

地域包括システムの構築に向けて、高度医療及び急性期医療における地域の中核病院として、他の医療機関との機能分担及び連携を推進し、患者さんが退院後も切れ目のないケアを受けられるよう、各医療機関と協力して地域における在宅医療を含む医療・福祉及び介護の連携体制の構築に貢献していきたいと考えています。

活動記録

| | |
|-----------------------------------|----------------|
| 地域支援病院紹介率 | 90.7% |
| 地域支援病院逆紹介率 | 119.8% |
| 共同利用の実績 | 2,445 名 |
| 研修の実績 | 38 回 |
| 入退院支援加算算定件数 | 4,956 件 |
| 介護支援等連携指導料 および退院時共同指導料 算定件数 | 104 件 |
| MSW相談件数 | 実件数 2,226 件 |
| | 延件数 8,144 件 |
| 患者相談窓口件数 | 878 件 |

がん相談支援センター

スタッフ（2021年4月現在）

| | |
|-------|-------------|
| センター長 | 白石 泰三 |
| 医師 | 常勤(兼任)・・・1名 |
| 看護師 | 常勤(専従)・・・1名 |
| M S W | 常勤(専任)・・・1名 |
| 事務職員 | 常勤・・・1名 |

利用回数：平均相談回数：2.7回

最大相談回数：55回

◆◆がん教育◆◆

市内の小学校でがん教育を実施しました。

| 2021年 | 対象 |
|------------|-------|
| 桑名市立精義小学校 | 5・6年生 |
| 桑名市立多度東小学校 | 6年生 |
| 桑名市立大和小学校 | 6年生 |

がん相談支援センターの特色

2020年10月に地域医療センターより独立し、がん専門相談員が、患者や家族、地域住民や医療福祉関係者を対象とした、がんの総合相談を行っています。

相談業務の他、市内小中学校へのがん教育や地域住民向けのがん予防の啓発活動にも力を入れています。

◆◆がんサロン◆◆

三重県がん相談支援センターと共催で『がん患者と家族のためのおしゃべりサロン』を開催しました。コロナ禍の影響で1回のみで開催となりました。

◆◆その他の活動◆◆

- ・『生きるを伝える写真展』院内開催
- ・『生命の駅伝』参加
- ・緩和ケア研修会講師

年度回顧

院内外のがん患者の治療や療養生活についての相談と、入院患者の退院調整も一部担当しました。がん予防の啓発活動は、コロナ禍で思うように活動ができない状況でしたが、感染状況の落ち着いていた秋ごろに、市内の小学校でがん教育を行いました。

今後の展望

2022年度も、市内の小中学校へのがん教育や、がん予防の地域住民向け講演会を行っています。

国立がん研究センターの『がん情報ギフトプロジェクト』に参加している長島輪中図書館と連携し、一般の方にも正しいがんの情報をお届けできる様、図書館内に情報コーナーを開設し、イベントも予定しています。コロナの感染状況に配慮しながら、院内の情報コーナーの充実も図っていきます。

活動記録

◆◆相談実績◆◆

≪2020年10月～2021年3月≫

相談件数：544件/年(実人数：210人/年)

利用回数：平均相談回数：2.6回

最大相談回数：32回

≪2021年4月～2022年3月≫

相談件数：1,740件/年(実人数：637人/年)

治験事務局

スタッフ（2021年4月現在）

事務局 2名

治験審査委員会委員

委員長 町支秀樹

委員 専門員・・・6名

非専門員・・・2名

外部員・・・3名

事務局・委員会の特色

治験の計画・内容について倫理的、科学的な観点から検討することを目的として、治験審査委員会が設置されています。当院で実施する治験は治験審査委員会において審査され承認された後、病院長の許可を得て行っています。治験審査委員会は毎月第3月曜日に開催され、事務局はその庶務を行っています。また、治験の新規案件について該当診療科に案内し、実施中の治験に関する進捗状況などを把握して、円滑に実施されるように努めています。事務局は治験のほか、臨床研究などの庶務も取り扱っています。

年度回顧

今年度は選定が多くされ、開院以降、過去最高の件数となりました。主に第3相試験を受けていますが、今年度は第2相試験を1件を受けています。治験に組み入れ可能な患者が増え、治験の実施ができる体制が幅広くなった印象を受けます。また、新型コロナウイルス感染症を鑑みて、委員会のWEB開催手順書を作成し、審議の継続を行うことができる環境を整えました。

活動記録

◆◆治験実施開始実績◆◆

| | 件数 |
|--------|----|
| 2018年度 | 5件 |
| 2019年度 | 6件 |
| 2020年度 | 6件 |
| 2021年度 | 7件 |

◆◆治験実施中の試験内容◆◆

| 試験名 | 関連診療科 |
|--|---------------|
| ABT-494 (ウパダシチニブ) 体軸性脊椎関節炎を対象とした試験 | 膠原病 リウマチ内科 |
| RO7234292ハンチントン病を対象とした試験 | 脳神経内科 |
| ワクチンの接種を受けた母親から生まれた乳児を対象としたPF-06928316の第Ⅲ相試験 | 小児科、 産婦人科 |
| KHK7791 透析中の慢性腎臓病患者における高リン血症の改善 | 腎臓内科 |
| ZG-801 高カリウム血症 | 腎臓内科 |
| 好酸球性重症喘息患者を対象としたGSK3511294をメボリズマブ又はベンラリズマブと比較評価する非劣性試験 | 呼吸器内科 |
| グルココルチコイド治療依存性のリウマチ性多発筋痛症 (PMR) 患者を対象とした ABBV-154 の安全性及び有効性を評価する試験 | 膠原病 リウマチ内科 |

今後の展望

今後の予定として、新たに治験の開始が3件決まっており、今後、実施される治験が多くなることも予想されます。そのために、事務局は安全かつ適正に治験が実施されるように努めていきたいと思えます。

4. 業 績

学会発表

循環器内科

| 演 題・演 者 | 学会名・発表日・開催地 |
|--|--|
| ◆ガイドラインに学ぶ1 2016-2017年度活動ガイドライン作成班報告 肺血栓塞栓症および深部静脈血栓症の診断、治療、予防に関するガイドライン (2017年改訂版) 山田典一 | 第82回日本循環器学会学術集会 2018年3月23日～25日 大阪市 |
| ◆教育セッション: NOACがもたらした抗凝固療法の変化 NOACによるVTE治療の大きな変化 NOAC revolution in VTE treatment 山田典一 | 第23回国際心血管薬物療法学会年次学術集会 2018年5月27日 京都市 |
| ◆シンポジウム8: 静脈血栓塞栓症: 末梢型(下腿型) 深部静脈血栓症をどう治療するか? 下腿型深部静脈血栓症に関する調査結果から考えられる治療適応について 山田典一 | 第38回日本静脈学会総会 2018年6月14日～15日 横須賀市 |
| ◆急性深部静脈血栓症の血管内治療と現状の静脈ステント 山田典一 | 第38回日本静脈学会総会 2018年6月14日～15日 横須賀市 |
| ◆ランチョンセミナー6: VTEガイドライン・IVCフィルター 静脈血栓塞栓症ガイドライン改訂のポイント 山田典一 | 第38回日本静脈学会総会 2018年6月14日～15日 横須賀市 |
| ◆教育シンポジウム: 静脈疾患: ガイドラインとわが国のエビデンス 静脈血栓塞栓症ガイドライン総論 循環器病ガイドライン: 肺血栓塞栓症 概論・診断 山田典一 | 第38回日本静脈学会総会 2018年6月14日～15日 横須賀市 |
| ◆わが国の静脈血栓塞栓症ガイドラインの主な改訂点について 山田典一 | 第40回日本血栓止血学会学術集会 2018年6月29日 札幌市 |
| ◆改訂版静脈血栓塞栓症ガイドライン ～凝固線溶系マーカー測定の意義を中心に～ 山田典一 | 第19回日本検査血液学会学術集会 2018年7月21日 さいたま市 |
| ◆エキスパートを目指すセミナー6 DVT、肺塞栓症のカテーテル治療 山田典一 | 第27回日本心血管インターベンション治療学会 CVIT2018 学術集会 2018年8月2日～4日 神戸市 |
| ◆肺血栓塞栓症および深部静脈血栓症の診断・治療・予防に関するガイドライン 山田典一 | 第49回日本心臓血管外科学会 学術総会 2019年2月13日 岡山市 |
| ◆肺血栓塞栓症/深部静脈血栓症に対する血栓溶解療法のup to date 山田典一 | 第13回日本血栓止血学会学術標準化委員会シンポジウム 2019年2月16日 東京都 |
| ◆Thrombectomy Device: Japan Academia 山田典一 | Japan Endovascular Treatment Conference (JET 2019) 2019年2月23日 東京都 |
| ◆<教育セッション>がん患者における静脈血栓塞栓症 山田典一 | 第83回日本循環器学会学術集会 2019年3月29日～31日 横浜市 |

| 演 題・演 者 | 学会名・発表日・開催地 |
|---|---|
| <p>◆Design and Baseline Characteristics of the Edoxaban Real-world Observational Study in Japanese Patients with Venous Thromboembolism (ETNA-VTE-Japan) 山田典一、中村真潮、浅村智彦、内納和浩、塩境一仁</p> | <p>第83回日本循環器学会学術集会 2019年3月29日～31日 横浜市</p> |
| <p>◆ジョイントシンポジウム3/日本血栓止血学会・日本静脈学会「がん関連静脈血栓塞栓症」がん関連下腿限局型DVTについての検討 ～日本静脈学会サーベイ調査より～ 山田典一、八巻 隆、佐戸川弘之、白石恭史、西部俊哉、松原 忍、孟 真</p> | <p>第41回日本血栓止血学会学術集会 2019年6月21日～23日 津市</p> |
| <p>◆教育講演1 静脈血栓塞栓症：診断と治療のトピックス 山田典一</p> | <p>第41回日本血栓止血学会学術集会 2019年6月21日～23日 津市</p> |
| <p>◆VTE再発予防におけるリバーロキサバン治療の有効性および安全性に関する前向き登録観察研究 -J'xactly Study- 登録患者背景についての検討 山田典一、福田幾夫、中村真潮、前田英明、孟 真、奥村恭男、平山篤志</p> | <p>第39回日本静脈学会総会 2019年7月4日～5日 名古屋市</p> |
| <p>◆「新弾性ストッキング・コンダクター第2版」の改訂ポイント 静脈血栓症分野 山田典一</p> | <p>第39回日本静脈学会総会 2019年7月4日～5日 名古屋市</p> |
| <p>◆わが国における上肢深部静脈血栓症に関する調査報告 ～静脈疾患サーベイ調査～ 山田典一、佐戸川弘之、孟 真、白石恭史、田淵 篤、西部俊哉、橋山直樹、八巻 隆</p> | <p>第39回日本静脈学会総会 2019年7月4日～5日 名古屋市</p> |
| <p>◆病態生理教育シンポジウム『災害時における対応と医療』 災害時の静脈血栓塞栓症 -来るべき震災に備えて- 山田典一</p> | <p>第29回日本病態生理学会大会 2019年8月4日 東大阪市</p> |
| <p>◆循環器の立場からみたがん関連VTE 山田典一</p> | <p>第2回日本腫瘍循環器学会学術集会 2019年9月22日 旭川市</p> |
| <p>◆Venous-2 Acute DVT, PE CDT：カテーテルを用いた血栓溶解療法 山田典一</p> | <p>Japan Endovascular Treatment Conference (JET) Talks on Air 2020 2020年4月25日 Web</p> |
| <p>◆ETNA-VTE-Japan：Final Report of Safety and Effectiveness of Edoxaban for Patients with Venous Thromboembolism in a Real-world One-year Observational Study 山田典一</p> | <p>第84回日本循環器学会学術集会 2020年7月 Web</p> |
| <p>◆静脈血栓塞栓症における抗凝固療法の新たな展開 -慢性期後遺症抑制のための治療戦略- 山田典一</p> | <p>第84回日本循環器学会学術集会 2020年7月 Web</p> |
| <p>◆シンポジウム3 血管性障害と内科疾患 (4)深部静脈血栓症・肺血栓塞栓症 山田典一</p> | <p>第117回日本内科学会総会・講演会 2020年8月7日～9日 Web</p> |
| <p>◆静脈血栓塞栓症：治療をめぐるTopics 山田典一</p> | <p>第40回日本静脈学会総会 2020年9月17日 Web</p> |

| 演 題・演 者 | 学会名・発表日・開催地 |
|---|--|
| ◆リバーロキサバンを用いた深部静脈血栓症及び肺血栓症に対する実臨床下における安全性、有効性：特定使用成績調査中間報告 山田典一 | 第61回日本脈管学会総会 2020年10月13日～15日 Web |
| ◆サテライトシンポジウム91 明日から役立つ臨床基礎講座 IBDと静脈血栓症～有害事象マネージメント～ 山田典一 | JDDW 2020 KOBE 日本消化器病学会 2020年11月6日 Web |
| ◆トピックス1 COVID-19 Update COVID-19と血栓症 山田典一 | 第36回日本糖尿病・妊娠学会年次 学術集会 2020年11月13日～26日 Web |
| ◆COVID-19と静脈血栓症 山田典一 | ARIA 2020 in silico 2020年11月21日 Web |
| ◆右心内巨大血栓を伴う肺血栓症に血栓溶解療法を施行し心臓超音波検査で血栓の縮小を観察し得た一例 柳澤将史、山田典一、前川瑛亮、糟谷彰悟、飯尾滉太郎、岡島春花、今井裕一、千賀通晴、大村 崇、大久保節也、市川毅彦 | 日本循環器学会第158回東海・第143回北陸合同地方会 2021年10月23日 名古屋市 |
| ◆静脈血栓症/肺塞栓症部会 「静脈血栓症の治療と予防Up to Date」特別発言 山田典一 | 第16回日本血栓止血学会学術標準 化委員会シンポジウム 2022年2月19日 Web |

消化器内科

| 演 題・演 者 | 学会名・発表日・開催地 |
|--|--|
| ◆高齢者に腹腔鏡下食道裂孔ヘルニア修復術を行いQOLが改善した一例 田中 聡、前田夏美、池田大輔、東森 啓、森本謙一、中谷雅美、福田 隆、瀧井麻美子、竹村雅至、藤原靖弘 | 第100回日本消化器内視鏡学会近畿 支部例会 2018年5月26日 大阪市 |
| ◆ベンラリズマブが著効した好酸球性多発血管炎性肉芽腫症の一例 村田亮介、蛭原愛子、油田尚総、野田健太郎、小林 哲 | 第236回内科学会東海地方会 2018年9月30日 名古屋市 |
| ◆経皮的CTガイド下生検が診断に有用であった直腸神経鞘腫の一例 山本あゆみ、着本望音、浦吉俊輔、野尻圭一郎、久保一美、泉 道博、泉 恭代、大森 茂、石田 聡 | 第129回日本消化器病学会東海支部 2018年11月17日 名古屋市 |
| ◆急性腎不全を呈したvibrio Cholerae non O1 O139 (ナグビブリオ) 感染症の一例 村田亮介、久保一美、山本あゆみ、着本望音、浦吉俊輔、野尻圭一郎、泉 恭代、泉 道博、大森 茂、石田 聡 | 第237回内科学会東海地方会 2019年2月17日 津市 |
| ◆悪性新生物精査中に左中大脳動脈近位部閉塞を4回繰り返した1例 近藤智月、山本あゆみ、着本望音、浦吉俊輔、野尻圭一郎、久保一美、泉 道博、石田 聡、山田典一、市川毅彦 | 第239回日本内科学会東海地方会 2019年10月6日 岐阜市 |
| ◆長期入院患者における筋肉量変動についての検討 秦 三平、中川直樹、小島さおり、川瀬千絵、三輪陽子、久保郁子、大野典子、木村充志、松田浩明 | 第23回日本病態栄養学会年次学術 集会 2020年1月24日～26日 京都市 |

| 演 題・演 者 | 学会名・発表日・開催地 |
|---|--|
| ◆クローン病による大量腸管切除後短腸症候群に対し長期TPNを行いヘモクロマトーシスから肝不全死に至った1例 福井淑崇、中川直樹、坂口亮平、樋口国博、中島滋人、高司智史 | 第23回日本病態栄養学会年次学術集会 2020年1月24日～26日 京都市 |
| ◆多発肝転移を伴った膵腺房細胞癌・mixed acinar neuroendocrine carcinomaの一例 村田亮介、大矢由美、山本あゆみ、田中 聡、浦吉俊輔、野尻圭一郎、泉 道博、中川直樹、石田 聡 | 第243回内科学会東海地方会 2021年2月14日 Web |
| ◆トラスツズマブ、エムタシン (T-DM1) による化学療法後発症した非肝硬変性門脈圧亢進症の一例 山本あゆみ、大矢由美、田中 聡、野尻圭一郎、中川直樹、石田 聡 | 第44回肝臓病学会西部会 2021年12月9日 岡山市 |

腎臓内科

| 演 題・演 者 | 学会名・発表日・開催地 |
|--|--|
| ◆免疫吸着療法 (IAPP) が奏功した抗myelin oligodendrocyte glycoprotein (MOG) 抗体陽性視神経脊髄炎スペクトラム障害 (NMOSD) の2例 西田順二、三浦翔子、横井友和、小寺 仁、安富眞史、大達清美 | 第66回日本透析医学会学術集会・総会 2021年6月5日 横浜市 |
| ◆P-036 血液透析を要したカルバマゼピンによる薬剤性急性間質性腎炎の1例 西田順二、三浦翔子、横井友和、小寺 仁、安富眞史 | 第51回日本腎臓学会西部学術大会 2021年11月1日～19日 Web |

呼吸器内科

| 演 題・演 者 | 学会名・発表日・開催地 |
|-----------------------------------|------------------------------------|
| ◆頸椎に化膿性椎間板炎を発症した関節リウマチの1例 八木昭彦 | 第239回日本内科学会東海地方会 2019年10月6日 岐阜市 |

外 科

| 演 題・演 者 | 学会名・発表日・開催地 |
|---|-----------------------------------|
| ◆胃NETの2例 成田 潔、町支秀樹、佐藤梨枝、高橋直樹、鈴木秀郎、岡田喜克 | 第238回東海外科学会 2018年4月15日 名古屋市 |
| ◆小児虫垂炎に対する単孔式腹腔鏡下虫垂切除術の工夫 成田 潔、野口智史、佐藤梨枝、杉澤 文、高橋直樹、西川隆太郎、小西尚巳、岩永孝雄、鈴木秀郎、町支秀樹、登内 仁 | 第31回日本内視鏡外科学会 2018年6月8日 福岡市 |
| ◆Autoimmune pancreatitis complicating Sjogren's syndrome. Naoki Takahashi, Kiyoshi Narita, Rie Sato, Hideo Suzuki, Hideki Machishi, Yoshikatsu Okada | 第30回日本肝胆膵外科学会 2018年6月7日～9日 横浜市 |

| 演 題 ・ 演 者 | 学会名 ・ 発表日 ・ 開催地 |
|---|---|
| <p>◆興味深い画像所見を呈した子宮広間膜裂孔ヘルニアの1例 <u>成田 潔</u>、<u>野口智史</u>、<u>佐藤梨枝</u>、<u>杉澤 文</u>、<u>高橋直樹</u>、<u>西川隆太郎</u>、<u>小西尚巳</u>、<u>岩永孝雄</u>、<u>鈴木秀郎</u>、<u>町支秀樹</u>、<u>登内 仁</u></p> | <p>第239回東海外科学会 2018年10月14日 浜松市</p> |
| <p>◆下行結腸癌同時性脾転移の1切除例 <u>佐藤梨枝</u>、<u>成田 潔</u>、<u>野口智史</u>、<u>杉澤 文</u>、<u>高橋直樹</u>、<u>西川隆太郎</u>、<u>小西尚巳</u>、<u>岩永孝雄</u>、<u>鈴木秀郎</u>、<u>町支秀樹</u>、<u>登内 仁</u></p> | <p>第80回日本臨床外科学会 2018年11月22日～24日 東京都</p> |
| <p>◆直腸癌に合併したFournier症候群に対しデブリドマン後、創部管理にVAC ULTAが著効した1例 <u>成田 潔</u>、<u>野口智史</u>、<u>佐藤梨枝</u>、<u>杉澤 文</u>、<u>高橋直樹</u>、<u>西川隆太郎</u>、<u>小西尚巳</u>、<u>岩永孝雄</u>、<u>鈴木秀郎</u>、<u>町支秀樹</u>、<u>登内 仁</u></p> | <p>第80回日本臨床外科学会 2018年11月22日～24日 東京都</p> |
| <p>◆Manual laparoscopy-assisted intraoperative reduction for adult ileocolic intussusception with ileal adenoma: A case report <u>Naoki Takahashi</u>, <u>Kiyoshi Narita</u>, <u>Tomohumi Noguchi</u>, <u>Rie Sato</u>, <u>Aya Sugisawa</u>, <u>Ryutaro Nishikawa</u>, <u>Naomi Konishi</u>, <u>Takao Iwanaga</u>, <u>Hideo Suzuki</u>, <u>Hideki Machishi</u>, <u>Hitoshi Tonouchi</u>, <u>Yoshikatsu Okada</u></p> | <p>3rd Annual World Congress of Digestive Disease 2018年12月1日 ローマ</p> |
| <p>◆右胃大網動脈を用いたCABG後4ヶ月で腹腔鏡下胆嚢摘出術を施行した1例 <u>佐藤梨枝</u>、<u>成田 潔</u>、<u>野口智史</u>、<u>杉澤 文</u>、<u>高橋直樹</u>、<u>小西尚巳</u>、<u>岩永孝雄</u>、<u>鈴木秀郎</u>、<u>町支秀樹</u>、<u>登内 仁</u></p> | <p>第32回日本内視鏡外科学会総会 2019年5月7日 横浜市</p> |
| <p>◆外科修練医教育としてのTAPP <u>成田 潔</u>、<u>登内 仁</u>、<u>佐藤雄基</u>、<u>野口智史</u>、<u>佐藤梨枝</u>、<u>杉澤 文</u>、<u>高橋直樹</u>、<u>小西尚巳</u>、<u>岩永孝雄</u>、<u>鈴木秀郎</u>、<u>町支秀樹</u></p> | <p>第17回日本ヘルニア学会学術集会 2019年6月13日～15日 四日市市</p> |
| <p>◆A case of infected pancreatic pseudocyst with hepatic portal-venous gas <u>K.Narita</u>, <u>T.Noguchi</u>, <u>R.Sato</u>, <u>A.Sugisawa</u>, <u>N.Takahashi</u>, <u>R.Nishikawa</u>, <u>N.Konishi</u>, <u>T.Iwanaga</u>, <u>H.Suzuki</u>, <u>H.Machishi</u>, <u>H.Tonouchi</u></p> | <p>第31回日本肝胆膵外科学会学術集会 2019年6月13日～15日 高松市</p> |
| <p>◆Curative resection for adenosquamous cell carcinoma of gall bladder using intraoperative frozen section of cystic duct <u>N.Takahashi</u>, <u>K.Narita</u>, <u>T.Noguchi</u>, <u>R.Sato</u>, <u>A.Sugisawa</u>, <u>R.Nishikawa</u>, <u>N.Konishi</u>, <u>T.Iwanaga</u>, <u>H.Suzuki</u>, <u>H.Machishi</u>, <u>H.Tonouchi</u></p> | <p>第31回日本肝胆膵外科学会学術集会 2019年6月13日～15日 高松市</p> |
| <p>◆緩和ケアにおける輸液ルート：PICC・上腕ポートの有用性 <u>成田 潔</u>、<u>町支秀樹</u>、<u>西田順二</u>、<u>杉澤 文</u>、<u>岩田友子</u>、<u>鍛地奈津子</u>、<u>今西義紀</u>、<u>東田友紀</u>、<u>安井沙代子</u></p> | <p>第24回日本緩和医療学会学術大会 2019年6月21日～22日 横浜市</p> |
| <p>◆脾腫瘍として発見され診断に難渋した原発性腹膜癌の1例 <u>成田 潔</u>、<u>町支秀樹</u>、<u>野口智史</u>、<u>佐藤梨枝</u>、<u>杉澤 文</u>、<u>高橋直樹</u>、<u>西川隆太郎</u>、<u>小西尚巳</u>、<u>岩永孝雄</u>、<u>鈴木秀郎</u>、<u>登内 仁</u>、<u>白石泰三</u></p> | <p>第74回日本消化器外科学会総会 2019年7月17日～19日 東京都</p> |

| 演 題・演 者 | 学会名・発表日・開催地 |
|--|---|
| <p>◆術中腹腔鏡観察による成人再発鼠径ヘルニア手術の工夫 高橋直樹、成田 潔、野口智史、佐藤梨枝、杉澤 文、西川隆太郎、小西尚巳、岩永孝雄、鈴木秀郎、町支秀樹、登内 仁</p> | <p>第74回日本消化器外科学会総会 2019年7月17日～19日 東京都</p> |
| <p>◆Fournier症候群を合併した高度進行直腸癌に対し、集学的治療が奏効しR0切除に成功した1例 成田 潔、佐藤雄基、野口智史、佐藤梨枝、杉澤 文、高橋直樹、小西尚巳、岩永孝雄、鈴木秀郎、町支秀樹、登内 仁</p> | <p>第27回JDDW (デジタルポスター) 2019年11月21日～24日 神戸市</p> |
| <p>◆卵巣動静脈の走行に着目することで確定診断できた子宮広間膜裂孔ヘルニアの2例 成田 潔、佐藤雄基、野口智史、佐藤梨枝、杉澤 文、高橋直樹、小西尚巳、岩永孝雄、鈴木秀郎、町支秀樹、登内 仁</p> | <p>第81回日本臨床外科学会総会 2019年11月14日～16日 高知市</p> |
| <p>◆石灰乳胆汁を来した小児胆石症に対し、腹腔鏡下胆嚢摘出術を施行した1例 佐藤梨枝、成田 潔、野口智史、杉澤 文、高橋直樹、小西尚巳、岩永孝雄、鈴木秀郎、町支秀樹、登内 仁</p> | <p>第81回日本臨床外科学会総会 2019年11月14日～16日 高知市</p> |
| <p>◆著明な下腿浮腫で発症した巨大肝嚢胞に対し、腹腔鏡下肝嚢胞開窓術を施行した1例 成田 潔、佐藤雄基、野口智史、佐藤梨枝、杉澤 文、高橋直樹、小西尚巳、岩永孝雄、鈴木秀郎、町支秀樹、登内 仁</p> | <p>第32回日本内視鏡外科学会総会 2019年12月5日～7日 横浜市</p> |
| <p>◆上腕ポートの導入とみえてきた課題 成田 潔</p> | <p>第8回血管内留置カテーテル管理研究会 (シンポジウム) 2019年12月7日 吹田市</p> |
| <p>◆安全なCVポートを目指して ～上腕ポートの導入とその結果～ 成田 潔、水野 成、野口智史、佐藤梨枝、杉澤 文、高橋直樹、小西尚巳、岩永孝雄、鈴木秀郎、町支秀樹、登内 仁</p> | <p>第120回日本外科学会定期学術集会 2020年8月13日～15日 横浜市</p> |
| <p>◆術前CTの血管走行に着目することで正診し、腹腔鏡下に治療し得た特発性大網捻転症の1例 成田 潔、水野 成、野口智史、佐藤梨枝、杉澤 文、高橋直樹、小西尚巳、岩永孝雄、鈴木秀郎、町支秀樹、登内 仁</p> | <p>第56回日本腹部救急医学会総会 2020年10月8日～9日 名古屋市</p> |
| <p>◆私の虫垂切除術 ー単孔式腹腔鏡下虫垂切除術の難易度予測についてー 成田 潔、水野 成、野口智史、佐藤梨枝、杉澤 文、高橋直樹、小西尚巳、岩永孝雄、鈴木秀郎、町支秀樹、登内 仁</p> | <p>第82回日本臨床外科学会総会 2020年10月29日～31日 Web</p> |
| <p>◆腹腔鏡手術を行った内ヘルニアの5例 成田 潔、水野 成、野口智史、佐藤梨枝、杉澤 文、高橋直樹、小西尚巳、岩永孝雄、鈴木秀郎、町支秀樹、登内 仁</p> | <p>第18回日本ヘルニア学会学術集 2020年11月3日～4日 Web</p> |

| 演 題・演 者 | 学会名・発表日・開催地 |
|---|--|
| ◆3度の手術の末空腸人工肛門造設をせざるを得なくなった重篤な放射線腸炎の1例 成田 潔、水野 成、野口智史、佐藤梨枝、杉澤 文、高橋直樹、小西尚巳、岩永孝雄、鈴木秀郎、町支秀樹、登内 仁 | 第75回日本消化器外科学会総会 2020年12月15日～17日 和歌山市 |
| ◆膿瘍形成性虫垂炎と術前診断された低異型度虫垂粘液性腫瘍由来の腹膜偽粘液腫の1例 成田 潔、水野 成、野口智史、佐藤梨枝、杉澤 文、高橋直樹、小西尚巳、岩永孝雄、鈴木秀郎、町支秀樹、登内 仁 | 第57回日本腹部救急医学会総会 2021年3月11日～12日 Web |
| ◆EP-3-1-28 皮膚温存乳房全切除後に乳頭乳輪同時再建を伴う拡大広背筋皮弁で一次再建を行った乳癌症例の検討 小西尚巳、杉澤 文、伊藤みのり、水野 成、野口智史、佐藤梨枝、高橋直樹、岩永孝雄、鈴木秀郎、東 千尋、町支秀樹、登内 仁、三井康平 | 第29回日本乳癌学会学術総会 2021年7月1日～3日 ポスター発表 |
| ◆PO-1-5-2 組織生検で異型上皮内病変と診断された症例の検討 杉澤 文、小西尚巳、鈴木秀郎、伊藤みのり、東 千尋、町支秀樹、登内 仁、仙波玲美、白石泰三 | 第29回日本乳癌学会学術総会 2021年7月1日～3日 Web |
| ◆検診で発見された浸潤性小葉癌に隣りの胞性腫瘍の合併が認められた一例 小西尚巳、山門玲菜、杉澤 文、東 千尋、伊藤みのり、鈴木秀郎、近藤惲瑞子、前田香里 | 第31回日本乳癌検診学会総会 2021年11月26日 Web |
| ◆当院で手術を施行された検診発見乳癌と腫瘍自覚症例の臨床病理学的因子の比較検討 山門玲菜、小西尚巳、杉澤 文、東 千尋、伊藤みのり、鈴木秀郎、近藤惲瑞子、前田香里 | 第31回日本乳癌検診学会総会 2021年11月26日 Web |
| ◆当院で手術を施行されたCT発見乳癌の検討 山門玲菜、小西尚巳、東 千尋、伊藤みのり、山門玲菜、鈴木秀郎、近藤惲瑞子、前田香里 | 第31回日本乳癌検診学会総会 2021年11月26日 Web |

整形外科・リウマチ科

| 演 題・演 者 | 学会名・発表日・開催地 |
|--|---|
| ◆カテーテル感染を契機に多発膿瘍・化膿性股関節炎を生じた1例 真弓徳大、岩崎達也、松井佑梨世、松田 理、中瀬古健 | 第130回中部整形外科災害外科学会・学術集会 2018年4月20日～21日 松山市 |
| ◆全身性けいれんによる腰椎破裂骨折をきたした1例 萩原通友、真弓徳大、松井佑梨世、明田浩二、松田 理、中瀬古健 | 第130回中部整形外科災害外科学会・学術集会 2018年4月20日～21日 松山市 |
| ◆Usefulness of consecutive Doppler ultrasound examinations for detecting deep venous thrombosis during the perioperative period in patients with osteoporotic fractures of the proximal femur Ken Nakaseko, Norihiro Mayumi | Annual European Congress of Rheumatology 2018年6月13日～16日 ウェストエルダム |

| 演 題・演 者 | 学会名・発表日・開催地 |
|--|--|
| ◆測定部位の違いによる骨密度の差異について 加藤次郎、中瀬古健、松井佑梨世、松田理 | 第131回中部整形外科災害外科学会・ 学術集会 2018年10月5日～6日 倉敷市 |
| ◆測定部位の違いによる骨密度の差異について -第2報- 加藤次郎、中瀬古健、松井佑梨世、松田理 | 第132回中部整形外科災害外科学会・ 学術集会 2019年4月5日～6日 津市 |
| ◆骨折を伴わない距骨下脱臼の1例 調子智一、松井佑梨世、岡村直樹、松田理、中瀬古健 | 第133回中部整形外科災害外科学会・ 学術集会 2019年9月20日～21日 神戸市 |
| ◆Bone mineral density of the spine, hip, and distal radius in patients with postmenopausal osteoporosis Ken Nakaseko | American College of Rheumatology (ACR) Annual Meeting 2019年11月8日～13日 アトランタ |
| ◆大腿骨頸部にまで及ぶ広汎な骨壊死像を示した特異性大腿骨頭壊死 症の1例 岡村直樹、中瀬古健、松田理、松井佑梨世、浜藤啓広、 長谷川正裕 | 第50回日本人工関節学会 2020年2月21日～22日 福岡市 |
| ◆腫瘍との鑑別を要した非典型的な両側特異性大腿骨頭壊死症の1例 岡村直樹、松井佑梨世、松田理、中瀬古健、浜藤啓広 | 第134回中部整形外科災害外科学会・ 学術集会 2020年4月10日～11日 大阪市 |
| ◆大腿骨頸部骨折に対してハンソンピンロックにて骨接合術後に大腿 骨大腿骨転子下骨折を生じた1例 長谷川貴栄、松井佑梨世、岡村直樹、松田理、中瀬古健 | 第135回中部整形外科災害外科学会・ 学術集会 2020年10月9日～10日 Web |
| ◆大腿骨警部骨折に対するHanson Pinlocによる治療経験 松井佑梨世、中瀬古健、松田理、岡村直樹、長谷川貴栄、 浜藤啓広 | 第47回日本股関節学会学術集会 2020年10月23日～24日 四日市市 |
| ◆ウォーター 슬라이ダーにて肩関節脱臼を生じた1例 長谷川貴栄、松井佑梨世、岡村直樹、松田理、中瀬古健 | 第255回整形外科集談会東海地方会 2020年12月12日 Web |
| ◆結核性股関節炎の関節固定後に生じた大腿骨転子部骨折の1例 長谷川貴栄、松井佑梨世、岡村直樹、松田理、中瀬古健 | 第136回中部整形外科災害外科学会・ 学術集会 2021年4月9日～10日 Web |
| ◆活性型ビタミンD製剤使用経過中に高カルシウム血症による意識障 害を生じた2例 藤井一剛、中瀬古健、松田理、岡村直樹、松井佑梨世 | 第256回整形外科集談会東海地方会 2021年6月5日 Web |
| ◆活性型ビタミンD3製剤使用経過中に高カルシウム血症による意識障 害、脱力発作を生じた3例 藤井一剛、松井佑梨世、岡村直樹、松田理、中瀬古健 | 第137回中部整形外科災害外科学会・ 学術集会 2021年10月8日～9日 Web |
| ◆両側非定型大腿骨転子下骨折の完全骨折と不全骨折の治療経過 樋口聖也、岡村直樹、中瀬古健、松田理、松井佑梨世、 藤井一剛 | 第257回整形外科集談会東海地方会 2021年12月18日 Web |
| ◆当院での大腿骨近位部骨折患者および橈骨遠位端骨折患者における 骨密度検査の比較検討 藤井一剛、松井佑梨世、岡村直樹、松田理、中瀬古健 | 第68回東海整形外科外傷研究会 2022年3月26日 名古屋市 |

脳神経外科

| 演 題・演 者 | 学会名・発表日・開催地 |
|--|--|
| ◆クモ膜下出血で発症したDistal Anterior Cerebral Artery Dissectionに対してStentingのみで治療した一例 濱田和秀 | 第34回NPO法人日本脳神経血管内治療学会総会 2018年11月22日～24日 仙台市 |
| ◆Stentの過拡張で治療遂行できなかった未破裂動脈瘤の一例 濱田和秀 | 第51回日本脳神経血管内治療学会中部地方会 2019年8月3日 名古屋市 |
| ◆3施設統合新病院に開設した脳卒中センターにおける脳卒中ホットラインの初期結果 阪井田博司 | 第78回学術総会一般社団法人日本脳神経外科学会 2019年10月9日～12日 大阪市 |
| ◆新病院開設に伴う急性期脳梗塞血栓回収療法の変化 濱田和秀 | 第35回NPO法人日本脳神経血管内治療学会総会 2019年11月21日～23日 福岡市 |
| ◆5日間で4回繰り返した左中大脳動脈近位部閉塞に対して4回再開通療法を行った1例 濱田和秀 | 第35回NPO法人日本脳神経血管内治療学会総会 2019年11月21日～23日 福岡市 |
| ◆脳血管攣縮期に破裂脳動脈瘤に対してコイル塞栓術と塩酸フラスジル動注療法で術後脳梗塞を来した1例 Stroke2020 濱田和秀 | 第36回スパズム・シンポジウム 2020年8月23日～26日 Web |
| ◆機械的血栓回収術後のくも膜下出血に伴う症候性脳血管攣縮の2例 Stroke2020 後藤美希 | 第36回スパズム・シンポジウム 2020年8月23日～26日 Web |
| ◆外傷性くも膜下出血後に広範な脳梗塞を来した脳血管攣縮の2例 Stroke2020 3)山本篤志 | 第36回スパズム・シンポジウム 2020年8月23日～26日 Web |
| ◆FGF-2はFGFR3/PI3k/Akt経路を介して、くも膜下出血後の神経アポトーシスを抑制する 岡田 健、Budbazar Enkhjargal, Zachary D Travis, Umur Ocak, Jiping Tang, 鈴木秀謙、Joon H Zhang | Stroke 2020 2020年8月23日～26日 Web |
| ◆3施設統合新病院における院内発症ストロークに対する体制構築と初期結果 阪井田博司 | 第36回NPO法人日本脳神経血管内治療学会総会 2020年11月19日～21日 京都市 |
| ◆頭痛外来における鍼治療の試み 黒木香行 | 第49回日本頭痛学会総会 2021年11月19日 静岡市 |
| ◆3施設統合新病院に開設した脳卒中センターにおける開院3年間の血栓回収療法の治療結果 阪井田博司 | 第37回NPO法人日本脳神経血管内治療学会総会 2021年11月25日～27日 福岡市 |

脳神経内科

| 演 題・演 者 | 学会名・発表日・開催地 |
|---|--|
| ◆本邦における筋チャンネル病の遺伝学的特徴と患者QOLについて 仲 座 真 希、久保田智哉、 <u>佐々木良元</u> 、高橋正紀 | 第4回日本筋学会学術集会 2018年8月10日～11日 倉敷市 |
| ◆遺伝学的検査により同定されたAndersen-Tawil症候群家系における新規遺伝子変異V296Fとその機能解析 山内亨祐、福村 忍、川鍋 陽、山本晃代、仲座真希、久保田智哉、加藤辰輔、 <u>佐々木良元</u> 、岡村康司、高橋正紀 | 第48回日本臨床神経生理学会学術大会 2018年11月8日～10日 東京都 |
| ◆パーキンソン病患者の血液エクソソーム中のプロテオミクス解析 北村祐貴、小嶋みどり、黒澤俊人、 <u>佐々木良元</u> 、市原佐保子、平工雄介、冨本秀和、村田真理子、及川伸二 | 日本薬学会第139年会 2019年3月20日～23日 千葉市 |
| ◆本邦における筋チャンネル病の遺伝学的特徴 <u>佐々木良元</u> 、古田 充、久保田智哉、高橋正紀 | 第60回日本神経学会学術大会 2019年5月22日～25日 大阪市 |
| ◆脾臓低形成を伴った肺炎球菌性髄膜炎の一例 中島悠貴、有川茂雄、 <u>大達清美</u> 、 <u>佐々木良元</u> | 第154回日本神経学会東海・北陸地方会 2019年6月15日 名古屋市 |
| ◆先天性パラミオトニーにともなう3種のC端に位置する変異ナトリウムチャンネルの機能解析 堀江里歩、久保田智哉、高真 守、田中里江子、中村優一郎、 <u>佐々木良元</u> 、伊東秀文、高橋正紀 | 第5回日本筋学会学術集会 2019年8月2日～3日 東京都 |
| ◆慢性脳低灌流状態はタウのリン酸化を促進する 島田拓弥、新堂晃大、松山裕文、矢田健一郎、丹羽 篤、 <u>佐々木良元</u> 、綾木 孝、眞木崇州、脇田英明、冨本秀和 | 第38回日本認知症学会学術集会 2019年11月7日～9日 東京都 |
| ◆抗MOG抗体関連疾患の臨床像 当院で経験した3症例の検討 <u>大達清美</u> 、古田智之、中島悠貴、有川茂雄、 <u>佐々木良元</u> | 第61回日本神経学会学術大会 2020年8月31日～9月2日 岡山市 |
| ◆肺炎球菌性髄膜炎に多発頭蓋内血管狭窄、多発脳梗塞を合併した一例 堀 真 梧、古田智之、 <u>大達清美</u> 、 <u>佐々木良元</u> | 第160回日本神経学会東海・北陸地方会 2021年6月27日 Web |
| ◆多発脳神経麻痺を呈したRamsay-Hunt症候群の嚥下障害に、間欠的経口経管栄養が有効であった1例 <u>大達清美</u> 、堀 真 梧、古田智之、 <u>佐々木良元</u> | 第39回日本神経治療学会学術集会 2021年10月28日～30日 津市 |

泌尿器科

| 演 題・演 者 | 学会名・発表日・開催地 |
|--|-------------------------------------|
| ◆ネオキシテープ貼付後のオキシブチニン塩酸塩の血中動態に対する保湿剤の影響 大井一弥、村上佳人、関島秀久、藤澤 豊、木瀬英明 | 第25回排尿機能学会 2018年9月27日 名古屋市 |
| ◆冷えによる下部尿路症状に対する漢方薬の効果 木瀬英明 | 第25回排尿機能学会 2018年9月27日 名古屋市 |
| ◆前立腺癌患者におけるゴセレリン投与後のHbA1c値に影響を及ぼす要因の検討 小出哲朗、有松 冨、桐生浩子、原美由紀、小松由佳、伊藤久美子、堀田康広、木瀬英明 | 第68回日本泌尿器科学会中部総会 2018年9月29日 名古屋市 |

| 演 題・演 者 | 学会名・発表日・開催地 |
|---|-------------------------------------|
| ◆腫瘍性尿管閉塞に対する全長型金属製尿管ステントResonance®の有効性 木瀬英明 | 第83回日本泌尿器科学会東部総会 2018年10月13日 東京都 |
| ◆冷えによって悪化する下部尿路症状に対する漢方薬の効果 -第2報- 木瀬英明 | 第26回排尿機能学会 2019年9月13日 東京都 |
| ◆桑名市総合医療センターにおける経会陰的前立腺生検の検討 木瀬英明、脇田利明、仙波玲美、白石泰三 | 第71回日本泌尿器科学会中部総会 2021年10月8日 名古屋市 |
| ◆Best Supportive Care移行後に完全寛解した去勢抵抗性前立腺癌の1例 木瀬英明 | 第71回日本泌尿器科学会中部総会 2021年10月8日 名古屋市 |
| ◆神経内分泌前立腺癌の4例 木瀬英明、仙波玲美、白石泰三 | 第71回日本泌尿器科学会中部総会 2021年10月8日 名古屋市 |

歯科口腔外科

| 演 題・演 者 | 学会名・発表日・開催地 |
|--|-------------------------------------|
| ◆頭頸部がん放射線治療用口腔内装置の当院における使用状況 永田 心、黒原一人、古島夏子、濱口 桂、福原大樹、 新井直也 | 第66回日本口腔外科学会 2021年11月12日～14日 千葉市 |
| ◆ステロイド局所注入療法を行った顎骨中心性巨細胞肉芽腫の2例 朽名智彦、若林宏紀、小泉 岳、滝川 享、加納慶子、 加藤英治、清水香澄、北村哲也、新井直也 | 第66回日本口腔外科学会 2021年11月12日～14日 千葉市 |

救急科

| 演 題・演 者 | 学会名・発表日・開催地 |
|--------------------------------------|--|
| ◆桑名市救急ワークステーションの運用による効果について 佐々木俊哉 | 第23回日本臨床救急医学会総会・ 学術集会 2020年8月27日～28日 東京都 |

病理診断科

| 演 題・演 者 | 学会名・発表日・開催地 |
|---|-------------------------------------|
| ◆IDC-Pを伴う前立腺癌の臨床病理学的検討 仙波玲美、内田克典、白石泰三、佐々木豪、井上貴博、 渡邊昌俊 | 第110回日本病理学会総会 2021年4月22日～24日 東京都 |

看護部

| 演 題・演 者 | 学会名・発表日・開催地 |
|---|--|
| ◆排尿ケアチーム介入による看護師の意識変化 矢野 亜貴、柴田 若奈、安井沙代子、木瀬 英明 | 第68回東海ストーマ・排泄リハビリテーション研究会 2019年6月8日 四日市市 |
| ◆当院排尿ケアチーム介入における効果と今後の課題 柴田 若奈、安井沙代子、木瀬 英明 | 第68回東海ストーマ・排泄リハビリテーション研究会 2019年6月8日 四日市市 |
| ◆排尿ケアチーム介入による看護師の意識変化 ～アンケートから見える効果と今後の課題～ 柴田 若奈、安井沙代子、木瀬 英明 | 第26回排尿機能学会 2019年9月14日 東京都 |
| ◆尿道留置カテーテル抜去後の残尿評価による排尿フローチャートの検討 柴田 若奈、安井沙代子、木瀬 英明 | 第26回排尿機能学会 2019年9月14日 東京都 |
| ◆新病院での緩和ケアチームの立ち上げを振り返って 岩田 友子、鍛地奈津子、町支 秀樹 他 | 日本緩和医療学会 第2回東海・北陸支部学術集会 2019年12月7日～8日 津市 |
| ◆長年の尿道留置カテーテルの離脱が可能となった症例 柴田 若奈、安井沙代子、木瀬 英明 | 第33回日本老年泌尿器科学会 2020年9月11日 奈良市 |

血液浄化療法室

| 演 題・演 者 | 学会名・発表日・開催地 |
|--|---|
| ◆CLI患者にAN69膜を使用して著効した症例報告 加納 智美、恒松 千晶、杉山あづさ | 第1回日本フットケア・足病医学会 東海・北陸地方会学術集会 2021年10月2日 ハイブリッド開催（名古屋市） |
| ◆透析患者の足をまもる洗浄とは!～アセスメントと白癬菌対策～ 加納 智美 | 第42回日本フットケア足病医学会学術集会 スイーツセミナー 講演 2021年12月20日 ハイブリッド開催（横浜市） |

薬剤部

| 演 題・演 者 | 学会名・発表日・開催地 |
|---|---|
| ◆CART施行中のアミカシン血中、胸水および濾過濃縮液濃度を評価した1症例 西川 嘉広、小出 哲朗、鷺見 香織、今西 義紀、川崎 好人、橋本 陽、芳川 史嗣、大村 崇、伊藤久美子、登内 仁 | 第28回日本医療薬学会年会 2018年11月24日 神戸市 |
| ◆発症期間の違いによる薬物性肝障害の実態 橋本 陽、大森 茂 | 第42回日本肝臓学会東部会 2018年12月7日 東京都 |
| ◆腹水濾過濃縮再静注法施行（CART）に伴うアミカシン（AMK）の限外濾過クリアランスを検討した1症例 西川 嘉広、野田真理子、川崎 好人、今西 義紀、鷺見 香織、安富 眞史、糟谷 彰悟、芳川 史嗣、大村 崇、伊藤久美子 | 第22回日本臨床救急医学会総会・学術集会 2019年5月31日 和歌山市 |

| 演 題・演 者 | 学会名・発表日・開催地 |
|--|---|
| ◆前立腺癌男性におけるゴセレリン投与後の総コレステロール値に影響を及ぼす要因 桐生 浩子、池口麻由子、有松 冨、不破朱里、原美由紀、加藤義章、近藤加奈子、橋本 陽、今西義紀、小出哲朗、伊藤久美子、堀田康広、木瀬英明 | 第29回日本医療薬学会2019 2019年11月4日 福岡市 |
| ◆薬剤師の関与によって早期診断および改善につながったアテゾリズマブによる劇症1型DKAの1例 西川嘉広、大森加奈子、今西義紀 | 第23回臨床救急医学会 2021年6月10日～12日 Web |
| ◆外来化学療法室における看護師と協働で行う連携充実加算算定へ向けての取り組み 今西義紀、桐生浩子、池口麻由子、寺本朋代、中山賀奈子、西川嘉広、大森加奈子、小出哲朗、中山真由美、伊藤久美子 | 第31回日本医療薬学会年会 2021年10月9日～10日、 10月15日～11月30日 Web |
| ◆薬学的介入により化学療法継続に至ったカペシタビン誘発高中性脂肪血症の1例 池口麻由子、桐生浩子、松田千裕、田中裕子、水谷日花里、窪田知仁、大矢知立城、西川嘉広、大森加奈子、橋本 陽、今西義紀、小出哲朗、森脇健太郎、山本あゆみ、伊藤久美子 | 第31回日本医療薬学会年会 2021年10月9日～10日、 10月15日～11月30日 Web |
| ◆ケイセントラ®投与に関するインシデント事例とその対応 ～投与プロトコルの作成～ 伊藤久美子、小出哲朗、橋本 陽、西川嘉広、高橋直樹、濱田和秀、早川武司、山田典一 | 日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会2021 2021年10月30日～11月7日 Web |
| ◆二次救命処置時のアミオダロン注の投与プロトコル作成および導入後アウトカム 西川嘉広、小出哲朗、池口麻由子、橋本 陽、石川しのぶ、大村 崇、山田典一、伊藤久美子 | 日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会2021 2021年10月30日～11月7日 Web |
| ◆シンポジスト名「急性期から学べる薬剤師の患者対応力レベルアップ」において、「薬剤師が行うショック症例への対応」を講演 西川嘉広 | 日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会2021 2021年10月30日～11月7日 Web |

放射線室

| 演 題・演 者 | 学会名・発表日・開催地 |
|---|---------------------------------------|
| ◆当院のマンモグラフィにおける最適撮影条件の検討 近藤偲瑞子、小西尚巳 | 第15回日本乳癌学会中部地方会 2018年9月8日 津市 |
| ◆放射線被ばく相談に用いる用語の見聞率調査～福島原発事故前後の変化～ 大井慎也 | 第34回日本診療放射線技師学術大会 2018年9月21日 下関市 |
| ◆当院のマンモグラフィにおける最適撮影条件の検討 近藤偲瑞子、前田香里 | 第28回日本乳癌検診学会学術総会 2018年11月23日 大阪市 |
| ◆二管球CTによる冠動脈CT撮影の最適な心位相の検討：βブロッカー使用時の高心拍患者を対象に 加藤拓樹、大井慎也、中村哲士、川口達也 | 第75回日本放射線技術学会総会学術大会 2019年4月11日 横浜市 |
| ◆ステレオガイド下乳房組織生検におけるターゲット石灰化の検討 近藤偲瑞子、前田香里 | 第27回日本乳癌学会学術総会 2019年7月11日 東京都 |

| 演 題・演 者 | 学会名・発表日・開催地 |
|---|--|
| ◆コメディカル一般演題 EVT 奥澤 浩明 | 第28回日本心血管インターベンション治療学会 CVIT2019 2019年9月19日 名古屋市 |
| ◆カテ室教育のすべるかもしれない話 ～中年のボヤキVS若手の主張～ 奥澤 浩明 | 第28回日本心血管インターベンション治療学会 CVIT2019 2019年9月19日 名古屋市 |
| ◆当院でのステレオガイド下乳房組織生検における石灰化の検討 近藤 惇子、前田 香里、宮浜 祥子、三島みづき、鈴木 秀郎、 杉澤 文、伊藤みのり、白石 泰三、小西 尚巳 | 第28回日本乳癌検診学会学術総会 2020年10月9日 Web |
| ◆EP-10-4-5 CT透視下による術前留置マーカ同定皮膚マーキング撮影における被ばく低減の取り組み 近藤 惇子、小西 尚巳、鈴木 秀郎、杉澤 文、川口 達也 | 第29回日本乳癌学会学術総会 2021年7月1日～3日 Web |
| ◆当センターにおける包括的心臓CT検査について 加藤 拓樹、大井 慎也 | 第37回日本診療放射線技師学術大会 2021年11月12日 東京都 |
| ◆負荷心筋PerfusionCTの有用性の検討 三島みづき、大井 慎也、加藤 拓樹、中村 哲士、川口 達也 | 第37回日本診療放射線技師学術大会 2021年11月12日 東京都 |
| ◆検査説明における傾聴技法活用の有用性についての検討 大井 慎也 | 第37回日本診療放射線技師学術大会 2021年11月14日 東京都 |
| ◆石灰化の形態評価の重要性について ～当院ステレオガイド下乳房組織生検結果より～ 近藤 惇子、前田 香里、宮浜 祥子、三島みづき、杉澤 文、 小西 尚巳 | 第31回日本乳癌検診学会総会 2021年11月26日 Web |
| ◆ステレオガイド下吸引式生検における事前撮影の有効性 前田 香里、近藤 惇子、宮浜 祥子、三島みづき、鈴木 秀郎、 杉澤 文、小西 尚巳 | 第31回日本乳癌検診学会総会 2021年11月26日 Web |

検査室

| 演 題・演 者 | 学会名・発表日・開催地 |
|---|--|
| ◆臨床化学 大矢知崇浩 | 日本医学検査学会 2018年5月13日 浜松市 |
| ◆LBC法における乳腺浸潤性小葉癌の細胞像の検討 今野 和治、矢野 孝明、伊藤 英樹、森 正美 | 第59回日本臨床細胞学会総会 春季大会 2018年6月2日 札幌市 |
| ◆乳房LBC細胞診の展望 LBC標本における浸潤性小葉癌の細胞像の検討 今野 和治、白石 泰三、杉本 寛子、小山 英之、北山 美佳、 柴原 亜希子、河合 美穂、矢野 孝明、小塚 裕司 | 第59回日本臨床細胞学会総会 2018年6月2日 札幌市 |
| ◆口腔擦過細胞診により推定したエナメル上皮腫の1例 矢野 孝明、今野 和治、森 正美、伊藤 英樹、坂本 未来、 仙波 玲美、湯浅 博登 | 第38回日本臨床細胞学会 東海連合会総会・学術総会 2019年3月2日 津市 |

| 演 題・演 者 | 学会名・発表日・開催地 |
|--|--|
| ◆泌尿器細胞診の精度管理をどう進めるか画像解析ソフトを用いた精度管理 細胞所見定量化解析と「異型細胞」診断への応用 金山和樹、矢野孝明、坂本未来、今野和治、伊藤英樹、森 正美、米田 操、白石泰三 | 第60回日本臨床細胞学会総会春期大会 2019年6月8日 東京都 |
| ◆中部圏支部 輸血研修会 大矢知崇浩 | 日本臨床検査学会 2019年11月1日 津、伊勢、松阪市 |
| ◆ODAからみる検査の見方(シンポジスト) 大矢知崇浩 | 日本未病システム学会 2019年11月15日 名古屋市 |
| ◆浸潤性乳癌における良悪性の鑑別とピットフォール 乳腺二相性腫瘍の良悪性の鑑別(細胞像) 今野和治、小塚裕司、北山美佳、柴原亜希子、矢野孝明、伊藤英樹、森 正美、仙波玲美、白石泰三 | 第58回日本臨床細胞学会秋期大会 2019年11月16日 岡山市 |
| ◆乳腺腺筋上皮腫の1例 矢野孝明、今野和治、伊藤英樹、森 正美、仙波玲美、湯淺博登、白石泰三 | 第58回日本臨床細胞学会秋期大会 2019年11月16日 岡山市 |
| ◆EBUS-FNA材料でリンパ腫と鑑別が困難であった小細胞癌 今野和治、白石泰三、宇田紗矢香、矢野孝明、伊藤英樹、森 正美、仙波玲美 | 第167回例会 日本臨床細胞学会東海連合会 2020年9月17日 Web |
| ◆当院における肝炎陽性患者拾い上げPJについて 大矢知崇浩 | 大日本住友製薬 オンライン 2020年12月15日 Web |
| ◆輸血部門 大矢知崇浩 | 三重県医学検査学会 2021年2月27日 津市 |
| ◆診断に苦慮した子宮体部粘液癌の1例 今野和治、宇田紗矢香、矢野孝明、伊藤 樹、森 正美 | 第40回日本臨床細胞学会東海連合会総会ならびに学術集会 2021年3月20日 岐阜市 |
| ◆診断に苦慮した子宮内膜 mucinous carcinomaの1例 今野和治、宇田紗矢香、矢野孝明、伊藤英樹、森 正美、仙波玲美、白石泰三 | 第40回日本臨床細胞学会東海連合会総会・学術集会 2021年3月20日 岐阜市 |
| ◆実臨床化におけるオンコマインDx実施時の事例共有 今野和治、宇田紗矢香、矢野孝明、伊藤英樹、森 正美 | Genetic profiling of non-small cell lung cancer Conference 2021年4月16日 四日市市 |
| ◆当院におけるオンコマインPx実施状況報告 今野和治 | Genetic protiling of non-small cell lng cancer coference in MIE 2021年4月16日 四日市市 |
| ◆尿中アルブミン・クレアチニン測定用試薬「U-テストビジュアル2AC」の基礎的検討 伊藤真梨、加藤淳也、矢橋知子、森 正美 | 日本医学検査学会 2021年5月15日 Web |
| ◆チームで取り組むB・C型肝炎拾い上げ運用方法について 大矢知崇浩 | 日本肝臓病学会 三重大学消化器内科学 2021年10月28日 Web |
| ◆NT-proBNP院内検査導入に際しての検体 水谷直弘、松岡春美、大矢知崇浩、矢橋知子 | 第44回三重県医学検査学会 2022年2月11日 Web |

| 演 題・演 者 | 学会名・発表日・開催地 |
|---|---------------------------------|
| ◆当院におけるABO血液型検査オモテ・ウラ不一致の症例 片出 珠々、大矢知崇浩、矢橋 知子 | 第44回三重県医学検査学会 2022年2月11日 Web |
| ◆当院の血液像鏡検によって気づけた、自動測定器で血小板偽高値になつた1症例 足立翔里、矢橋 知子、大矢知崇浩、中野 沙紀 | 第44回三重県医学検査学会 2022年2月11日 Web |

臨床工学室

| 演 題・演 者 | 学会名・発表日・開催地 |
|---|---|
| ◆開心術10例を経て 古城 拓弥、暮石 陽介 | 第42回日本体外循環医学会 東海 地方学術大会 2018年12月13日 安城市 |
| ◆コロナパンデミック 当院でのCOVID-19陽性透析患者の透析方法 について 多湖 郁哉、澤見 真由、三林 真也、渡辺 俊文、加納 智美、 安富 真史 | 第58回三重県透析研究会学術集会 2022年2月20日 Web |

リハビリテーション室

| 演 題・演 者 | 学会名・発表日・開催地 |
|---|---|
| ◆超音波診断装置における機種の違いによって生じる距離計測の誤差 について 丹羽 結生 | 第31回日本整形外科超音波学会 2019年7月6日～7日 名古屋市 |
| ◆人工股関節全置換術後に弾発股の症状を呈した一症例 丹羽 結生 | 第47回日本股関節学会学術集会 2020年10月23日～24日 四日市市 |
| ◆異なる機種を使用した人工膝関節置換術後の3症例 ～深屈曲可動 域獲得のための我々の工夫～ 丹羽 結生 | 整形外科リハビリテーション学会 学術集会 オンデマンド |

栄養管理室

| 演 題・演 者 | 学会名・発表日・開催地 |
|---|--|
| ◆「卓球珈琲」健康づくりプログラム参加による健康の保持増進効果の 検討 長谷川恭子 | 第5回サステナブル・ブランド国 際会議2021 2021年2月24日 横浜市 |

論文発表

循環器内科

| 題名・著者 | 雑誌名：発行年：巻(号)：頁 |
|---|--|
| <p>◆Multicenter investigation of the incidence of inferior vena cava filter fracture. Koizumi J, Hara T, Sekiguchi T, Ichikawa T, Tajima H, Takenoshita N, Tanikake M, Suyama Y, Kaji T, Kato K, Sone M, Arai Y, Anai H, Kichikawa K, Fujieda H, Nishibe T, <u>Yamada N</u>, Nakamura M, <u>Nakano T</u>, Kunieda T, Kuriyama T, Sugimoto T, Takayama M, Kobayashi T, Goto S, Kanazawa M, Itou M, Shirato K</p> | <p>Jpn J Radiol. 2018 : 36 : 661-668</p> |
| <p>◆Design and rationale for the Japanese Registry of Rivaroxaban Effectiveness & Safety for the Prevention of Recurrence in Patients with Deep Vein Thrombosis and Pulmonary Embolism (J'xactly) study. Okumura Y, Fukuda I, Nakamura M, <u>Yamada N</u>, Takayama M, Maeda H, Yamashita T, Ikeda T, Mo M, Yamazaki T, Hirayama A</p> | <p>BMJ Open 2018 : 8 (6) : e020286</p> |
| <p>◆2018 Hot Topics 血管分野 <u>山田典一</u></p> | <p>日本血栓止血学会誌 2019 : 30 : 258-260</p> |
| <p>◆肺血栓塞栓症 (PTE) の診断と治療 <u>山田典一</u></p> | <p>日本血栓止血学会誌 2019 : 30 : 54-59</p> |
| <p>◆災害時の静脈血栓塞栓症 ～来るべき震災に備えて～ <u>山田典一</u></p> | <p>日本病態生理学会雑誌 2019 : 28 (3) : 47-51</p> |
| <p>◆Prospective Registry of Rivaroxaban Management of Cancer-Associated Venous Thromboembolism (PRIMECAST) Study Tamura Y, Iwasa T, Kumamaru H, Miyata H, Mukai M, Shigematsu K, Shoji M, Tanabe N, <u>Yamada N</u>, Yasuda C, Miyata T</p> | <p>Circ Rep 2019 : 1 (11) : 534-537</p> |
| <p>◆Safety and Effectiveness of Edoxaban in Japanese Patients With Venous Thromboembolism -An Interim Analysis of Data From a Japanese Postmarketing Observational Study (ETNA-VTE-Japan). Nakamura M, <u>Yamada N</u>, Asamura T, Shiosakai K, Uchino K</p> | <p>Circulation Journal 2019 : 83 (6) : 1394-1404</p> |
| <p>◆Japanese Circulation Society and the Japanese Pulmonary Circulation and Pulmonary Hypertension Society Joint Working Group. Guidelines for the Treatment of Pulmonary Hypertension (JCS 2017/JPCPHS 2017) Fukuda K, Date H, Doi S, Fukumoto Y, Fukushima N, Hatano M, Ito H, Kuwana M, Matsubara H, Momomura SI, Nishimura M, Ogino H, Satoh T, Shimokawa H, Yamauchi-Takahara K, Tatsumi K, Ishibashi-Ueda H, <u>Yamada N</u>, Yoshida S, Abe K, Ogawa A, Ogo T, Kasai T, Kataoka M, Kawakami T, Kogaki S, Nakamura M, Nakayama T, Nishizaki M, Sugimura K, Tanabe N, Tsujino I, Yao A, Akasaka T, Ando M, Kimura T, Kuriyama T, Nakanishi N, Nakanishi T, Tsutsui H</p> | <p>Circulation Journal 2019 : 83 (4) : 842-945</p> |

| 題名・著者 | 雑誌名：発行年：巻(号)：頁 |
|---|---|
| <p>◆Acute Pulmonary Thromboembolism in a Patient with Nutcracker Syndrome and Antiphospholipid Syndrome. Ito T, Okamoto R, Matsuda A, Ogihara Y, <u>Yamada N</u>, Ito M</p> | <p>Int Heart J. 2020 : 61 (4) : 856-858</p> |
| <p>◆:A Multicenter Prospective Observational Cohort Study to Investigate the Effectiveness and Safety of Rivaroxaban in Japanese Venous Thromboembolism Patients (The J'xactly Study). Okumura Y, Fukuda I, Nakamura M, <u>Yamada N</u>, Takayama M, Maeda H, Yamashita T, Ikeda T, Mo M, Kobayashi T, Niwa A, Matsuo H, Yokoi H, Koga M, Yamazaki T, Hirayama A</p> | <p>Circ J 2020 : 84 (11) : 1912-1921</p> |
| <p>◆Autopsy study of pulmonary capillary hemangiomas with inflammatory cell infiltration into the myocardium. Omori T, Nakamori S, Ohta-Ogo K, Matsuda A, Ogihara Y, <u>Yamada N</u>, Imanaka-Yoshida K, Ito M, Dohi K</p> | <p>Pulm. Circ 2020 : 10 (4) : 1-3</p> |
| <p>◆Safety and Effectiveness of Edoxaban in Japanese Venous Thromboembolism Patients-Final Analysis of One-Year Follow-up Data From a Japanese Postmarketing Observational Study (ETNA-VTE-Japan). Nakamura M, <u>Yamada N</u>, Asamura T, Shiosakai K, Uchino K</p> | <p>Circ Rep. 2020 : 2 (3) : 192-202</p> |
| <p>◆COVID-19と静脈血栓塞栓症 山下侑吾、<u>山田典一</u>、孟 真</p> | <p>日本心血管協会「心血管薬物療法」 2021 : 8(1) : 27-33</p> |
| <p>◆深部静脈血栓症・肺血栓塞栓症 <u>山田典一</u></p> | <p>日本内科学会雑誌 2020 : 109/9 : 1821-1827</p> |
| <p>◆Selexipag for chronic thromboembolic pulmonary hypertension in Japanese patients:A double-blind, randomized, placebo-controlled, multicenter, phase 2 study Tanabe N, Fukuda K, Matsubara H, Nakanishi N, Tahara N, Ikeda S, Kishi T, Satoh T, Hirata K, Inoue T, Kimura H, Okano Y, Okazaki O, Sata M, Tsujino I, Ueno S, <u>Yamada N</u>, Yao A, Kuriyama T</p> | <p>Circ J 2020 : 84 : 1866-1874</p> |
| <p>◆The Primary Prevention of Venous Thromboembolism in Patients with COVID-19 in Japan : Current Status and Future Perspective. Yamashita Y, <u>Yamada N</u>, Mo M</p> | <p>Ann Vasc Dis 2021 : 14 (1) : 1-4</p> |
| <p>◆Clinical Features of Venous Thromboembolism in Patients With Coronavirus Disease 2019(COVID-19 in Japan-A Case Series Study- Yugo Yamashita, Nobuhiro Hara, Masahiro Obana, Satoshi Ikeda, Motohiko Furuichi, Shingo Ishiguro, Takehisa Iwai, Takao Kobayashi, Makoto Mo, <u>Norikazu Yamada</u></p> | <p>Circ J 2021 : 85 (3) : 309-313</p> |
| <p>◆新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) における静脈血栓塞栓症予防の診療指針2021年4月5日版 (Version 2.0) 孟 真、<u>山田典一</u>、山下侑吾、小林隆夫</p> | <p>静脈学 2021 : 32 (1) : 99-103</p> |
| <p>◆新型コロナウイルス感染症と静脈血栓塞栓症 山下侑吾、<u>山田典一</u>、孟 真</p> | <p>静脈学 2021 : 32 (1) : 111-117</p> |

| 題名・著者 | 雑誌名:発行年:巻(号):頁 |
|---|---|
| <p>◆リハビリテーション医療におけるDVTへの心得 <u>山田典一</u></p> | <p>The Japanese journal of rehabilitation medicine = リハビリテーション医学 2021 : 58 (7) : 718-723</p> |
| <p>◆COVID-19と肺血栓塞栓症 山下侑吾、<u>山田典一</u>、孟 真</p> | <p>循環器内科 = Cardioangiology 2021 : 90 (2) : 196-202</p> |
| <p>◆COVID-19における静脈血栓塞栓症と抗凝固療法 (COVID-19と心血管・脳血管疾患) 山下侑吾、<u>山田典一</u>、孟 真</p> | <p>Cardio-coagulation = カーディオコアギュレーション 2021 : 8 (4) : 239-245</p> |
| <p>◆Safety and Effectiveness of Apixaban in Japanese Patients With Venous Thromboembolism in Clinical Practice - A Post-Marketing Surveillance <u>Norikazu Yamada</u>, Makoto Mo, Ako Ohsawa, Motoki Sato, Michiaki Umeyama, Daisuke Shima, Mashio Nakamura</p> | <p>Circulation Journal 2021 : 85 (12) : 2201-2207</p> |
| <p>◆Time Trajectory of Pulmonary Artery Involvement in Takayasu Arteritis Confirmed by Histopathology. Akatsuka T, <u>Yamada N</u>, Nakamori S, Ando M, Ishikawa H, Dohi K</p> | <p>JACC Case Rep 2021 : 3 (10) : 1294-1296</p> |
| <p>◆Incidence and Clinical Features of Venous Thromboembolism in Hospitalized Patients With Coronavirus Disease 2019 (COVID-19) in Japan.Taskforce of VTE and COVID-19 in Japan Study Yamashita Y, Maruyama Y, Satokawa H, Nishimoto Y, Tsujino I, Sakashita H, Nakata H, Okuno Y, Ogihara Y, Yachi S, Toya N, Shingaki M, Ikeda S, Yamamoto N, Aikawa S, Ikeda N, Hayashi H, Ishiguro S, Iwata E, Umetsu M, Kondo A, Iwai T, Kobayashi T, Mo M, <u>Yamada N</u></p> | <p>Circulation Journal 2021 : 85(12) : 2208-2214</p> |
| <p>◆Characteristics and Clinical Outcomes of Japanese Patients with Venous Thromboembolism Receiving Under-dose Rivaroxaban: Subanalysis of J'xactly. Daisuke Fukamachi, Yasuo Okumura, Ikuo Fukuda, Mashio Nakamura, <u>Norikazu Yamada</u>, Morimasa Takayama, Hideaki Maeda, Takeshi Yamashita, Takanori Ikeda, Makoto Mo, Tsutomu Yamazaki, Atsushi Hirayama, on behalf of the J'xactly Investigators</p> | <p>Current Medical Research & Opinion 2022 : 38(7) : 1059-1068</p> |
| <p>◆Snake technique in Osler's disease-associated thoracoabdominal aortic aneurysm Bessho S, Ito H, Nakamura B, Shomura Y, Ogihara Y, <u>Yamada N</u>, Takao M</p> | <p>Ann Thoracic Surg 2022 : 114 (4) : e283-e285</p> |
| <p>◆Influence of Sex on Development of Thrombosis in Patients with COVID-19: From the CLOT-COVID Study Yugo Yamashita, Sen Yachi, Makoto Takeyama, Yuji Nishimoto, Ichizo Tsujino, Junichi Nakamura, Naoto Yamamoto, Hiroko Nakata, Satoshi Ikeda, Michihisa Umetsu, Shizu Aikawa,Hiroya Hayashi, Hirono Satokawa, Yoshinori Okuno, Eriko Iwata, Yoshito Ogihara, Nobutaka Ikeda, Akane Kondo, Takehisa Iwai, <u>Norikazu Yamada</u>, Tomohiro Ogawa, Takao Kobayashi, Makoto Mo</p> | <p>Thrombosis Research 2022 : Volume 213 : 173-178</p> |

| 題名・著者 | 雑誌名：発行年：巻(号)：頁 |
|---|--|
| <p>◆D-Dimer Values and Venous Thromboembolism in Patients With COVID-19 in Japan -From the CLOT-COVID Study Nobutaka Ikeda, Sen Yachi, Makoto Takeyama, Yuji Nishimoto, Ichizo Tsujino, Junichi Nakamura, Naoto Yamamoto, Hiroko Nakata, Satoshi Ikeda, Michihisa Umetsu, Shizu Aikawa, Hiroya Hayashi, Hirono Satokawa, Yoshinori Okuno, Eriko Iwata, Yoshito Ogihara, Akane Kondo, Takehisa Iwai, <u>Norikazu Yamada</u>, Tomohiro Ogawa, Takao Kobayashi, Makoto Mo, Yugo Yamashita for the CLOT-COVID Study Investigators</p> | <p>Circ Rep 2022 : 4 : 215-221</p> |

消化器内科

| 題名・著者 | 雑誌名：発行年：巻(号)：頁 |
|---|--|
| <p>◆当科における大腸SM癌の術前深達度診断精度 三浦孝也、松本吏弘、森野美奈、松本圭太、賀嶋ひとみ、小糸雄大、高橋裕子、坪井瑠美子、石井剛弘、藤原純一、関根匡成、上原健志、浦吉俊輔、湯橋一仁、浅野岳晴、鷺原規喜、宮谷博幸、眞嶋浩聡</p> | <p>日本消化器内視鏡学会雑誌 2018 : 60 (1) : 767</p> |
| <p>◆地方病院で始めた早期胃癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術師におけるラーニングカーブの検討 藤原純一、松本吏弘、鷺原規喜、浅野岳晴、湯橋一仁、浦吉俊輔、上原健志、関根匡成、石井剛弘、坪井瑠美子、高橋裕子、三浦孝也、小糸雄大、賀嶋ひとみ、松本圭太、眞嶋浩聡、安次嶺拓馬</p> | <p>日本消化器内視鏡学会雑誌 2018 : 60 (1) : 814</p> |
| <p>◆当院においてESDを行った大腸SM癌診断・治療成績・予後 藤原純一、松本吏弘、鷺原規喜、浅野岳晴、湯橋一仁、浦吉俊輔、上原健志、関根匡成、石井剛弘、坪井瑠美子、高橋裕子、三浦孝也、小糸雄大、賀嶋ひとみ、松本圭太、眞嶋浩聡、森野美奈、宮谷博幸</p> | <p>日本消化器内視鏡学会雑誌 2018 : 60 (1) : 849</p> |
| <p>◆The role of Goq/Gall signaling in intestinal epithelial cells Mashima H, Watanabe N, Sekine M, Matsumoto S, Asano T, Yuhashi K, Sagihara N, <u>Urayoshi S</u>, Uehara T, Fujiwara J, Ishii T, Tsuboi R, Miyatani H, Ohnishi H</p> | <p>Biochem Biophys Rep 2018 : 13 : 93-98</p> |
| <p>◆Gangliocytic Paraganglioma with Carcinoma of the Ampulla of Vater Masanari Sekine, Hiroyuki Miyatani, Keita Matsumoto, Hitomi Kashima, Yudai Koito, Takaya Miura, Yuko Takahashi, Rumiko Tsuboi, Takehiro Ishii, Junichi Fujiwara, Takeshi Uehara, <u>Shunsuke Urayoshi</u>, Kazuhito Yuhashi, Takeharu Asano, Noriyoshi Sahihara, Satohiro Matsumoto, Hirosato Mashima</p> | <p>Intern Med 2018 : 57 : 2663-2668</p> |
| <p>◆渡航歴なく日本で稀なsubgenotype4aE型肝炎ウイルスに感染したE型急性肝炎の1例 中川直樹、中野達徳、坂口亮平、福井淑崇、樋口国博、中島滋人、高司智史、三好美穂、長嶋茂雄、高橋雅春、渡邊省三、竹井謙之、岡本宏明</p> | <p>肝臓 2020 : 61 (5) : 270-272</p> |

糖尿病内分泌内科

| 題名・著者 | 雑誌名：発行年：巻(号)：頁 |
|---|---------------------------|
| ◆不顕性誤嚥によるびまん性嚥下性細気管支炎を合併した重症サルコペニア合併2型糖尿病の1例 堀田康広、西濱康太、古田範子、 <u>油田尚総</u> 、 <u>北川良子</u> 、 <u>市川毅彦</u> 、 <u>矢野 裕</u> | 糖尿病 2021：64(8)：470-478 |

外科

| 題名・著者 | 雑誌名：発行年：巻(号)：頁 |
|--|-------------------------------------|
| ◆Procedure for duodenal stricture with malrotation masquerading as superior mesenteric artery syndrome in an adult patient <u>Naoki Takahashi</u> , <u>Kazuyuki Gyoten</u> , <u>Kiyoshi Narita</u> , <u>Rie Sato</u> , <u>Hideo Suzuki</u> , <u>Hideki Machishi</u> , <u>Yoshikatsu Okada</u> | 2019：： |
| ◆間欠洗浄型陰圧閉鎖療法で早期治療介入できたFournier壊疽合併直腸癌の1例 <u>成田 潔</u> 、 <u>町支秀樹</u> 、 <u>野口智史</u> 、 <u>佐藤梨枝</u> 、 <u>鈴木秀郎</u> 、 <u>岩永孝雄</u> | 日本臨床外科学会雑誌 2020：81(9)：1844-1851 |
| ◆出血性ショックを呈した腸間膜原発平滑筋肉腫破裂の1例 <u>成田 潔</u> 、 <u>登内 仁</u> 、 <u>佐藤梨枝</u> 、 <u>小西尚巳</u> 、 <u>岩永孝雄</u> 、 <u>町支秀樹</u> | 日本臨床外科学会雑誌 2020：81(10)：2051-2056 |
| ◆血管走行に着目することで術前診断し得た特発性大網捻転症の1例 <u>成田 潔</u> 、 <u>登内 仁</u> 、 <u>町支秀樹</u> | 日本腹部救急医学会雑誌 2020：40(6)：763-765 |
| ◆StageIV肺癌併存局所進行胃消化管間質腫瘍(GIST)に対して術前化学療法を施行した1例 <u>佐藤梨枝</u> 、 <u>鈴木秀郎</u> 、 <u>成田 潔</u> 、 <u>小西尚巳</u> 、 <u>町支秀樹</u> 、 <u>登内 仁</u> | 外科 2020：82(13)：1367-1371 |
| ◆腹腔内腫瘍を形成した特発性S状結腸壁内血腫の1例 <u>成田 潔</u> 、 <u>登内 仁</u> 、 <u>町支秀樹</u> | 日本腹部救急医学会雑誌 2021：41(1)：41-44 |
| ◆CTで卵巣静脈の偏位を認めた子宮広間膜裂孔ヘルニアの2例 <u>成田 潔</u> 、 <u>町支秀樹</u> 、 <u>登内 仁</u> 、 <u>川口達也</u> | 日本腹部救急医学会雑誌 2021：41(3)：133-136 |
| ◆上腕留置式中心静脈ポートの導入とその有用性 <u>成田 潔</u> 、 <u>登内 仁</u> 、 <u>町支秀樹</u> | 日本外科系連合学会誌 2021：46(1)：8-15 |

心臓血管外科

| 題名・著者 | 雑誌名：発行年：巻(号)：頁 |
|--|---|
| ◆大動脈一尖弁に対して上行大動脈置換および大動脈弁置換術を施行した1例 <u>矢田真希</u> 、 <u>湯浅右人</u> 、 <u>駒田拓也</u> | 胸部外科 = The Japanese journal of thoracic surgery 2022：75(2)：122-126 |

整形外科・リウマチ科

| 題名・著者 | 雑誌名：発行年：巻(号)：頁 |
|---|------------------------------|
| ◆ビスホスホネート製剤長期服用後に発生した両側非定型大腿骨骨幹部骨折の1例 真弓徳大、岩崎竜也、松井佑梨世、松田理、中瀬古健 | 中部整災誌 2018：61：493-494 |
| ◆全身性けいれんによる腰椎破裂骨折をきたした1例 萩原通友、真弓徳大、松井佑梨世、明田浩二、松田理、中瀬古健 | 中部整災誌 2018：61：825-826 |
| ◆足部コンパートメント症候群を発症した高エネルギー外傷の1例 真弓徳大、矢田祐基、中瀬古健 | 整形外科 2018：69：735-737 |
| ◆カテーテル感染を契機に多発膿瘍・化膿性股関節炎を生じた1例 真弓徳大、松井佑梨世、松田理、中瀬古健 | 中部整災誌 2018：61：1095-1096 |
| ◆測定部位の違いによる骨密度の差異について 加藤次朗、中瀬古健、松井佑梨世、松田理 | 中部整災誌 2019：62：537-538 |
| ◆測定部位の違いによる骨密度の差異について -第2報- 加藤次朗、中瀬古健、松井佑梨世、松田理 | 中部整災誌 2019：62：859-860 |
| ◆骨折を伴わない距骨下脱臼の1例 調子智一、岡村直樹、松田理、中瀬古健 | 中部整災誌 2020：63：203-204 |
| ◆大腿骨頸部にまで及ぶ広範な骨壊死像を示した特発性大腿骨頭壊死症の1例 岡村直樹、中瀬古健、松田理、松井佑梨世、須藤啓広、長谷川正裕 | 日本人工関節学会誌 2020：50：563-564 |
| ◆腫瘍との鑑別を要した非典型的な両側特発性大腿骨頭壊死症の1例 岡村直樹、中瀬古健、松田理、松井佑梨世、須藤啓広、長谷川正裕 | 中部整災誌 2020：63：203-204 |
| ◆上肢発生帯状疱疹による運動麻痺ならびに知覚異常で頸椎症性神経根症と鑑別を要したヒト免疫不全ウイルス感染患者の1例 長谷川貴栄、浅野貴裕、松井佑梨世、岡村直樹、松田理、中瀬古健 | 整形外科 2021：72：1053-1056 |
| ◆大腿骨頸部骨折に対するHansson Pinlocによる治療経験 松井佑梨世、中瀬古健、松田理、岡村直樹、長谷川貴栄、須藤啓広 | Hip Joint 2021：47：439-441 |

脳神経外科

| 題名・著者 | 雑誌名：発行年：巻(号)：頁 |
|--|----------------------------------|
| ◆A case of arteriovenous fistula of the cauda equina fed by the proximal radicular artery: anatomical feature and treatment precautions. Tanioka S, Toma N, Sakaida H, et al : Eur Spine J. | Eur Spine 2018：27 (3)：281-286 |
| ◆Significance of novel subcortical low intensity score on transient neurological events after revascularization surgery for Moyamoya disease. Shiba M, Toma N, Tanioka S, Yasuda R, Sakaida H, Suzuki H, Clin Neurol Neurosurg. | 2018：167：70-75 |

| 題名・著者 | 雑誌名:発行年:巻(号):頁 |
|---|---|
| <p>◆Current status of ruptured cerebral aneurysm treatment in regional hospitals and results of coil embolization. Nakatsuka Y, Terashima M, Nishikawa H, Kawakita F, Fujioto M, Shiba M, Yasuda R, Toma N, <u>Sakaida H</u>, <u>Suzuki H</u></p> | <p>J-STAGE 2018 : 12(3) : 109-116</p> |
| <p>◆The Stroke-Induced Blood-Brain Barrier Disruption: Current Progress of Inspection Technique, Mechanism, and Therapeutic Target <u>Takeshi Okada</u>, <u>Hidenori Suzuki</u>, Zachary D. Travis and John H. Zhang</p> | <p>Current Neuropharmacology 2020 : 18 (12) : 1187-1212</p> |
| <p>◆Mechanisms of neuroinflammation and inflammatory mediators involved in brain injury following subarachnoid hemorrhage <u>Takeshi Okada</u>, <u>Hidenori Suzuki</u></p> | <p>HISTOLOGY AND HISTOPATHOLOGY 2020 : 35 (7) : 623-636</p> |
| <p>◆Inhibition of EZH2 (Enhancer of Zeste Homolog 2) Attenuates Neuroinflammation via H3k27me3/SOCS3/TRAF6/NF-κB (Trimethylation of Histone 3 Lysine 27/Suppressor of Cytokine Signaling 3/Tumor Necrosis Factor Receptor Family 6/Nuclear Factor-κB) in a Rat Model of Subarachnoid Hemorrhage Yujie Luo, Yuanjian Fang, Ruiqing Kang, Cameron Lenahan, Marcin Gamdzyk, Zeyu Zhang, <u>Takeshi Okada</u>, Jiping Tang, Sheng Chen, John H. Zhang</p> | <p>Stroke 2020 : 51 (11) : 3320-3331</p> |
| <p>◆Pituitary Adenylate Cyclase-Activating Polypeptide Attenuates Brain Edema by Protecting Blood-Brain Barrier and Glymphatic System After Subarachnoid Hemorrhage in Rats Yuanjian Fang, Hui Shi, Reng Ren, Lei Huang, <u>Takeshi Okada</u>, Cameron Lenahan, Marcin Gamdzyk, Zachary D. Travis, Qin Lu, Lihui Tang, Yi Huang, Keren Zhou, Jiping Tang, Jianmin Zhang, corresponding author, and John H. Zhangcorresponding author</p> | <p>Neurotherapeutics 2020 : 17 (4) : 1954-1972</p> |
| <p>◆脳血管攣縮期に破裂脳動脈瘤に対してコイル塞栓術と塩酸フラスジール動注療法を同時に行い 盗血現象により術後脳梗塞を来した1例 濱田和秀、後藤芙希、山本篤志、黒木香行、阪井田博司</p> | <p>脳血管攣縮 スパズムシンポジウム機関誌 2020 : 36 : 108-112</p> |
| <p>◆外傷性くも膜下出血後に広範な脳梗塞を来した脳血管攣縮の2例 山本篤志、後藤芙希、濱田和秀、黒木香行、阪井田博司</p> | <p>脳血管攣縮 2020 : 36 : 102-107</p> |
| <p>◆Successful balloon-assisted coil embolization of right subclavian artery aneurysm: a case report Mai Nampei, Masato Shiba, <u>Hiroshi Sakaida</u>, Yoshinari Nakatsuka, Ryuta Yasuda, Naoki Toma, <u>Hidenori Suzuki</u></p> | <p>Journal of Neuroendovascular Therapy 2020 : 14 (7) : 255-262</p> |
| <p>◆Machine learning classification of cerebral aneurysm rupture status with morphological variables and hemodynamic parameters Satoru Tanioka, Fujimaro Ishida, Atsushi Yamamoto, Shigetoshi Shimizu, <u>Hiroshi Sakaida</u>, Mitsuru Toyoda, Nobuhisa Kashiwagi, <u>Hidenori Suzuki</u></p> | <p>Radiology: Artificial Intelligence 2020 : 2 (1) e190077</p> |

| 題名・著者 | 雑誌名：発行年：巻(号)：頁 |
|--|---|
| <p>◆機械的血栓回収術後のくも膜下出血に伴う症候性脳血管攣縮の2例 後藤 芙希、濱田 和秀、山本 篤志、黒木 香行、阪井田博司、鈴木 秀謙</p> | <p>脳血管攣縮 2020 : 36 : 97-101</p> |
| <p>◆ A case of suspected metallic embolism after carotid artery stenting Tomoyuki Kishimoto, Ryuta Yasuda, Maki Umino, <u>Fuki Goto</u>, Naoki Toma, Masayuki Maeda, Hidenori Suzuki</p> | <p>NMC Case Rep J 2020 : 7(4) : 229-231</p> |
| <p>◆The Role of Tenascin-C in tissue injury and repair After stroke <u>Takeshi Okada</u>, <u>Hidenri Suzuki</u></p> | <p>Frontiers in Immunology 2021 : 11 : 607587</p> |
| <p>◆Activation of Galanin Receptor 1 with M617 Attenuates Neuronal Apoptosis via ERK/GSK-3β/TIP60 Pathway After Subarachnoid Hemorrhage in Rats Hui Shi, Yuanjian Fang, Lei Huang, Ling Gao, Cameron Lenahan, <u>Takeshi Okada</u>, Zachary D Travis, Shucui Xie, Hong Tang, Qin Lu, Rui Liu, Jiping Tang, Yuan Cheng, John H Zhang</p> | <p>Neurotherapeutics 2021 : 18 : 1905-1921</p> |
| <p>◆SPARC Aggravates Blood-Brain Barrier Disruption Via Integrin αVβ3/MAPKs/MMP-9 Signaling Pathway after Subarachnoid Hemorrhage <u>Takeshi Okada</u>, <u>Hidenori Suzuki</u>, Zachary D.Travis, Orhan Altay, Jiping Tang, Jhon H.Zhang</p> | <p>Oxidative Medicine and Cellular Longevity 2021 : : 9739977</p> |
| <p>◆Initial result of stroke care at the stroke center in a new hospital opened by the merger of three facilities with different management bases: Effect of stroke center on mechanical thrombectomy. <u>Hiroshi Sakaida</u>, <u>Fuki Goto</u>, <u>Atsushi Yamamoto</u>, <u>Kazuhide Hamada</u>, <u>Katsura Kuroki</u>, Tomoyuki Furuta, <u>Kiyomi Odachi</u>, <u>Ryogen Sasaki</u>, Kazuhiro Furukawa, Yuki Nakajima, and Shigeo Arikawa</p> | <p>J Neurovascular Therapy. 2021 : 15 : 712-718.</p> |
| <p>◆Activation of Galanin Receptor 1 with M617 Attenuates Neuronal Apoptosis via ERK/GSK-3β/TIP60 Pathway After Subarachnoid Hemorrhage in Rats. Hui Shi, Yuanjian Fang, Lei Huang, Ling Gao, Cameron Lenahan, <u>Takeshi Okada</u>, Zachary D. Travis, Shucui Xie, Hong Tang, Qin Lu, Rui Liu, Jiping Tang, Yuan Cheng, and John H. Zhang</p> | <p>Neurotherapeutics, 2021 : 18 : 1905-1921</p> |
| <p>◆T0901317, an Agonist of Liver X Receptors, Attenuates Neuronal Apoptosis in Early Brain Injury after Subarachnoid Hemorrhage in Rats via Liver X Receptors/Interferon Regulatory Factor/P53 Upregulated Modulator of Apoptosis/Dynamin-1-Like Protein Pathway Jiaxing Dai, Shancai Xu, <u>Takeshi Okada</u>, Yu Liu, Gang Zuo, Jiping Tang, John H Zhang, and Huaizhang Shi.</p> | <p>Oxid Med Cell Longev 2021 : : 8849131</p> |

脳神経内科

| 題名・著者 | 雑誌名:発行年:巻(号):頁 |
|---|--|
| <p>◆Comparison of Premortem Magnetic Resonance Imaging and Postmortem Autopsy Findings of a Cortical Microinfarct Ishikawa H, Ii Y, Niwa A, Shindo A, Ito A, Matsuura K, <u>Sasaki R</u>, Uno K, Maeda M, Tomimoto H</p> | <p>J Stroke Cerebrovasc Dis 2018 : 27 (10) : 2623-2626</p> |
| <p>◆Proteomic Profiling of Exosomal Proteins for Blood-based Biomarkers in Parkinson's Disease Kitamura Y, Kojima M, Kurosawa T, <u>Sasaki R</u>, Ichihara S, Hiraku Y, Tomimoto H, Murata M, Oikawa S</p> | <p>Neuroscience 2018 : 392 (11) : 121-128</p> |
| <p>◆Chronic cerebral hypoperfusion upregulates leptin receptor expression in astrocytes and tau phosphorylation in tau transgenic mice Shimada T, Shindo A, Matsuyama H, Yata K, Niwa A, <u>Sasaki R</u>, Ayaki T, Maki T, Wakita H, Tomimoto H</p> | <p>Neurosci Lett 2019 : 704 (6) : 133-140</p> |
| <p>◆Functional analysis of a double-point mutation in the KCNJ2 gene identified in a family with Andersen-Tawil syndrome Fukumura S, Yamauchi K, Kawanabe A, Yamamoto A, Nakaza M, Kubota T, Kato S, <u>Sasaki R</u>, Okamura Y, Takahashi MP</p> | <p>J Neurol Sci 2019 : 407 (12) : 116521</p> |
| <p>◆Paramyotonia Congenita with Persistent Distal and Facial Muscle Weakness : A Case Report with Literature Review Taminato T, Mori-Yoshimura M, Miki J, <u>Sasaki R</u>, Sato N, Oya Y, Nishino I, Takahashi Y</p> | <p>J Neuromuscul Dis 2020 : 7 (2) : 193-201</p> |
| <p>◆Analysis of the genetic background associated with sporadic periodic paralysis in Japanese patients Nakaza M, Kitamura Y, Furuta M, Kubota T, <u>Sasaki R</u>, Takahashi MP</p> | <p>J Neurol Sci 2020 : 412 (5) : 116795</p> |
| <p>◆EF hand-like motif mutations of Nav1.4 C-terminus cause myotonic syndrome by impairing fast inactivation Horie R, Kubota T, Koh J, Tanaka R, Nakamura Y, <u>Sasaki R</u>, Ito H, Takahashi MP</p> | <p>Muscle Nerve 2020 : 61 (6) : 808-814</p> |
| <p>◆Mutation spectrum and health status in skeletal muscle channelopathies in Japan <u>Sasaki R</u>, Nakaza M, Furuta M, Fujino H, Kubota T, Takahashi MP.</p> | <p>Neuromuscul Disord 2020 : 30 (7) : 546-553</p> |
| <p>◆Expression of Mutant Ubiquitin and Proteostasis Impairment in Kii Amyotrophic Lateral Sclerosis/Parkinsonism-Dementia Complex Brains Verheijen BM, Morimoto S, <u>Sasaki R</u>, Oyanagi K, Kokubo Y, Kuzuhara S, van Leeuwen FW</p> | <p>J Neuropathol Exp Neurol 2020 : 79 (8) : 902-907</p> |
| <p>◆JAK2V617F遺伝子変異を伴う骨髄増殖性腫瘍の診断前に脳静脈血栓を4回繰り返した1例 古田智之、堀江将太郎、西垣明哲、橘 径、鈴木賢治</p> | <p>脳卒中 2021 : 43 (5) : 462-466</p> |

| 題名・著者 | 雑誌名：発行年：巻(号)：頁 |
|--|---|
| ◆Teaching Video NeuroImage : Carbamazepine Improves Gait Initiation in Autosomal Recessive Myotonia Congenita Fuseya Y, Ishikawa N, <u>Sasaki R</u> , Yamashita H | Neurology 2022 : 98 (3) : e328 |
| ◆An immigrant family with Kii amyotrophic lateral sclerosis/ parkinsonism-dementia complex Kokubo Y, Morimoto S, <u>Sasaki R</u> , Hasegawa M, Ishiura H, Tsuji S, Yoshida M, Yamazoe N, Miyazaki M, Kuzuhara S | Neurol Sci 2022 : 43 (2) : 1423-1425 |

泌尿器科

| 題名・著者 | 雑誌名：発行年：巻(号)：頁 |
|---|--|
| ◆寒冷刺激による下部尿路症状に対する漢方薬の効果 木瀬英明 | 日本東洋医学雑誌 2020 : 71 (3) : 204-212 |
| ◆当院排尿ケアチーム介入における効果と今後の課題 柴田若奈、安井沙代子、木瀬英明 | 東海ストーマ会誌 2020 : 40 (1) |
| ◆de novo前立腺神経内分泌腫瘍の1例 木瀬英明、白石泰三 | 泌尿器科紀要 2021 : 67 : 113-118 |
| ◆Best Supportive Care移行後に完全緩解した去勢抵抗性前立腺癌の1例 木瀬英明 | 日本泌尿器科学会雑誌 2021 : 112 (2) : 113-116 |

看護部

| 題名・著者 | 雑誌名：発行年：巻(号)：頁 |
|---|-----------------------------|
| ◆排尿ケアチーム介入による看護師の意識変化 柴田若奈、安井沙代子、木瀬英明 | 東海ストーマ会誌 2020 : 40 (1) : |
| ◆排尿ケアチーム介入における効果と今後の課題 柴田若奈、安井沙代子、木瀬英明 | 東海ストーマ会誌 2020 : 40 (1) : |

薬剤部

| 題名・著者 | 雑誌名：発行年：巻(号)：頁 |
|---|--|
| ◆前立腺がん男性におけるゴセレリン投与後のHBA1c値に影響を及ぼす要因 有松 冨、小出哲朗、桐生浩子、原美由紀、伊藤朱里、 伊藤久美子、堀田康広、木瀬英明 | 日本病院薬剤師会雑誌 2019 : 55 (4) : 435-440 |
| ◆アミオダロン塩酸塩注の添加剤ベンジルアルコールが原因で生じたアナフィラキシーショックの1症例 西川嘉広、水谷英夫、小出哲朗、石川久高、今井裕一、 大村 崇、山田典一、大久保節也、市川毅彦、伊藤正明 | 日本臨床救急医学会雑誌 2019 : 22巻5号 : P732-735 |
| ◆在宅医療において多職種連携および薬学的介入によって改善された治療抵抗性高血圧の1例 西川嘉広、小出哲朗、今西義紀、伊藤久美子、亀地崇弘、 森 義久、大平航也、熊野浩一 | 日本在宅薬学会 2021 : 8巻1号 : P30-35 |

放射線室

| 題名・著者 | 雑誌名：発行年：巻(号)：頁 |
|---|--|
| ◆放射線被ばく相談に用いる用語の見聞率調査～福島原発事故前後の変化～ 大井 慎也 | 日本診療放射線技師会誌 2018：第65巻第10号：74～89 |
| ◆Web会議システムを利用したカウンセリング体験学習（傾聴訓練）の検討 五十嵐 博（群馬県立県民健康科学大学）、大井 慎也 | 日本放射線カウンセリング学会機関紙 2020：vol.17：15～22 |
| ◆Web会議システムを利用したカウンセリング体験学習（傾聴訓練）の実践と評価 五十嵐 博（群馬県立県民健康科学大学）、大井 慎也 | 日本放射線カウンセリング学会機関紙 2021：vol.18：19～33 |

リハビリテーション室

| 題名・著者 | 雑誌名：発行年：巻(号)：頁 |
|--|--|
| ◆超音波診断装置における機種の違いによって生じる距離計測の誤差について 丹羽 結生 | 日本整形外科超音波学会誌 2019：Vol31： |
| ◆外傷性肩鎖関節脱臼（Rockwood分類typeIV）術後症例の治療経緯-軟部組織の修復過程を考慮した理学療法 和田 満成、松本 正和、赤尾 和則 | 理学療法ジャーナル 2020：54：236-241 |
| ◆Presence of adipose tissue along the posteromedial tibial border Okunuki Takumi, Tanaka Hirofumi, Akuzawa Hiroshi, Yabiku Hiroki, Maemichi Toshihiro, Matsumoto Masatomo, Hoshiba Takuma, Kumai Tsukasa | Journal of Experimental Orthopaedics 2021：8：92 |
| ◆Comparison of foot posture and foot muscle morphology between lifesaver athletes and healthy adults Shota Ichikawa, Tsukasa Kumai, Takumi Okunuki, Toshihiro Maemichi, Masatomo Matsumoto, Hiroki Yabiku, Zijian Liu, Ryusei Yamaguchi, Arina Iwayama, Goro Ayukawa, Yui Akiyama, Hiroyuki Mitsui, Hisateru Niki | Research in Sports Medicine 2021：in press：in press |
| ◆Ultrasonic evaluation of the heel fat pad under weight-bearing conditions using a polymethylpentene resin plate：part 1 <u>Masatomo Matsumoto</u> , Toshihiro Maemichi, <u>Mitsunari Wada</u> , <u>Yuki Niwa</u> , <u>Shinobu Inagaki</u> , Takumi Okunuki, Shota Ichikawa, and Tsukasa Kumai | Ultrasound in Medicine & Biology 2022：48(2)：358-372 |

著 書

循環器内科

| 題 名・著 者 | 雑誌名：発行年：巻(号)：頁 |
|---|--|
| ◆Q50：VTEの診断について、どのような症例にどのような検査を施行したらよいか教えてください 山田 典一 | がん患者の心臓を守る！ 腫瘍循環器学Q&A 2018： 118-119 |
| ◆2.静脈血栓症 A.深部静脈血栓症 ④治療 iii) 血管内治療 山田 典一 | 新臨床静脈学 2019： 375 |
| ◆2.静脈血栓症 B.急性肺血栓塞栓症 ④治療 iii) 血管内治療 山田 典一 | 新臨床静脈学 2019： 375 |
| ◆CQ14. PE発症慢性期にかけての抗凝固療法はどのようにすべきでしょうか？そしていつまで続けますか？ 山田 典一 | 血栓を制する者は心臓を制す！血栓循環器学Q&A 抗凝固療法・抗血小板療法のクリニカルクエスチョンに答える（編集：伊藤 浩） 2019： 42-44 |
| ◆深部静脈血栓症 山田 典一 | 臨床雑誌 内科 内科医として足を診る 靴下をとって足病変を見逃すな！ 2019： 2263-2268 |
| ◆深部静脈血栓症・肺血栓塞栓症 山田 典一 | 血管診療技師CVTテキスト 脈管診療に関わる全てのスタッフのために（編集：血管診療技師認定機構） 2019： 244-249 |
| ◆血栓溶解薬（モンテプラゼ・ウロキナーゼ）の適応と使い方は？ 山田 典一 | 循環器ジャーナル 抗血栓療法-日常臨床での疑問に答える（企画：清水 渉） 2020： Vol. 68, No.4： 658-664 |
| ◆循環器疾患と凝固線溶マーカー 山田 典一 | 最新医療情報誌アニムス 2020： Summer 2020 No.104： 26-30 |
| ◆静脈血栓塞栓症（VTE） 山田 典一 | 実践に生きる臨床心エコー図法（編集者：伊藤 浩、渡辺弘之） 2020： 465-471 |
| ◆静脈血栓塞栓症（肺血栓塞栓症、深部静脈血栓症） 山田 典一 | 今日の治療指針 2021： Vol. 63： 451-453 |
| ◆深部静脈血栓症、急性肺血栓塞栓症 山田 典一 | 専門医のための血液病学 2022： 290-293 |

整形外科・リウマチ科

| 題名・著者 | 雑誌名：発行年：巻(号)：頁 |
|---------------------------|----------------------------------|
| ◆大腿骨頸部骨折・大腿骨転子部骨折 松田 理 | 骨折 脱臼 捻挫 須藤啓広編 2020： ：179-191 |

救急科

| 題名・著者 | 雑誌名：発行年：巻(号)：頁 |
|---|---|
| ◆ American Heart Association (AHA：アメリカ心臓協会)、 牛越博昭、遠藤純男、加藤正哉、金子一郎、菊池 研、 行田 悠、黒田達実、軍神正隆、齋藤博則、齊藤寛文、 境田康二、坂本哲也、佐々木俊哉、篠塚典弘、清水一起、 清水智明、鈴木秀一、鈴木淳一、瀬尾宏美、関 一平、 高橋 弘、中山英人、花田裕之、平井信孝、船崎俊一、 榎井良裕、松岡良太、真弓俊彦 | ACLS EP マニュアル&リソーステ キスト AHAガイドライン2015準拠 (ISBN978-4-916166-87-6) 2021： ：1-449 |

病理診断科

| 題名・著者 | 雑誌名：発行年：巻(号)：頁 |
|------------------------------------|------------------------------------|
| ◆前立腺 仙波玲美、内田克典 | 病理と臨床 臨時増刊号 2021.4.9：39：239-248 |
| ◆腺腫様(アデノマトイド)腫瘍および中皮腫 仙波玲美、内田克典 | 精巣腫瘍病理アトランス 2021.6.22： ：152-155 |

リハビリテーション室

| 題名・著者 | 雑誌名：発行年：巻(号)：頁 |
|-----------------------------|-------------------|
| ◆エコー所見から見たFasciaの病態 松本正知 | 臨床スポーツ医学 ： ：37 |

がん相談支援センター

| 題名・著者 | 雑誌名：発行年：巻(号)：頁 |
|---|----------------------------|
| ◆がん治療が招く感染リスクに挑む：患者さんの思いを聴き、得られた 情報を発信する 岩田友子 | がん看護 2021：26(3)：248-249 |

研究会・講演会

循環器内科

| 演題・演者 | 研究会名・発表日・開催地 |
|--|--|
| ◆静脈血栓塞栓症ガイドラインの主な改訂ポイント 山田典一 | Mie VTE Forum 2018年4月11日 津市 |
| ◆静脈血栓塞栓症ガイドラインの主な改訂ポイント 山田典一 | 東京脈管研究会 第4回VTEを考える会 2018年5月17日 東京都 |
| ◆静脈血栓塞栓症ガイドラインの主な改訂ポイント 山田典一 | 第23回東海肺塞栓症研究会 2018年6月1日 名古屋市 |
| ◆改訂VTEガイドライン ～疑問点についての解説～ 山田典一 | VTE Leadership Forum 2018年6月24日 東京都 |
| ◆VTEの診断、治療、予防に関するガイドラインを読み解く 山田典一 | エリキュースインターネット講演会 2018年10月3日 名古屋市 |
| ◆災害時の静脈血栓塞栓症 –来るべき震災に備えて– 山田典一 | 第402回緑医学研究会 2019年4月23日 名古屋市 |
| ◆静脈血栓塞栓症：治療の最前線 –DOACの最新データに基づいた活用– 山田典一 | Thrombosis Forum in Mie 2019年8月1日 津市 |
| ◆VTEに対するDOAC治療 山田典一 | Venous Educational Course 2019年10月13日 東京都 |
| ◆ワークショップ 抗凝固療法の継続期間 山田典一 | INNOVATE Japan Meeting 2019 2019年11月9日 東京都 |
| ◆静脈血栓塞栓症に対する最新の治療 山田典一 | 第7回日本抗リン脂質抗体標準化ワークショップ学術集会 2019年12月7日 東京都 |
| ◆肺高血圧症治療について～早期発見の重要性～ 山田典一 | 息切れを考える会～身近に潜む肺高血圧症～ 2019年12月12日 四日市市 |
| ◆静脈血栓塞栓症の治療の現状 ～リアルワールドデータからさらなる適正化を目指す～ 山田典一 | イグザレイトWebカンファレンス 2020年5月21日 Web |
| ◆超高齢社会におけるVTE治療 山田典一 | Masters Summit for Thrombosis Management 2020年7月12日 Web |
| ◆肺血栓塞栓症 COVID-19と血栓症 山田典一 | Venous Educational Course 2020年10月18日 Web |
| ◆日常に潜む肺高血圧症 肺高血圧症 スクリーニングのポイントと紹介のタイミング 山田典一 | PAH web セミナー 2020年11月25日 Web |

| 演題・演者 | 研究会名・発表日・開催地 |
|-------------------------------------|--|
| ◆静脈血栓塞栓症 ～治療をめぐるトピックス～ 山田 典一 | 群馬web講演会 2020年12月5日 Web |
| ◆COVID-19と血栓症 山田 典一 | Web conference Bayer Medical Dialogue 2020年12月18日 Web |
| ◆急性肺血栓塞栓症：最近の治療をめぐるトピックス 山田 典一 | 東京web conference 2021年1月29日 Web |
| ◆静脈血栓塞栓症：最近の治療をめぐるトピックス 山田 典一 | 三重県肺血栓症治療セミナー～急性期から慢性期までを制する～ 2021年2月9日 Web |
| ◆静脈血栓塞栓症 ～治療をめぐるトピックス～ 山田 典一 | Re：WRT in 北海道 2021年2月17日 Web |
| ◆静脈血栓塞栓症 イグザレルトがもたらした治療の進歩 山田 典一 | イグザレルトWebカンファレンス 2022年2月18日 Web |

消化器内科

| 演題・演者 | 研究会名・発表日・開催地 |
|--|--|
| ◆腸内細菌と消化器疾患～肝疾患との関連～ 中川直樹 | 三重北勢地区消化器セミナー 2020年1月31日 四日市市 |
| ◆肝疾患治療の進歩 中川直樹 | 肝疾患治療up to date in 三重 2020年3月2日 Web |
| ◆大腸コールドポリペクトミーとエソメプラゾールのメリットについて With コロナ時代の消化器診療 中川直樹 | Nexium Web Seminar in kuwana 2021年3月2日 Web |
| ◆門脈圧亢進症の病態と治療 中川直樹 | 消化器ユニット講義 2021年4月15日 津市 |
| ◆Immuno-oncology時代の多職種連携肝細胞癌治療 中川直樹 | 第1回北勢肝細胞癌治療フォーラム 2021年6月4日 Web |
| ◆肝疾患薬物療法の進歩 中川直樹 | 三重県病院薬剤師会 第283回桑員地区勉強会 2021年7月13日 Web |
| ◆肝硬変について 中川直樹 | 三重県肝炎医療コーディネーター養成研修会 2021年8月1日、12月5日 Web |
| ◆「内視鏡ガイドラインの最近の話題」 ～早期悪性腫瘍の内視鏡治療とエソメプラゾールのメリットについて～ 浦吉俊輔 | Nexium Web Seminar in kuwana 2021年8月24日 桑名市 |

小児科

| 演 題・演 者 | 研究会名・発表日・開催地 |
|--|--|
| ◆桑名市総合医療センター開院の報告とNICUの展望 馬路智昭、光嶋紳吾、清馨子、曾我かおり、森谷朋子、 前川剛輝、千田時弘、小林巧、小塚良哲、本橋卓 | 第26回三重県胎児・新生児研究会 2018年7月29日 津市 |
| ◆気管カニューレ交換に必要な知識 馬路智昭 | 第3回三重県小児在宅実技講習会・ 講演会 2018年8月5日 津市 |
| ◆新生児蘇生とその後の安定化 -ABCDEの評価と安定化・搬送に繋ぐ- 馬路智昭 | 第9回三重新生児クリティカルケア フォーラム 2019年1月19日 津市 |
| ◆医療安全推進担当者のためのノンテクニカルスキル 馬路智昭 | 伊勢赤十字病院医療安全推進担当 者研修 2019年2月16日 伊勢市 |
| ◆新生児仮死と新生児蘇生 馬路智昭 | 第3回伊勢の国セミナー 2019年2月24日 津市 |
| ◆救急外来で小児患者に困らないために 馬路智昭 | 春季・小児科セミナー 2019年4月13日 津市 |
| ◆二次病院の現状と課題「二次医療機関のアイデンティティと人材育成」 馬路智昭 | 第41回三重大学小児科学教室学 会・白圭会総会 2019年6月2日 津市 |
| ◆小児科救急患者の早期認識と初期対応について 馬路智昭 | 第177回三重県小児科医例会 特別 講演 2019年9月29日 津市 |
| ◆新生児蘇生の初期対応とその後のフィジカルアセスメント 馬路智昭 | 2019年度日本助産師会 東海北陸地区研修会 2019年9月30日 桑名市 |
| ◆親子を支えるお医者さんの話 ～小児科医の心配事～ 馬路智昭 | 第5回児童虐待防止フォーラム 2019年11月10日 桑名市 |
| ◆診断に難渋した新生児けいれんの1例 須藤直樹、山田菜美、光嶋紳吾、間宮範人、清馨子、 馬路智昭、森谷朋子 | 北勢地区小児科臨床懇話会 2019年12月17日 四日市市 |
| ◆2019-2020シーズンにおけるシナジス投与開始時期までの道のり 馬路智昭 | 第10回三重新生児クリティカルケア フォーラム 2020年1月25日 津市 |
| ◆事例検討「18トリソミー児の在宅療養に向けて」 牧野宏俊 | もも小児在宅検討会 2021年6月9日 Web |
| ◆「小児のネーザルハイフロー」 間宮範人 | 第2回eケアネットそういん 2021年8月29日 Web |
| ◆こどもの命を守る「体系的アプローチ」 ～緊急事態の早期認識を学び、自分にできる初期対応を考える～ 馬路智昭 | 令和3年度三重県保育士協会 ブロック研修会（保健部研修会） 2021年10月26日 津市 |

| 演 題・演 者 | 研究会名・発表日・開催地 |
|--|---|
| ◆「川崎病の回復期に発熱で救急外来を受診した一例」 若林えり子、大槻 静、須藤直樹、山田菜美、間宮範人、 馬路智昭、森谷朋子 | 北勢地区小児科臨床懇話会 2022年1月12日 Web |
| ◆「医療安全について」 大槻 静 | 医療的ケア児レスパイト支援事業 コミュニケーション支援員 研修会 2022年1月31日 桑名市 |
| ◆「医療的ケア 各論」 馬路智昭 | 医療的ケア児レスパイト支援事業 コミュニケーション支援員 研修会 2022年1月31日 桑名市 |

整形外科・リウマチ科

| 演 題・演 者 | 研究会名・発表日・開催地 |
|---------------------------------------|---|
| ◆骨粗鬆症の患者さんから学んだこと 中瀬古健 | 一般社団法人桑名地区薬剤師会研 修会 2019年1月24日 桑名市 |
| ◆テリボンの使用経験について 加藤次朗 | 桑名地区骨粗鬆症治療連携セミナー 2019年3月28日 桑名市 |
| ◆整形外科における病診連携について 松田 理 | 桑名地区骨粗鬆症治療連携セミナー 2019年3月28日 桑名市 |
| ◆骨粗鬆症治療における地域医療連携について 中瀬古健 | 桑名地区骨粗鬆症治療連携セミナー 2019年3月28日 桑名市 |
| ◆当院における労災患者さんについて 中瀬古健 | 労災医療研修会 2019年8月24日 津市 |
| ◆骨粗鬆症治療における多職種連携について 中瀬古健 | 骨折連鎖を断つ医療連携 2021年2月18日 桑名市 |
| ◆人工関節手術患者の治療計画 ～実際の治療経過をふまえて～ 岡村直樹 | Pain Live Symposium 2021年3月18日 Web |

脳神経外科

| 演 題・演 者 | 研究会名・発表日・開催地 |
|--|---|
| ◆左IC dorsal動脈瘤破裂によるクモ膜下出血に対してIVRを行った一例 濱田和秀 | 第15回Solitaire de Night 2018年4月6日 津市 |
| ◆脳卒中の急性期とてんかんへの対応 後藤英希 | 第23回脳神経セミナー 2018年5月10日 津市 |
| ◆左IC dorsal動脈瘤破裂によるクモ膜下出血に対してIVRを行った一例 濱田和秀 | 第1回Embo Club 2018年8月31日 津市 |
| ◆急性期脳卒中治療 -新病院での取り組みと薬物療法- 阪井田博司 | 桑名医師会木曜サロン 2018年9月20日 桑名市 |
| ◆ 古川和博 | 第2回脊髄脊椎外科ビデオカン ファレンス 2018年10月27日 津市 |

| 演 題・演 者 | 研究会名・発表日・開催地 |
|---|--|
| ◆A Case of Ruptured Internal Carotid Artery Dissecting Aneurysm 濱田和秀 | 第4回MINT 2018年12月7日 名古屋市 |
| ◆開頭血腫除去術を施行した被殻部慢性被膜化脳内血腫の一例 後藤美希 | 第28回三重大学脳神経外科同門会 2018年12月8日 津市 |
| ◆桑名市総合医療センター脳卒中センターの初期報告 阪井田博司 | 第28回三重大学脳神経外科同門会 2018年12月8日 津市 |
| ◆桑名地区における脳卒中治療の現状 ～新病院開設に伴う変化～ 濱田和秀 | 中勢Stroke Seminar 2019年1月30日 津市 |
| ◆頭痛とのつきあい方 黒木香行 | 第10回研修医のための神経内科・ 脳神経外科合同セミナー 2019年2月15日 津市 |
| ◆典型的な所見に乏しい急性大動脈解離に伴う小脳梗塞の一例 後藤美希 | 第87回三重脳神経外科集談会 2019年3月15日 津市 |
| ◆脳神経血管内治療の手技とデバイス選択 阪井田博司 | 平成31年度国保診療報酬審査委員 会委員研修会 2019年3月28日 津市 |
| ◆脳底動脈閉塞解除直後に内頸動脈閉塞が確認された1例 濱田和秀 | 第2回愛知県血栓回収療法教育セミ ナー 2019年4月6日 名古屋市 |
| ◆ED Coil ∞の使用例 濱田和秀 | 三重大学名古屋大学ワークショップ 2019年4月12日 名古屋市 |
| ◆脳卒中の急性期治療とてんかんへの対応 濱田和秀 | 第23回MNCセミナー 2019年5月10日 津市 |
| ◆短期間で5回繰り返した左中大脳動脈近位部閉塞に対して4回再開通 療法を行った1例 濱田和秀 | 第3回愛知県血栓回収療法教育セ ミナー 2019年8月3日 名古屋市 |
| ◆Cranial Vault dAVFの1例 濱田和秀 | 第2回三重EmboClub 2019年9月13日 津市 |
| ◆付き合い頭痛と気になる頭痛 黒木香行 | 2019年度もりえい病院院内講演会 2019年9月27日 桑名市 |
| ◆桑名市総合医療センター脳卒中センターにおけるEXOSEALの使用 経験 阪井田博司 | カネカメディックス社内講演会 2019年11月29日 名古屋市 |
| ◆右側脳室髄膜腫の1例 山本篤志 | 第29回三重大学脳神経外科同門会 学術集会 2019年12月14日 津市 |
| 脳卒中センター開設による急性期医療への効果と院内体制の変化 阪井田博司 | 第29回三重大学脳神経外科同門会 学術集会 2019年12月14日 津市 |
| ◆桑名市総合医療センターにおける脳卒中医療とてんかん治療 阪井田博司 | エーザイMR研修会 2020年2月14日 津市 |

| 演 題・演 者 | 研究会名・発表日・開催地 |
|--|---|
| ◆神経・血管解剖から考える脳卒中 岡田 健 | MNCミナー 2020年9月25日 津市 |
| ◆EmboTrapⅡの使用経験 濱田和秀 | EmboTrapⅡ座談会 2020年10月23日 Web |
| ◆頭痛の診断と治療 予防薬の役割 黒木香行 | 第一三共社内勉強会 2021年3月17日 桑名市 |
| ◆脳卒中とてんかん ～当院におけるてんかん診療の実際～ 阪井田博司 | 脳卒中トータルケア地域連携Web セミナー 2021年3月25日 桑名市 |
| ◆AISに対する当院の診療体制 濱田和秀 | MIE AIS SEMINAR 2021年3月26日 Web |
| ◆当院における脳卒中医療の変遷とCOVID-19の影響 阪井田博司 | 第5回KUWANA Stroke Sympo- sium 2021年4月19日 桑名市 |
| ◆くも膜下出血で発症した内頸動脈血豆状動脈瘤に対してLVISを用い た1症例 濱田和秀 | BASIC Mie 2021年4月30日 Web |
| ◆内頸動脈解離によるtandem閉塞の1例 濱田和秀 | IS座談会～中部エリアEmboTrap Ⅱ座談会～ 2021年6月11日 Web |
| ◆桑名市総合医療センターでの脳動脈・頸動脈狭窄症に対する脂質管 理の現状 岡田 健 | 脳卒中 Web conference in 三重 2021年7月2日 Web |
| ◆片頭痛治療における予防薬への期待 黒木香行 | アムジェン社内勉強会 2021年9月2日 桑名市 |
| ◆G3が有効だった破裂前交通動脈瘤の1例 濱田和秀 | G3series 座談会 2021年9月10日 Web |
| ◆左M2急性閉塞 ～Stent Retrieverが有効だった一症例～ 濱田和秀 | Chubu AIS Webinar 2021年12月7日 Web |
| ◆iEDC SilkySoft 2mm/8mmが有効だったクモ膜下出血で発症した内頸 動脈血豆動脈瘤の1例 濱田和秀 | 2022年1月12日 Web |
| ◆内頸動脈解離の治療 濱田和秀 | 第21回三重・大阪脳血管障害研究会 2022年1月21日 Web |
| ◆当院頭痛外来の展望 黒木香行 | 第2回桑名地区 片頭痛治療 Up To Date 2022年3月3日 桑名市 |
| ◆片頭痛の急性期治療 黒木香行 | 第一三共社内研修会 2022年3月9日 桑名市 |

脳神経内科

| 演 題・演 者 | 研究会名・発表日・開催地 |
|--|---|
| ◆脳神経内科診療の紹介 ～病診連携を推進するために～ 佐々木良元 | KUWANA stroke symposium 2019年6月27日 桑名市 |
| ◆Abnormal accumulation of citrullinated proteins of Kii ALS/PDC 小久保康昌、森本 悟、佐々木良元、葛原 茂樹、石上 昭人 | 第13回パーキンソン病・運動障害 疾患 कांग्रेस 2019年7月25日～27日 東京都 |
| ◆食べられなくなったらどうしますか？ ～認知症のターミナルケアを 考える～ 佐々木良元 | 桑名医師会 第2回ACP研修会 2020年9月18日 Web |
| ◆アドバンス・ケア・プランニングの実践をロールプレイで学ぶ 佐々木良元 | 桑名医師会 第3回ACP研修会 2020年12月18日 Web |

泌尿器科

| 演 題・演 者 | 研究会名・発表日・開催地 |
|--|--------------------------------|
| ◆二分脊椎による下部尿路症状に対し漢方治療が効果的であった1例 木瀬 英明 | 第36回泌尿器漢方研究会 2019年5月25日 東京都 |
| ◆冷えによる下部尿路症状に対する漢方薬の効果 木瀬 英明 | 第36回泌尿器漢方研究会 2019年5月25日 東京都 |
| ◆排尿機能と過活動膀胱 木瀬 英明 | 桑名地区薬剤師会 研修会 2019年6月27日 桑名市 |
| ◆日常診療に役立つ泌尿器科の知識 木瀬 英明 | 桑名医師会 2020年12月3日 桑名市 |

歯科口腔外科

| 演 題・演 者 | 研究会名・発表日・開催地 |
|--|---|
| ◆桑名地域の口腔外科の現状と課題 加藤 英治、古島 夏子、森 裕美子、大塩美佐絵、中山 菜緒、 福田 奈央、山中 紗衣 | 第2回Winter Dental Meeting in Tsu 2021年12月5日 津市 |
| ◆下顎骨骨折に対する SMART Lock Hybrid MMFの使用経験 若林 宏紀、加藤 英治、奥田 悠大、乾 眞登可、柳瀬 成章 | 第2回Winter Dental Meeting in Tsu 2021年12月5日 津市 |

救急科

| 演 題・演 者 | 研究会名・発表日・開催地 |
|-------------------------|--|
| ◆講師 (タスクフォース) 佐々木俊哉 | 第3回上越総合病院臨床研修指導 医講習会 (新潟県厚生農業協同組 合連合会上越総合病院) 2018年7月14日～15日 上越市 |
| ◆講師 (インストラクター) 佐々木俊哉 | NPO法人日本外傷診療機構 JATECコース 2018年10月6日～7日 大阪市 |

| 演 題・演 者 | 研究会名・発表日・開催地 |
|-------------------------|--|
| ◆講師 (タスクフォース) 佐々木俊哉 | 平成30年度プログラム責任者養成講習会 (臨床研修協議会) 2018年10月29日～11月3日 船橋市 |
| ◆講師 (インストラクター) 佐々木俊哉 | NPO法人日本外傷診療機構 JATECコース 2018年11月10日～11日 津市 |
| ◆講師 (タスクフォース) 佐々木俊哉 | 平成30年度浜松医科大学医学部付属病院臨床研修指導医講習会 (浜松医科大学医学部付属病院) 2018年11月23日～24日 浜松市 |
| ◆講師 (タスクフォース) 佐々木俊哉 | 平成30年度第3回臨床研修指導医講習会 (日本病院会) 2019年2月9日～10日 東京都 |
| ◆講師 (タスクフォース) 佐々木俊哉 | 第150回平成30年度臨床研修指導医講習会 (全国自治体病院協議会・全国国民健康保険診療施設協議会) 2019年2月15日～17日 東京都 |
| ◆講師 (タスクフォース) 佐々木俊哉 | 2019年度第1回臨床研修指導医講習会 (日本病院会) 2019年6月1日～2日 東京都 |
| ◆講師 (インストラクター) 佐々木俊哉 | 第67回JPTEC三重プロバイダーコース 2019年7月13日 鈴鹿市 |
| ◆講師 (タスクフォース) 佐々木俊哉 | 2019年度第2回臨床研修指導医講習会 (日本病院会) 2019年9月14日～15日 東京都 |
| ◆講師 (タスクフォース) 佐々木俊哉 | 第4回上越総合病院臨床研修指導医講習会 (新潟県厚生農業協同組合連合会上越総合病院) 2019年9月21日～22日 上越市 |
| ◆講師 (タスクフォース) 佐々木俊哉 | 2019年度プログラム責任者養成講習会 (臨床研修協議会) 2019年11月4日～9日 船橋市 |
| ◆講師 (インストラクター) 佐々木俊哉 | NPO法人日本外傷診療機構 JATECコース 2019年11月30日～12月1日 大阪市 |
| ◆講師 (タスクフォース) 佐々木俊哉 | 2019年度浜松医科大学医学部付属病院臨床研修指導医講習会 (浜松医科大学医学部付属病院) 2019年12月14日～15日 浜松市 |
| ◆講師 (インストラクター) 佐々木俊哉 | NPO法人日本外傷診療機構 JATECコース 2020年1月25日～26日 津市 |

| 演 題・演 者 | 研究会名・発表日・開催地 |
|--------------------------|--|
| ◆講師 (タスクフォース) 佐々木俊哉 | 2019年度第3回臨床研修指導医講習会 (日本病院会) 2020年2月1日～2日 東京都 |
| ◆講師 (タスクフォース) 佐々木俊哉 | 第155回2020年度臨床研修指導医講習会 (全国自治体病院協議会・全国国民健康保険診療施設協議会) 2020年2月8日～9日 東京都 |
| ◆講師 (コース担当責任医師) 佐々木俊哉 | 第1回JPTEC桑名プロバイダーコース 2020年2月26日 桑名市 |
| ◆講師 (コース担当責任医師) 佐々木俊哉 | 第4回JPTEC三重ミニコース 2020年9月12日 鈴鹿市 |
| ◆講師 (タスクフォース) 佐々木俊哉 | 2020年度プログラム責任者養成講習会 (臨床研修協議会) 2020年11月22日～25日 東京都 |
| ◆講師 (コース担当責任医師) 佐々木俊哉 | 第1回JPTEC北勢地区 四日市MCプロバイダー更新コース 2021年7月24日 鈴鹿市 |
| ◆講師 (コース担当責任医師) 佐々木俊哉 | 第1回JPTEC北勢地区 四日市MCミニコース 2021年7月24日 鈴鹿市 |
| ◆講師 (タスクフォース) 佐々木俊哉 | 2021年度プログラム責任者養成講習会 (臨床研修協議会) 2021年11月20日～23日 東京都 |
| ◆講師 (コース担当責任医師) 佐々木俊哉 | 第2回JPTEC北勢地区 桑名MCプロバイダーコース 2021年12月4日 鈴鹿市 |
| ◆講師 (タスクフォース) 佐々木俊哉 | 2021年度第2回臨床研修指導医講習会 (日本病院会) 2022年2月12日～13日 東京都 |
| ◆講師 (タスクフォース) 佐々木俊哉 | 第161回2021年度臨床研修指導医講習会 (全国自治体病院協議会・全国国民健康保険診療施設協議会) 2022年2月19日～20日 東京都 |
| ◆講師 (コース世話人) 佐々木俊哉 | 第3回JPTEC北勢地区 鈴鹿亀山MCプロバイダー更新コース 2022年3月5日 鈴鹿市 |
| ◆講師 佐々木俊哉 | 令和3年度第2回医師及び歯科医師に対する再教育研修 (団体研修) [厚生労働省] 2022年3月12日～13日 和光市 |

看護部

| 演 題・演 者 | 研究会名・発表日・開催地 |
|--|--|
| ◆桑名市総合医療センター緩和ケアチームの活動 岩田友子 | 第22回木曾川緩和治療研究会 2018年7月26日 桑名市 |
| ◆透析患者の足を守る ～フットケア～ 加納智美 | 第18回腎臓フォーラム in 鈴鹿 2018年7月28日 鈴鹿市 |
| ◆透析患者のフットケア 加納智美 | 第4回透析連携の会 2018年9月15日 愛知県 |
| ◆医療者に伝えない透析患者のかゆみに対する意識調査 加納智美 | 第9回東海透析かゆみケア研究会 2018年10月20日 名古屋市 |
| ◆当院緩和ケアチームの活動を始めて 一事例を踏まえて— 鍛地奈津子 | 第23回木曾川緩和治療研究会 2018年11月29日 桑名市 |
| ◆排尿自立支援の実際 柴田若奈 | 第8回木曾川Urologyセミナー 2019年2月7日 桑名市 |
| ◆終末期がん患者の治療とケアに関する多職種連携 岩田友子 | 第24回木曾川緩和治療研究会 2019年4月18日 桑名市 |
| ◆排尿ケアチーム介入による看護師の意識変化 矢野 亜 貴、柴田若奈、安井沙代子、木瀬 英明 | 第68回東海ストーマ・排泄リハビリ テーション研究会 2019年6月8日 四日市市 |
| ◆CNSと一緒に考える がん患者の「こうありたい」を支える看護 ～終 末期にある高齢がん患者のケアを通して～ 岩田友子（座長として参加） | 第13回三重がん看護フォーラム 2019年7月6日 津市 |
| ◆病院での麻疹発生時の対応について 伊藤和恵 | 三重県感染対策支援ネットワーク 研修会 2019年7月28日 津市 |
| ◆緩和ケアについて 岩田友子 | 令和元年度第1回北勢緩和ケア ネットワーク医療者向け研修会 2019年9月5日 桑名市 |
| ◆PAD患者の下肢切断ゼロを目指したフットケア 透析療法の工夫と AN69膜の役割 加納智美 | 第1回日本フットケア・足病医学会 富士山セミナー共済スイーツセミナー 2019年9月7日 沼津市 |
| ◆糖尿病患者教育について 加納智美 | 糖尿病患者教育担当者セッション2019 2019年10月26日 大垣市 |
| ◆訪問介護における「コロナ陽性患者への対応」 伊藤和恵 | 桑名市訪問介護事業者連絡協議会 多職種研修会 2021年7月20日 桑名市 |
| ◆コロナ禍における緩和ケアチームの活動 岩田友子 | 第27回木曾川緩和治療研究会 2021年8月19日 桑名市 |
| ◆認知症対応力向上について 横山智子 | 令和3年度三重県看護職員認知症対 応力向上研修 2021年9月13日 津市 |
| ◆事例をとおして災害看護の活動展開を考える 松本恵美 | 三重県看護協会災害看護研修 2021年10月6日 津市 |

血液浄化療法室

| 演 題・演 者 | 研究会名・発表日・開催地 |
|---|------------------------------------|
| ◆シャントエコーを通して築く患者との信頼関係 岩間弘晃 | 第24回三重県透析看護勉強会 2022年1月30日 Web |
| ◆重症虚血肢に対するレオカーナの使用経験 加納智美、恒松千晶、杉山あづさ、三林真也、渡辺俊文 | 第58回三重県透析研究会学術集会 2022年2月20日 Web |

薬剤部

| 演 題・演 者 | 研究会名・発表日・開催地 |
|--|-------------------------------------|
| ◆前立腺癌男性におけるゴセレリン投与後の総コレステロール値に影響を及ぼす要因 桐生 浩子、池口麻由子、有松 冨、不破朱里、原美由紀、加藤義章、近藤加奈子、橋本 陽、今西義紀、小出哲朗、伊藤久美子、堀田康広、木瀬英明 | 三重県薬剤師学術フォーラム2019 2019年3月10日 鈴鹿市 |
| ◆薬剤による生理学的変化をフィジカルアセスメントから治療に活かす ～当院集中治療室での活動より～ 西川嘉広 | 三重県薬剤師学術フォーラム2021 2021年2月28日 津市 |

放射線室

| 演 題・演 者 | 研究会名・発表日・開催地 |
|--|--|
| ◆事例検討「救急にて十分な検査説明なしに検査が行われたことについての事例」 大井 慎也 | 日本放射線カウンセリング学会平成30年度第3回被ばく相談に役立つ研修会 2019年1月19日 高松市 |
| ◆コメディカルセッション座談会 ～すべるかもしれない話～ 奥澤 浩明 | PCI Optimization by Physiology And Imaging(POPAI)2019 2019年11月2日 名古屋市 |
| ◆コメディカルセッションビデオライブ ～実際にどんな感じ?我が家のphysiology&imaging 奥澤 浩明 | PCI Optimization by Physiology And Imaging(POPAI)2019 2019年11月2日 名古屋市 |
| ◆事例検討「救急にて十分な検査説明なしに検査が行われたことについての事例」 大井 慎也 | 日本放射線カウンセリング学会令和2年度第1回Webナイトセミナー 2020年5月30日 Web |
| ◆comedical imaging & Physiologymeeting 奥澤 浩明 | 第39回PICASSO 2021年6月19日 Web |
| ◆comedical programコメディカルのためのrealEVT 奥澤 浩明 | Complex Cardiovascular Therapeutics (CCT) 2021 2021年6月19日 Web |

検査室

| 演 題・演 者 | 研究会名・発表日・開催地 |
|--|--|
| ◆虚血性心電図判読 藏城 寛子 | 三重県臨床検査技師会 臨床生理部門 循環生理分野勉強会 2018年8月23日 津市 |
| ◆症状と心電図 虚血心電図の判読練習Part1 藏城 寛子 | 第2回臨床生理部門循環生理分野勉強会 2018年8月23日 津市 |
| ◆見逃してはいけない心室性不整脈の見方 藏城 寛子 | 三重県臨床検査技師会 臨床生理部門 循環生理分野勉強会 2019年5月16日 津市 |
| ◆慢性NK細胞増加症 矢橋 知子 | 三重県臨床検査技師会 血液部門 2019年8月9日 津市 |
| ◆当院における血液培養検査の比較検討 加藤 淳也、伊藤恵美子 | 第42回三重県医学検査学会 2019年11月24日 伊賀市 |
| ◆緊急輸血検査について 大矢知崇浩 | 三重県臨床検査技師会 輸血・細胞治療部門 2020年9月24日 津市 |
| ◆大量出血への対応について 大矢知崇浩 | 三重県臨床検査技師会 輸血・細胞治療部門 2020年11月26日 津市 |
| ◆認定輸血検査技師講習 大矢知崇浩 | 三重県臨床検査技師会 輸血・細胞治療部門 2020年12月10日 津市 |
| ◆認定輸血講習会 HLAについて 大矢知崇浩 | 三重県臨床検査技師会 輸血細胞治療部門勉強会 2020年12月10日 津市 |
| ◆2020年度(令和2年度)三重県臨床検査 精度管理調査結果報告 輸血検査部門 片出 珠々 | 令和2年度三重県臨床検査精度管理調査報告会 2021年1月 Web |
| ◆尿中アルブミンクレアチニン測定用試薬「U-テストビジュアル2AC」の基礎的検討 伊藤 真梨、加藤 淳也、矢橋 知子、森 正美 | 第70回日本医学検査学会 2021年5月15日 Web |
| ◆2020年輸血サーベイ結果について 片出 珠々 | 三重県臨床検査技師会 輸血・細胞治療部門 2021年6月24日 津市 |
| ◆認定輸血検査技師講習 大矢知崇浩 | 三重県臨床検査技師会 輸血・細胞治療部門 2021年7月29日 津市 |
| ◆血液像の見方 矢橋 知子 | 三重県臨床検査技師会 血液部門 2021年8月6日 津市 |
| ◆第2回認定輸血検査技師講習会 大矢知崇浩 | 三重県臨床検査技師会 輸血細胞治療部門勉強会 2021年9月30日 Web |

| 演 題・演 者 | 研究会名・発表日・開催地 |
|---|--|
| ◆徐脈性不整脈 藏城 寛子 | 三重県臨床検査技師会 臨床生理部門 循環生理分野勉強会 2021年10月7日 Web |
| ◆QT延長症候群、J波症候群、電解質異常、心筋炎 藏城 寛子 | 三重県臨床検査技師会 臨床生理部門 循環生理分野勉強会 2022年1月27日 Web |
| ◆当院におけるBNPからNT-proBNPへの切り替え事例の紹介 矢橋 知子、大矢知崇浩、水谷 直弘 | アボット社内勉強会 2022年3月15日 Web |

臨床工学室

| 演 題・演 者 | 研究会名・発表日・開催地 |
|---|------------------------------------|
| ◆コロナパンデミック 当院でのCOVID-19陽性透析患者の透析方法について 多湖 郁哉、澤見 真由、三林 真也、渡辺 俊文、加納 智美、安富 眞史 | 第58回三重県透析研究会学術集会 2022年2月20日 Web |

リハビリテーション室

| 演 題・演 者 | 研究会名・発表日・開催地 |
|-------------------------|--|
| ◆側弯の評価とマネージメント 高倉 利恵 | 第20回三重県小児研究会子どもの側弯評価、治療、予防 2022年6月12日 Web |

栄養管理室

| 演 題・演 者 | 研究会名・発表日・開催地 |
|-----------------------|--|
| ◆心不全患者の栄養指導 石 咲 朋子 | 第29回北勢・地域連携栄養カンファレンス 2019年9月14日 桑名市 |

市民公開講座

循環器内科

| 講座名・講師 | 開催日・開催地 |
|--|---------------|
| ◆市民公開講座：健康で長生きのために知っておきたい病気のおはなし ～血栓症を防ぐ秘訣教えます～ エコノミークラス症候群 ～静脈にできる血栓で命を落とさないために～ 山田 典一 | 2019年6月23日 津市 |

整形外科・リウマチ科

| 講座名・講師 | 開催日・開催地 |
|---|-----------------|
| ◆「“ひざ”の痛みについて」～日常生活の注意点から人工関節治療まで全部はなします～ 岡村直樹 | 2019年10月26日 三重県 |

脳神経外科

| 講座名・講師 | 開催日・開催地 |
|--|-----------------|
| ◆知っておこう！脳卒中の最先端治療とその予防 阪井田博司、古川和博、濱田和秀、大達清美 | 2019年1月19日 桑名市 |
| ◆知っておこう！脳卒中の急性期治療とリハビリテーション 阪井田博司、濱田和秀、園田 茂、白井美佳、竹腰加奈子、横山智子 | 2019年10月19日 桑名市 |

放射線室

| 講座名・講師 | 開催日・開催地 |
|------------------------------------|----------------|
| ◆医療被ばく本当に大丈夫？～一緒に考えてみましょう～ 大井慎也 | 2019年1月20日 高松市 |

栄養管理室

| 講座名・講師 | 開催日・開催地 |
|--------------------------|-----------------|
| ◆脳卒中センター市民公開講座 石咲朋子 | 2019年10月19日 桑名市 |
| ◆世界糖尿病デー 市民公開講座 長谷川恭子 | 2019年11月13日 桑名市 |

CPC記録

| 主な病理所見・主治医 | 開催日・開催場所 |
|----------------------------|----------------------------|
| ◆解離性大動脈瘤 大久保節也 | 2020年1月23日 スキルズラボ |
| ◆びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫 大久保節也 | 2020年2月20日 スキルズラボ |
| ◆膀胱癌術後再発 大久保節也 | 2020年6月18日 スキルズラボ |
| ◆胃癌 大久保節也 | 2020年10月29日 スキルズラボ |
| ◆「特発性肺線維症・十二指腸穿孔」 野田健太郎 | 2020年11月19日 スキルズラボ |
| ◆慢性心不全・急性肝障害 堀田康広 | 2021年1月21日 スキルズラボ |
| ◆尿路感染症・慢性心不全 石田 聡 | 2021年2月25日 スキルズラボ |
| ◆大動脈解離・肝門部胆管癌 山本あゆみ | 2021年3月11日 スキルズラボ |
| ◆間質性肺炎 西田 順二 | 2021年5月27日 スキルズラボ |
| ◆肝硬変・子宮体癌 山本あゆみ | 2021年7月8日 スキルズラボ |
| ◆腔癌 平田 徹 | 2021年7月27日 OPE室前カンファレンスルーム |
| ◆肺塞栓 小寺 仁 | 2021年7月29日 スキルズラボ |
| ◆肺癌 山本あゆみ | 2021年12月16日 スキルズラボ |

地方独立行政法人
桑名市総合医療センター
年 報
(2021年)
令和5年3月 発行

編集・発行 地方独立行政法人 桑名市総合医療センター
所在地 桑名市寿町三丁目11番地
電 話 0594-22-1211
印 刷 阿竹印刷工業株式会社
四日市市富州原町14-24



地方独立行政法人
桑名市総合医療センター